科目名:キャリアデザインⅡ	担当者:茶谷 淳一・高谷 邦彦・辻 広志・綾部 六郎・矢澤 久史・山下 玲香・小出 祥子・福島 裕人	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
・講演：学科長講演、外部講師による講演会が行われます。講師の先生からは就職活動や職場の実情、働くことの意義を学び、社会人として生きる力を身に付けます。
・講義：「社会と私」という統一テーマで、専任教員が社会で活躍するために有益となる話や心構え、メッセージ、アドバイスも含めて講義をします。
・芸術鑑賞会：豊かな感性の育成と、公の場でのマナーを身に付けることが目的です。

授業の到達目標
毎回の授業から自分自身を振り返り、今後の自身の生き方を積極的に捉え、行動できる人間として成長することを目標とします。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
講演会および芸術鑑賞の事前学習は、テキストやプリント等を使用し必ず行うこと。「社会と私」では、すべての講義から学んだことを自分の視点でまとめつつ、全講義のつながりを模索し、視覚化する時間を持つこと。

評価方法
講演会と芸術鑑賞会のレポート30%、「社会と私」の出席状況等60%、レポート試験10%の割合で評価する。

教科書	参考図書

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
講演会や芸術鑑賞会などはスケジュールが不規則なので、初回に配布するスケジュール表や掲示板で日程を確認すること。

01	学科長講演
02	進路講演会（エントリーシートの作成に向けて）
03	「社会と私」を学ぶにあたって
04	社会と私（１）「決め付けないで行動しよう」
05	社会と私（２）「アイデンティティ～社会で生きていく私」
06	社会と私（３）「運動好きの体育嫌い、やる気の見つけ方」
07	社会と私（４）「Shiny next decade、あるいはタラレバ娘としての生」
08	社会と私（５）「社会保険（年金）について」
09	社会と私（６）「動物から学ぶ、ヒトの生き方」
10	1・2年生交流会
11	芸術鑑賞
12	社会と私（７）「日本語を”文法”してみる」
13	社会と私（８）「エネルギーの地産地消と地域活性化」
14	社会と私（９）「茶谷が戦争にこだわる理由」
15	卒業講演会
16	

科目名:教養演習Ⅱ	担当者:茶谷 淳一	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:特になし		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
泰阜村と各自が住む町でフィールドワークを行い、コミュニティについて考えます。テキストをもとに集落の課題を学びつつ、泰阜村では5～7月に月1回稲伏戸集落の皆様とともに活動し、集落にある渓谷の魅力アップ策を考えながら、集落がまとまるために必要なことは何かを考えます。それをもとに各地元の町内会などの課題を調べ、改善方法を考えます。また7月末の夏祭りのお手伝い合宿をします。ボランティアも行います。AL。

授業の到達目標
フィールドワークをしながら、ゼミの仲間や村の人たちとともに活動しながら、泰阜村の魅力と提言を考え、役場で発表することを通して、①自分の考えをまとめ、発言、文章化、発表することができる。②社会で多くの人とともに一つの目標に向かって話し合い、活動することができる。③周りの状況を的確に把握し、自らの役割を発見し、行動することができる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
①ゼミでは農山村が抱えている問題について学んだり、活動についての話し合いをします。活動は主に土曜日に行います。②発表内容を考えたり、卒業研究レポートを作成するための大切な資料となる活動記録（ゼミノート）を付け、整理しておくこと。③時間内にできなかった展示や発表資料、レポートなどの作成④テキストを事前に読んでおくこと

評価方法
①出席状況や発言、行動などゼミ活動に取り組む姿勢･･･40％②各種のレポート、ゼミノート、展示資料、プレゼンテーション･･･60％

教科書	参考図書
農山村再生～限界集落問題を超えて（小田切徳美　岩波ブックレット）	「奇跡のむらの物語」（農文協。「自然と生活」のテキスト）、「地域再生と町内会自治会」（自治体研究社）

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
アルバイトなど自己都合でゼミや活動を休んだり、やる気のない姿勢は絶対にに許しません。厳格に対処します。活動すればするほど、楽しくなります。やりがいがあります。予定が変更されることがあります。

01	ゼミでの学びについての説明（第１週）
02	町内会についての資料を読む（第２週～第６週）
03	テキスト「農山村再生」を読む（第7週～第9週）
04	泰阜村稲伏戸集落について知る（第10週）
05	「月一日、日帰り訪問」で決めた目的に沿った活動をしながら、村民と交流する（5，6，7月）
06	「月一日、日帰り訪問」の振り返り　夏祭りの活動を決める（第９週～第15週）（5，6，7月）
07	人のために役立つ活動を体験する①　～やすおか夏祭りでのブース出店、お手伝い　（7月末）
08	人のために役立つ活動を体験する②　～全国ジュニア選抜車いすバスケ大会ボランティア（9月）
09	「町内会調べ」説明と活動報告（第11～第15週）
10	フィールドワークの振り返り（第16週～第17週）
11	フィールドワークの様子をまとめる　（第18週）
12	大学祭での展示資料の作成　スポーツ祭典・模擬店出店の準備　　（第19週～第22週）
13	卒業レポート作成・報告会準備　　（第23週～第30週）
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	

科目名:教養演習Ⅱ	担当者:高谷 邦彦	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
「SNSと情報発信」というテーマで、企業や大学の広報活動や地域活性化のためにTwitterやInstagramなどのSNSをどのように活用するかについて、自分たちで取材とコンテンツの投稿を実践しながら学びます。【ＡＬ】

授業の到達目標
SNSという個人メディアが日常化した時代に必要な知識と経験を身につけることを目標とします。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
自分がSNSに投稿する際の意識や他のユーザの投稿内容などを注意深く観察する習慣を身につけましょう。

評価方法
授業参加度（50%）と各種ゼミ活動への参加意欲および取り組み内容（50%）で評価します。

教科書	参考図書
必要に応じてプリント等を配布します。	授業内で指示します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
何にでも興味と疑問を持って調べてみる／試してみるという好奇心と自主性を大切にしましょう。

01	SNS（Twitter、Facebook、Instagram等）の基本を学ぶ
02	自分たちがSNSを利用する際の意識・動機などを客観化してみる（１）
03	自分たちがSNSを利用する際の意識・動機などを客観化してみる（２）
04	広報の基本を知る
05	インターネット（SNS）広報について学ぶ（１）
06	インターネット（SNS）広報について学ぶ（２）
07	インターネット（SNS）広報について学ぶ（３）
08	大学広報・地域広報のアイディアを練る（１）
09	大学広報・地域広報のアイディアを練る（２）
10	SNSによる大学広報・地域広報を実践する（１）
11	SNSによる大学広報・地域広報を実践する（２）
12	SNSによる大学広報・地域広報を実践する（３）
13	SNSによる大学広報・地域広報を実践する（４）
14	卒業研究のテーマを検討する（１）
15	卒業研究のテーマを検討する（２）
16	SNSを活用した大学広報・地域広報のアイディアを議論する（１）
17	SNSを活用した大学広報・地域広報のアイディアを議論する（２）
18	SNSを活用した大学広報・地域広報のアイディアを議論する（３）
19	有松、桶狭間などキャンパス外で取材活動を行う（１）
20	有松、桶狭間などキャンパス外で取材活動を行う（２）
21	有松、桶狭間などキャンパス外で取材活動を行う（３）
22	有松、桶狭間などキャンパス外で取材活動を行う（４）
23	有松、桶狭間などキャンパス外で取材活動を行う（５）
24	有松、桶狭間などキャンパス外で取材活動を行う（６）
25	大学祭準備（模擬店・展示等）（１）
26	大学祭準備（模擬店・展示等）（２）
27	SNSを活用しながら広報活動を実践し、その成果を分析する（１）
28	SNSを活用しながら広報活動を実践し、その成果を分析する（２）
29	SNSを活用しながら広報活動を実践し、その成果を分析する（３）
30	SNSを活用しながら広報活動を実践し、その成果を分析する（４）
31	研修旅行

科目名:教養演習Ⅱ	担当者:辻 広志	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
このゼミでは、私たちの生活や身近な自然環境を題材にした実践的活動を通して、様々な環境問題について学び、ヒトと自然の共生のあり方について学びます。「あいち・なごや生物多様性2020」を掲げる来年度は愛知県内で生物・環境保全に関する様々なイベントが開催されるので、ゼミで名短キャンパスの生き物を調べて発表したいと考えています。【AL】

授業の到達目標
自然環境の調査や動植物の観察、作物の栽培等を通して、自然への理解を深める。また、実践的活動や課題研究を通して、社会人基礎力の向上をはかる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
卒業研究のテーマについて、資料の収集、調査・分析・考察、原稿の作成、発表の準備を行う。

評価方法
ゼミでの取り組み姿勢（50%）、報告内容（レポート、発表）（50%）等から総合的に評価する。

教科書	参考図書
使用しない	授業中に適宜紹介する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
チームワークを大切にして、何事にも真面目に取り組くむこと。天候や進行状況等により、授業計画を変更することがあります。

01	ガイダンス
02	学内実習と学外研修の事前学習
03	文献輪読①
04	学外研修①（藤前干潟で干潟生物の観察）
05	文献輪読②
06	学内実習①（キャンパスの樹木の葉の採取）
07	学内実習②（キャンパスの樹木の葉の標本作製）
08	卒業研究準備①
09	学内実習③（サツマイモの苗植え）
10	学外研修②（東山動物園見学）
11	文献輪読③
12	学内実習④（キャンパスの池の水生生物調査）
13	学外研修③（竹島水族館で生物観察）
14	卒業研究準備②
15	学外研修④（伊吹山で高山植物観察）
16	学外研修レポート作成
17	卒業研究中間発表
18	大学祭ゼミ展示準備①
19	学内実習⑤（サツマイモの収穫）
20	大学祭ゼミ展示準備②
21	学内実習⑥（サツマイモの調理）
22	卒業研究論文作成①
23	卒業研究論文作成②
24	卒業研究論文作成③
25	学外研修⑤（名古屋市科学館見学）
26	卒業研究論文作成④
27	卒業研究論文作成⑤
28	卒業研究発表①
29	卒業研究発表②
30	まとめ
31	なし

2020年度シラバス

科目名:教養演習Ⅱ	担当者:綾部 六郎	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
　全員で本授業のテーマである「社会の裏側を見てみよう！」プロジェクトに関係する課題文献を読み、プレゼンテーションもおこなうことなどを通じて、さまざまなスキルを学んでいきます。【AL】
　また、学内イヴェントの実施や学外の関連施設などを訪問する予定ですので、その準備もおこないます。

授業の到達目標
　上記の事項に加えて、2年次の前期に配当されている「女性と労働」や、1年次前期の「ジェンダーと法」などの授業で学んだ知識をより一層深めながら、自立した女性となるために必要な知識や技能を修得し、受講生のみなさんが社会へと旅立っていくために必要な思考力・行動力・チームワーク力を身につけます。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
正課の授業だけではなく、関連する活動にも積極的に取り組んでください。

評価方法
授業での取り組みなどの平常点（60%）および各種イヴェントにおける達成度などを踏まえた評価（40%）。

教科書	参考図書
授業中に指示します。	授業中に紹介します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
必要な事項については、開講後のガイダンスで説明します。

01	ゼミプロジェクトの確認・役割分担の決定など
02	課題文献の検討・決定
03	効果的なプレゼンテーション方法についての解説
04	学術的なリサーチ・スキル向上についての解説
05	クリティカル・リーディング習得についての解説
06	課題文献の輪読・担当者によるプレゼン
07	課題文献の輪読・担当者によるプレゼン
08	課題文献の輪読・担当者によるプレゼン
09	課題文献の輪読・担当者によるプレゼン
10	課題文献の輪読・担当者によるプレゼン
11	課題文献の輪読・担当者によるプレゼン
12	学外研修実施のための準備
13	学外研修実施のための準備
14	学外研修実施のための準備
15	学外研修実施のための準備
16	学外研修の実施
17	学外研修の実施
18	学外研修の実施
19	学内イヴェント実施のための準備
20	学内イヴェント実施のための準備
21	学内イヴェント実施のための準備
22	学内イヴェント実施のための準備
23	学内イヴェントの実施
24	学内イヴェントの実施
25	課題文献の輪読・担当者によるプレゼン
26	課題文献の輪読・担当者によるプレゼン
27	課題文献の輪読・担当者によるプレゼン
28	卒業研究報告会の準備
29	卒業研究報告会の実施
30	授業のまとめなど
31	なし

科目名:教養演習Ⅱ	担当者:矢澤 久史	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
　多くの心理検査の実習を行い、就職活動やこれから社会に出た時に役立てることができるように自分に関する理解を深め、身近な現象に対して心理学的観点からの見方を学ぶことにより視野を広げ、自分探しと他者理解を目指す。授業のほとんどはグループ学習で進め、問題に向かって主体的に取り組むことができると同時に、目的に向かって着実に努力を続けられる行動力を養う。【AL】

授業の到達目標
①これまでになされた心理学の研究についての理解を深め、日常生活で人間関係をうまく形成するために心理学の知識を役立たせることができるようになることを目標とする。
②グループ学習を通して、他者とのコミュニケーションを取りながら共同して物事に取り組む力を付ける。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
①授業で興味を持った内容について、関連図書を読んで理解を深めること
②身の回りの様々な出来事について常に興味関心を持つこと

評価方法
ゼミの参加状況（発表、共同作業への参加）80%、提出レポート20%

教科書	参考図書 授業中に適宜紹介する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
①受け身ではなく、すべて「自分から動く」と言うことが重要、何でもまずチャレンジしてみましょう。
②欠席や遅刻をする場合には、必ず事前に連絡をすること。

01	ガイダンス
02	心理検査実習①（ＹＧ性格検査）
03	卒業研究準備①（テーマの設定）
04	DVD「チンパンジーが教えてくれる希望の秘密」視聴 テキスト購読①
05	モンキーセンター見学
06	心理検査実習②（内田クレペリン）
07	テキスト講読①
08	卒業研究準備②（文献の調べ方）
09	テキスト購読②
10	心理検査実習③（バウムテスト）
11	テキスト講読③
12	卒業研究準備③（先行文献のまとめ方）
13	心理検査実習④（モーズレイ性格検査）
14	名古屋港水族館見学
15	卒業研究準備④（論文の執筆に向けて）
16	心理検査実習⑤（主要５因子性格検査）
17	テキスト講読④
18	心理検査実習⑥（主題統覚検査：ＴＡＴ）
19	テキスト購読⑤
20	大学祭ゼミ発表準備①
21	大学祭ゼミ発表準備②
22	明治村　or　リトルワールド見学
23	テキスト講読⑥
24	心理学実験実習（逆さメガネ、鏡映像描写）
25	卒業研究準備⑤（論文の執筆①）
26	卒業研究準備⑥（論文の執筆②）
27	卒業研究準備⑦（論文の執筆最終確認）
28	卒業研究準備⑧（要約集の作成準備）
29	卒業研究準備⑨（要約集の作成準備）
30	卒業を迎えるに当たって（ゼミ旅行）
31	なし

2020年度シラバス

科目名:教養演習Ⅱ	担当者:山下 玲香	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
　自然を活用した様々なアクティビティを通し、１）仲間と協力したり、自ら積極的に活動に取り組む姿勢を養う、２）豊かな自然を活用し、柔軟に対応する能力を養う、ことをねらいとする。また、自然と人工物との対比を体感し、それぞれの良さを理解するために、学外実習として大府市の健康の森に赴き、屋外のアスレチック遊具の見学、室内のジムやプール、体育館の見学、健康に関する展示の見学などを行う。ゼミ合宿では長野県または愛知県でキャンプを行う。
　卒業研究は「運動・スポーツ」「身体活動」「野外活動」「健康」に関することなどから興味のある内容を一人1テーマ設定し、取り組む

授業の到達目標
１）野外で役に立つ知識や技能を身につけ、ゼミ合宿で応用することができる
２）いろんな場面で身体活動をたのしむことができる
３）仲間と協力し、積極的な姿勢と柔軟に対応する能力が身につく

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
ゼミ活動で行う身体活動に関する文献や書物を読んでおく。
また、振り返り活動は毎回行い、適宜課題を提出するので期限を守って考察をする。

評価方法
参加態度　40%　　卒業研究の取り組み　40%　　課題（提出物）20%

教科書	参考図書

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
仲間との協力・積極性を重視しますので、遅刻や無断欠席は厳禁である。
仲間と協力してゼミ活動に取り組むよう努力すること。

01	ガイダンス　ゼミ運営について
02	野外活動に関するテキストの読み合わせ
03	学内の自然観察およびロープワーク
04	救急救命・応急処置に関するテキストの読み合わせと実践①
05	救急救命・応急処置に関するテキストの読み合わせと実践②
06	学外実習に向けての準備
07	学外実習：大府市健康の森
08	情報リテラシーに関する講義　　文献の検索方法と活用
09	論文の読み合わせ　　問題提起と解決方法
10	学内の自然観察とロープワークの実践
11	野外活動用具の知識と理解
12	野外活動における食事の知識と理解
13	ゼミ合宿に向けての準備①
14	ゼミ合宿に向けての準備②
15	ゼミ合宿：長野県梅池高原
16	前期の振り返りレポートの作成と後期に向けての話し合い
17	学内の自然観察とロープワークの実践
18	前期および後期の学内の自然の比較と考察
19	大学祭展示準備
20	大学祭展示準備
21	大学祭展示準備
22	大学祭展示準備
23	大学祭の振り返りと卒業論文制作に向けての準備
24	卒業研究論文制作　　論文の執筆
25	卒業研究論文制作　　論文の執筆
26	卒業研究論文制作　　論文の執筆の最終確認
27	卒業研究論文制作　　要約集の作成
28	卒業研究論文制作　　要約集の作成
29	卒業研究発表
30	まとめ
31	

科目名:教養演習Ⅱ	担当者:小出 祥子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
私たちが普段、普通に使っている「日本語」を改めて見つめなおし、様々な視点から「なぜ？」と考え、その答えを見つける手法を学びます。具体的には、テーマに従って、日本語の用例を集め、分析し、発表(1人2回以上)し、議論します。発表された内容については、どのように展開していくと課題解決に繋げることができるか、具体的に伝えることで、次回の発表が発展的なものになるように指導します。プレゼンテーションや、ディスカッションのスキルを身につけるとともに、身の回りの「当たり前」を問い直し、客観的に観察する視点を養うという点で、ディプロマポリシーの１に該当します。【AL】

授業の到達目標
・日本語についての基本的な知識が身につく
・物事を客観的に考察し、問題解決に主体的に取り組む姿勢が身につく

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
発表の準備は前日までに行い、メンバー分のレジュメを用意してください。(発表ごとに5～20時間程度)
学内のイベントへの参加や、学外見学(保育園で子どもの日本語に触れる)等も予定しています。積極的に参加してください。(5時間程度)
日常生活を通じて、日本語に興味を持ち、観察を続けてください。

評価方法
レジュメ作成・発表・ディスカッションへの参加態度50%、ゼミの行事への参加態度50%

教科書	参考図書
『ふしぎ発見！日本語文法。』(2006)名古屋大学日本語研究会GA6　三弥井書店	適宜、提示します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
ゼミ活動に積極的に取り組む姿勢を求めます。グループでの作業も多くなるため、各自責任感を持ち、協力して、様々な活動に楽しく取り組みましょう。

01	ガイダンス
02	発表内容の検討と担当決定
03	ゼミ行事についての話し合い
04	課題文献およびプレゼンテーションについて
05	古文書の解読
06	古文書の内容理解
07	子どもの言葉について
08	保育園訪問の準備
09	保育園訪問の実施
10	保育園訪問の振り返り
11	課題文献の輪読・担当者による発表1
12	言語景観調査の準備
13	言語景観調査の実施
14	言語景観調査の振り返り
15	課題文献の輪読・担当者による発表2
16	論文の書き方について
17	研究テーマについての発表
18	研究テーマに関する文献理解
19	大学祭ゼミ参加の準備1
20	大学祭ゼミ参加の準備2
21	大学祭ゼミ参加の準備3
22	研究テーマについての言語調査報告1
23	研究テーマについての言語調査報告2
24	論文の執筆1
25	論文の執筆2
26	中間報告会
27	論文の執筆3
28	論文の執筆4
29	研究発表会
30	ゼミ活動の振り返り
31	なし

2020年度シラバス

科目名:教養演習Ⅱ	担当者:福島 裕人	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
　人と人（または動物など）との直接の触れ合いによる癒しの力や笑い（笑顔）と心身の健康について，心理学的観点から学びます。単なる知識の習得に留まらず，実際に自分の体験を通して学び，将来社会において主体的に問題に取り組める力を養います。そのため学外での施設見学や体験も行います。【AL】

授業の到達目標
①人と人（または動物等）との直接的な体験により5感を通して感じる「癒し」をテーマに，日常にある素朴な疑問に気付き，文献を調べ，心理学的に卒業論文にまとめる過程を通して，自ら気づき主体的に行動し，努力を続けられる力を養う。
②グループでの取り組みを通して，他者と協働して物事に取り組める力を養う。
③社会人として必要なプレゼンテーション能力を身につける。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
①身近な出来事（社会問題等）に興味関心を持ち、関連する文献を読む
②自分自身の感性を豊かにするために色々な経験を通して，自身の気持ちや身体感覚に気づけるように心がける
③データの収集と分析を通した卒業論文作成作業

評価方法
１．卒業研究の取り組み姿勢（資料作成・プレゼンテーション等）（50%）
２．ゼミの取り組み姿勢（50%）

教科書	参考図書
特になし	適宜紹介します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
①社会人としての基本的マナーとしてきちんと連絡する習慣をつけてください（無断欠席や遅刻は厳禁）
②主体的にゼミに参加し、ゼミメンバーと協力しましょう
③悔いが残らないように学生生活を充実した学生生活にしましょう

01	ガイダンス
02	関連文献の輪読１
03	関連文献の輪読２
04	関連文献の輪読３
05	フィールドワーク準備
06	フィールドワーク①（東山動物園or南知多ビーチランドorわんわん動物園）
07	フィールドワークの事後ふりかえり
08	卒業研究準備①：研究テーマ検討
09	卒業研究準備②：関連論文発表（1回2名ずつ）
10	卒業研究準備③：関連論文発表（1回2名ずつ）
11	卒業研究準備④：関連論文発表（1回2名ずつ）
12	卒業研究準備⑤：関連論文発表（1回2名ずつ）
13	卒業研究準備⑥：研究テーマ決定
14	データ収集①（ＰＣ・図書館等）
15	データ収集②（ＰＣ・図書館等）
16	データ分析①（ＰＣ・図書館等）
17	データ分析②（ＰＣ・図書館等）
18	データ分析③（ＰＣ・図書館等）
19	大祭準備①
20	大祭準備②
21	大祭準備③
22	フィールドワーク②（長島スパーランドorフィールドワーク①であげた3施設のいずれか）
23	フィールドワークの事後ふりかえり
24	卒業論文　執筆①
25	卒業論文　執筆②
26	卒業研究中間報告
27	卒業論文　執筆③
28	卒業研究　報告会
29	卒業論文提出
30	卒業を迎えるに当たって（ゼミ旅行）

31	なし

科目名:卒業研究	担当者:茶谷 淳一・高谷 邦彦・辻 広志・綾部 六郎・矢澤 久史・山下 玲香・小出 祥子・福島 裕人	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
　本科目は受講生による主体的な取り組みが必要です。各自で課題を設定し、関連する文献や資料を収集したり、フィールドワークを行ったりして、担当教員の指導のもとに研究を進めていきます。最終的には本文8000字以上の文章にまとめて提出します。【ＡＬ】

授業の到達目標
　社会で必要とされる力、すなわち自ら設定した課題について深く学び、問題点を見つけ出し、その解決のために必要なことなどを文章化することができるようになります。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
　所定の時間だけですぐれた内容の文章を書くことは難しいので、授業時間外にも各自で研究・調査や執筆を進める必要があります。
　また、執筆開始までにパソコンやワープロソフトの基本的な使い方を習得しておかなくてはなりません。

評価方法
卒業研究への取り組み状況（50%）、卒業研究の内容・完成度（50%）で評価します。

教科書	参考図書
担当教員から指示します。	担当教員から指示します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　良い卒業研究をまとめるためには、社会に対する問題意識や旺盛な好奇心が必要です。インターネット上の記事だけに頼ることなく、さまざまな書籍や新聞を読むことや多くの人々との出会いも貴重な機会となります。何事にも積極的に挑戦しましょう。

01	卒業研究とは何かを学ぶI
02	卒業研究とは何かを学ぶII
03	卒業研究とは何かを学ぶIII
04	卒業研究とは何かを学ぶIV
05	卒業研究とは何かを学ぶV
06	文章の書き方指導I
07	文章の書き方指導II
08	文章の書き方指導・個別指導I
09	文章の書き方指導・個別指導II
10	文章の書き方指導・グループワーク
11	調査研究の進め方I
12	調査研究の進め方II
13	調査研究の進め方III・実践
14	調査研究の進め方IV・個別指導
15	課題登録準備
16	課題登録
17	個別指導および文献収集I
18	個別指導および文献収集II
19	個別指導および文献収集III
20	途中経過報告会資料作成I
21	途中経過報告会資料作成II
22	途中経過報告会I
23	途中経過報告会II
24	要約集作成作業I
25	要約集作成作業II
26	要約集個別指導
27	卒業論文発表会準備I
28	卒業論文発表会準備II
29	卒業論文発表会準備III
30	卒業論文発表会（各ゼミごとに）
31	まとめ

2020年度シラバス

科目名:心の探求	担当者:福島 裕人	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
この授業では「こころ」とは何かについて，さまざまな心理テスト体験やコミュニケーションについてのグループワークを通して，自己理解や他者理解を深めます。
代表的な心理テストやコミュニケーションのワークを紹介し，個人もしくはペアやグループで体験します。その結果を振り返り，毎回小レポートを提出していただきます。提出された小レポートはコメントをつけて，次回の授業時にフィードバックします。

【担当者の実務経験】臨床心理士・公認心理師としてこれまで医療機関（精神科・心療内科）や学校現場等において心理臨床業務に従事してきました。】　【AL】

授業の到達目標
①各種心理テスト体験を通して，自己理解を深めます。
②コミュニケーション力を養うグループワークを通して，他者の意見を理解する力と自分の意見を相手に伝える力を身につけます（現代教養学科ディプロマポリシー3に該当）。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
本授業では事前に実施する心理テストやワークについての予習は必要はありません（先に実施内容が分かってしまうと正確な情報が得られなくなるため）。そのため復習中心で取り組んでください。事後学習として授業で紹介した内容について関連書籍などを読み知識を深めましょう。

評価方法
毎回の小レポート(75%)、授業への参加態度(25%)。

教科書	参考図書

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
2年の前期は就職活動があり、エントリーシート作成などで「自分とは何か」を真剣に考えないと行けない時期です。本授業を通して自己理解を深め，就職活動に役立てましょう。

01	ガイダンス 心理学について ～ 心をどうやって調べるのか 人間の行動 ～ 自分の心は自分のものなのか 人間の行動 ～ 好き嫌いって？ 人間の行動 ～ 迷信をなぜ信じてしまうのか 記憶と学習 受講の注意点と講義内容について
02	心理学について ：心の不思議，心の調べ方
03	自己理解を深める①エゴグラム
04	自己理解を深める②Y-G性格検査
05	自己理解を深める③：内田クレペリン検査①
06	自己理解を深める④：内田クレペリン検査②
07	コミュニケーションワーク①
08	自己理解を深める⑤：バウムテスト
09	自己理解を深める⑥：SCT（文章完成法検査）
10	コミュニケーションワーク②
11	自己理解を深める⑦：恋愛タイプ（LETS-2）
12	自己理解を深める⑧：音楽に映しだされるもの
13	コミュニケーションワーク③
14	自己理解を深める⑨：ストレスと健康
15	コミュニケーションワーク④・まとめ
16	なし

2020年度シラバス

科目名:人間関係と恋愛の心理	担当者:矢澤 久史	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　恋愛をはじめとする様々な人間関係における現象について臨床的な観点に立った視点で検討する。①社会心理学の研究について、日常生活に役立つように具体的な例を挙げながら、わかりやすく解説していく。②身の回りのちょっとしたところにいろいろな心理学が関係していることを実感しながら、。幅広い分野にわたる　知識を身につけ、より広い視野に立って物事を考えていくことができる思考力を身に付ける。③心理テスト（２回）、簡単な心理学実験（１回）、ＤＶＤ視聴（２回）により理解を深める。

【担当者の実務経験】臨床心理士、公認心理師としてのスクールカウンセラーや大学学生相談室カウンセラーとしての経験を踏まえ、恋愛をはじめとする様々な人間関係における現象について臨床的な観点に立った視点で講義する。

授業の到達目標
　単純接触効果、認知的不協和理論、対人魅力、同調、役割演技、責任分散仮説などのこれまでになされた社会心理学の研究についての理解を深め、日常生活で人間関係をうまく形成するために社会心理学の知識を役立たせることができるようになることを目標とする。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
授業で興味を持った内容について関連図書を読んで、理解を深めること。

評価方法
定期試験の結果（８０％）＋各授業時の小レポート（２０％）

教科書	参考図書
指定なし	授業中に適宜紹介します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
毎回の授業の最後に授業の感想や疑問点などを小レポートにまとめて提出してもらう。

01	社会心理学に関する知識は？（事前調査）、初めてのデートではどこへ行く？（吊り橋効果）
02	あなたの恋愛のタイプはどれ？　情熱的タイプ？　友愛的タイプ？　利愛的タイプ？
03	好意と恋愛、何回も逢うと好意度は増す？遠距離恋愛は実らないことが多い？（単純接触効果）
04	親が恋愛に反対するほど恋が燃え上がる？（ロミオとジュリエット効果、認知的不協和理論）
05	赤い色を身に付けるとモテる？一目ぼれのタイプとは？（対人魅力①）
06	どのような告白が効果的？お酒を飲むと異性が魅力的に見える？（ビアゴーグル効果）
07	なぜ女性は男性の指が気になるのか？左右対称（シンメトリー）の効果とは？（性選択①）
08	外見的魅力、美人顔の特徴とは？みんなの顔を合成したら、どんな顔になる？（対人魅力②）
09	相貌失認、プロポーション10：７、高級車に乗っているとモテる？（性選択②）
10	皆が紅茶を注文すると、コーヒーが飲みたくても紅茶を注文してしまうのはなぜ？（同調①）
11	「みんながそう言っている」という時の「みんな」とは何人？（同調②）、嘘を見破るには？
12	囚人役と看守役に分けて模擬刑務所で生活させたら？（役割演技、ＤＶＤ映画「エス」視聴）
13	ウワサはどのように広がるの？（流言の伝達実験実習、ＤＶＤ「200X・うわさ」視聴）
14	大勢で仕事をすると手抜きをする人がいるのはなぜ？（責任分散仮説）
15	第一印象はどのようにして決まる？　確認テスト
16	

2020年度シラバス

科目名:芸術の世界	担当者:深堀 彩香	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須. 選択	選択

授業概要と方法 芸術は社会、文化、歴史などさまざまな背景と深く結びついている。本講義では、作品鑑賞を交えながらその作品が生み出された背景を学び、芸術への理解を深めていく。
授業の到達目標 講義を通して芸術に関する知識や見方を学ぶことによって、芸術の味わい方を身につける。
授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修 積極的に芸術に触れる機会を増やすことを勧める。
評価方法 授業参加態度30%、授業中のコメントやレポート70%で総合的に評価する。

教科書	参考図書
使用しない。適宜プリントを配付する。	適宜紹介する。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段) 受講に際しては、芸術を学問的に理解することへの意欲を有し、適切な態度で講義に臨むことが求められる。

01	ガイダンス（授業の概要説明、芸術世界へのイントロダクション）
02	芸術と宗教：古代ギリシャ～中世・ルネサンスの美術
03	芸術と宗教：『華麗なる激情』鑑賞
04	芸術と宗教：中世・ルネサンスの音楽
05	芸術と宗教：カストラートと社会
06	西洋芸術と日本の出会い
07	オルガンで巡るヨーロッパ
08	芸術理論：創作、表現、感覚性、精神性
09	印象派を味わう
10	芸術の創作：パブロ・ピカソ
11	音楽と社会：南米の「エル・システマ」
12	音楽と社会：『オーケストラ！』前半鑑賞 音楽と社会：『オーケストラ！』前半鑑賞
13	音楽と社会：『オーケストラ！』後半鑑賞
14	クロスオーバー
15	まとめ
16	なし

科目名:日本の文学	担当者:鶴田 武志	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
映画化されている日本の文学作品を扱い、原作と映画の双方に触れることで映像表現と文章表現との違いを知り、それぞれの技法や構成を考えます。講義としては3回で1作品、映画も実際に観てもらい、日本の文学を理解する。

授業の到達目標
映像表現と文章表現との違いから、それぞれのメディアの特性を考えることを目指します。また、「日本の文学」が人間関係というテーマを、どのような表現技法、あるいは物語の構成で描いていたのかを論理的に考えてもらいます。最終的には、それらの表現構造に対する自身の考えを書けるようにします。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
講義で扱う小説を1冊以上を完読してもらいます。読書感想文の課題を出します。

評価方法
テスト80%、課題+コメントシート（毎時間）20%

教科書	参考図書
適宜プリントを配布	なし

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
毎回、コメントシートを書くことで自分の考えを的確に記述できるようにしていきましょう。またコメントシートに書いてもらった質問には次回講義の冒頭で答えていきます。

01	オリエンテーション。授業のテーマの概説。授業の進め方の説明。
02	谷崎潤一郎原作『春琴抄』（2008）の前半を観る。谷崎潤一郎の文学史的意義について解説。
03	谷崎潤一郎原作『春琴抄』（2008）の後半を観る。『春琴抄』についての概説。
04	原作『春琴抄』の表現技法について解説。2008年版以外の『春琴抄』映画との比較。
05	東野圭吾原作『手紙』（2006）の前半を観る。東野圭吾についての解説。
06	東野圭吾原作『手紙』（2006）の後半を観る。前回、感想の共有。
07	原作『手紙』の表現技法を解説。映像表現と文章表現の比較。
08	松本清張『ゼロの焦点』（1961）の前半を観る。松本清張の文学史的意義、東野圭吾との関係について。
09	松本清張『ゼロの焦点』（1961）の後半を観る。松本清張についての解説。
10	原作『ゼロの焦点』の表現技法を解説。映像表現と文章表現の違いの意味について解説。
11	恩田陸原作『夜のピクニック』（2006）の前半を観る。恩田陸についての解説。
12	恩田陸原作『夜のピクニック』（2006）の後半を観る。前半の感想の共有。
13	原作『夜のピクニック』の表現技法について解説。原作を映像化への工夫について解説。
14	恩田陸原作『夜のピクニック』関連作品の解説。
15	まとめ
16	テスト

2020年度シラバス

科目名:福祉スポーツ	担当者:寺田 恭子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
様々な障がいのある人たちの身体活動とスポーツに関する歴史的変遷および現状について学び、全ての人間がスポーツという文化に親しみ、健康な心身を育んでいくためのスポーツと社会の在り方について理論と実践から学ぶ。

授業の到達目標
学生は、個々人の違いを認めた上で、“共にスポーツを楽しみ”“共に生きること”をスポーツを通して深く考える。またそのために必要な行動両力が身につくことを目標とする。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
2020年のパラリンピックに関する情報をあらゆる角度から収集し、パラリンピックに関するディスカッションに積極的に参加できるよう準備をする。また事後学修については、新しい用語や制度などをノートに整理すること。

評価方法
　合計4回のミニレポートが10点満点×4回＝40点。障がいのある方との交流活動参加後のレポート課題20点満点。学期末テスト40点満点。以上の合計100点満点で評価する。

教科書	参考図書
特になし。その都度プリントを配布する。	必要なときに提示する。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
掲示板を毎回チェックすること。授業は実技あり。実技の際には動きやすい服装と体育館シューズを忘れないように。スポーツを実践している障がいのある方を外部講師としてお呼びする（初級指導資格関連）ので、その授業には必ず参加すること。

01	オリエンテーション　Adapted Sports について
02	障がい者スポーツとはなにか。障害者福祉施策からひも解く
03	障がい児・者とスポーツの意義と理念および歴史的変遷
04	パラリンピックの歴史と現状
05	スペシャルオリンピックスおよび様々な障がい者スポーツ
06	障がい者スポーツボランティア・全国障害者スポーツ大会他ボランティアの現状と志度者制度
07	重症心身障がい者とスポーツ　日常生活と心身に対する知識および理解
08	様々な身体と表現するカラダ　車いすダンススポーツ・シンクロナイズドスイミング他
09	ドキュメンタリー映画「マーダーボール」障がい者とスポーツを取り巻く環境について考える
10	障がい者スポーツの実践の前に　スポーツ環境と安全管理　個々の身体への対応
11	実践活動①視覚障がい者とスポーツ　　理解と補助/サウンドテーブルテニスの体験と講義
12	実践活動②パラリンピック正式種目　ボッチャの体験と講義
13	実践活動③高齢者のための身体活動　高齢者・知的障がい者対象　社交ダンスの体験
14	実践活動④車いすダンススポーツの体験　外部講師（障がいのあるダンスアスリート）と共に
15	2020年に向けての課題とパラリンピックスポーツのレガシーについて考える。テスト。
16	まとめ

科目名:現代の福祉	担当者:横井 優子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　日本の福祉は、広義には社会福祉制度や公衆衛生、教育、雇用、環境政策等を含むものと理解され、狭義には福祉サービスの意味で使われることが多い。授業では、様々な福祉の対象について、それぞれ事例を用いて具体的に課題を考える。グループワークを２回程度取り入れ、自分たちの考えや意見を共有し発表する。【ＡＬ】

授業の到達目標
　高齢者、児童など、福祉の対象は様々だが、福祉が現代社会で生きる我々にとって、必要不可欠であることを理解する。また、自分たちがボランティアなど福祉の担い手として参加するという視点についても、目を向けることができるようになる。学生は、福祉が自分たちにとって身近なものとして理解し、自分もその担い手であるという視点を持てるようになることを目標とする。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
　それぞれの福祉分野について、自分達でも課題や現状などを調べる。　また、情報を共有した後で再度、理解が深められたかを復習する。

評価方法
　学習態度と授業後に実施する小レポート（50%）確認テスト（50%）

教科書	参考図書
資料を配布	授業時に紹介

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　質問は、小レポートに記入してもらい、次の授業で返答する。

01	福祉の対象と必要性について
02	社会福祉の歴史と現在
03	児童福祉の現場から
04	少子化社会と子育て支援
05	子どもが育つ環境と保育
06	女性福祉
07	障がい者および障がい児福祉
08	高齢者福祉１　現状
09	高齢者福祉２　問題点
10	セーフティーネットについて
11	医療福祉
12	地域福祉
13	司法福祉
14	ボランティアと社会参加
15	授業のまとめと確認テスト
16	

2020年度シラバス

科目名:生活と医療	担当者:辻 英之	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
日常生活に存在する様々なリスクについて、ワークショップやグループ学習を通して実践的・具体的に学ぶ参加型の授業。秋のセミナーで訪問した長野県泰阜村で子供達の教育活動（自然体験・生活体験など）を実施するＮＰＯの代表理事が、実践から導き出された知見（生活のなかで必要な医療に関する基本的な知識や技能）を提示する。なお講師は救命法国際トレーナーでもあり、緊急事態の対応や予防安全の観点から専門的知見も提示する。【ＡＬ】

授業の到達目標
日常生活に存在するリスクをコントロールしつつ、心と身体を守りながら豊かな暮らしを送ることができる初歩的な知識や技術を身につける。本講義はとりわけ、こどもと大人のリスクを比較しながら学ぶ。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
こどもを取り巻く生活環境や危険要因などについて、インターネットや新聞などマスメディアを通しての情報収集に努めること。

評価方法
授業への参加態度30%　各回ごとのコメントペーパーの内容30%　筆記試験40%

教科書	参考図書
信州のへき地山村から毎週通い、山村のリアルタイムの情報を伝える。また、ビジュアルな教材を使用する。　資格取得についての質問は随時受け付ける。講師の連絡先は授業で提示する。	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
変則的な日程での開講を予定しているので、初回のオリエンテーションには必ず出席すること。信州のへき地山村から毎週通い、山村のリアルタイムの情報を伝える。また、ビジュアルな教材を使用する。　資格取得についての質問は随時受け付ける。講師の連絡先は授業で提示する。

01	オリエンテーション。
02	「最初のリスク」の乗り越え方を、体験型ワークショップで理解する。
03	安全管理ワークショップを通して、子どもの体験活動におけるリスクの存在について理解する。
04	実際にあった死亡事故の判例検証・裁判員ワークショップを通して、リスクと責任を理解する。
05	保険の仕組みの概要と保険チェックを通して、リスクと責任を理解する。
06	危険予知トレーニング教材を使用した実習を通して、リスク予知能力向上の必要性を理解する。
07	屋外でのグループワークを通して、見えるリスク、聞くリスクなど、多様なリスクを理解する。
08	リスク軽減と予防について、予見と回避の２大原則を理解する。
09	グループ実習を通して、こどもと大人の特性の違いと、ファーストエイドのイロハを理解する。
10	救命率向上ワークショップを通して、日米の救命率の差を埋める方策を考える。
11	グループ実習を通して、緊急事態における「初動これだけは！」を理解する。
12	グループ実習を通して、大切な人・愛する人の万が一の対応を理解する。
13	グループ実習を通して、AEDの本来の機能（魔法の箱なのか？）と意義を理解する。
14	実習を通して、日常的な病気・ケガの際の初動を理解する。
15	授業で得られた成果をまとめ、全員で共有することを通して学びを深める。確認テスト。
16	なし

2020年度シラバス

科目名:いのちの科学	担当者:山下 玲香	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
【担当者の実務経験】高等学校教諭
この授業科目では、元高等学校教諭での経験を踏まえ、学校保健の知見から、生命科学を日常生活で活用するための具体的な方策を学ぶ。また女子教育において必要な知識を身につけるだけでなく、自ら課題を発見し、発表に向け計画・準備を行い、他者へ伝える発信力を養う。また、この授業はアクティブラーニング形式を取り入れ授業展開をする。（AL）

「いのち」とは、2つの生命の結合により発生するものであり、その連続が今日の自分にたどり着いた生命の歴史そのものである。ヒトが生まれて死ぬまでの人体の不思議や身の回りの生き物の生態など、生命科学の基礎を学び、理解を深める。

この授業を受けることにより、生理学的な分野の知識を身につけ物事を考えていくことができる思考力と、課題解決に取り組むことができる行動力、様々な方法により他者に伝えようとするコミュニケーション力が身につく。

授業の到達目標
１）ヒトが生まれて死ぬまでの人体の不思議や身の回りの生き物の生態など、生命科学の基礎を理解する。２）授業のテーマについて自ら考え、意見を述べたりまとめたりする。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
１）興味のあるテーマについて、書籍やインターネットで調べる。２）提出された課題について、授業内で指定された方法で取り組む。

評価方法
１）確認テスト50%、平常点50%（出席状況、課題、授業への取り組み姿勢）の合計100点満点で評価する。２）授業中の迷惑行為（私語、飲食、化粧、スマホや携帯電話等の使用、遅刻、無断退出等）を行った場合は、平常点から減点する。

教科書	参考図書

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
１）授業には前向きな姿勢で取り組むことを期待しています。課題には真摯に打ち込み、グループワークは積極的に発言してください。２）授業中に配布された資料、書いたメモなどは全て1つのファイルに綴ってください。

01	オリエンテーション、いのちのはじまり：生命の誕生、自分の年表の作成
02	自分年表の発表：少人数で自分年表を紹介し合う
03	ヒトの体の不思議①：肘とあごはくっつかない！　指一本で立ち上がれない、腕相撲の角度
04	ヒトの体の不思議②：ヒトは視覚に頼っている！　ブラインド・ウォーキング、錯視、似顔絵
05	人体の構成：自分の体は何でできている？　骨と筋肉のはなし
06	動物の生態の不思議：睡眠、食事
07	常在細菌：身の回りの菌を知ろう
08	感染症：インフルエンザ
09	ヒトと病気：人間が病気と闘ってきた歴史
10	医療：医療に関連する仕事や職業と実態
11	個人発表：自分の気になる事柄を1対1で発表しよう
12	グループワーク①：調査活動をしよう　製作活動
13	グループワーク②：調査活動をしよう　制作活動
14	グループワーク③：発表会
15	まとめと確認テスト
16	

2020年度シラバス

科目名:女性と労働	担当者:伊藤 静香	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
本講義では、グローバル化や多様化が進む現代社会のさまざまな問題に、適切に対応する力を養うために、知識の習得にとどまらず、自ら考える力やコミュニケーション力を身に着けます。授業は「労働」をテーマに、講義だけでなく、プリント資料やDVDを活用して、すぐに役立つ実践的な内容で進めていきます。また、コメントシート記入（毎回）やグループワーク・グループ発表（1回）で自ら考える力を養います。

授業の到達目標
現代社会における働く女性の現状と課題を知り、学習を通して、一人ひとりが自分の人生に向き合あい、働く目的、目標を持つことができるようになる。労働に関する法律や制度を学び、雇用社会を生き抜く知恵を身に着けられるようになる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
準備学修：次回の授業で学習するテーマについて具体的な事例を考える。　事後学修：労働に関する記事や情報に関心を持ち、毎日1回は新聞やインターネットで労働に関連する記事や探し読み、自分なりの考えを持つ。　(準備学修、事後学修あわせて毎週4時間程度)

評価方法
①授業への参加態度10%　②授業に出席した際に配布するコメントシートへの記入内容40%　③「女性と労働」に関するレポート50%

教科書	参考図書
特に指定はしません。	『働くときに知っておきたい労働関連法の基礎知識』

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
社会に出ると、労働の問題には、誰もが一度は遭遇するでしょう。個人的な問題とせずに、社会的な視点で考えることも重要です。最初は、ぜひ自分のこととして考えてみましょう。

01	オリエンテーション：現代社会で女性が働くこと
02	働く女性のあゆみ：20年前、30年前、40年前の女性たちの働き方を知る
03	女性が働き続けるために：女性の就業をめぐる現状をデータから探る
04	男女平等な働き方とは：アイスランドの事例から考える
05	ワークルール：労働者を守る法律とは何かを ワークルール：労働者を守る法律について
06	ワークルール：働く前に知っておきたいこと（採用・労働契約等）
07	ワークルール：働き始めに知っておきたいこと（労働条件、賃金、労働時間等）
08	ワークルール：育児介護休業法について
09	ワークルール：解雇・社会保障について
10	職場のトラブル：ハラスメントの構造を学び、防止策を考える
11	多様化する雇用：パート、派遣労働の問題について考える
12	人身取引：人身売買問題について知り、解決策を考える
13	女性の貧困：女性と子どもの貧困問題について考える
14	女性のキャリアと労働：これからの働き方を考える
15	職業生活と家庭生活の調和：ワーク・ライフ・バランスと将来設計を考える
16	なし

2020年度シラバス

科目名:企業と会計	担当者:久世 俊彦	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法 私たちの身の回りでは、沢山の企業が活動しています。会計は、それら企業の活動を「貨幣」という尺度で写し取り、財務諸表を通じて私たちに多くの情報をもたらしてくれるものです。この授業では、財務諸表を適切に読みとり、経営の良し悪しを判断するための、基本的な考え方を学びます。
授業の到達目標 ①財務諸表を読んで、企業の安定性・収益性・成長性を判断できるようにようになります。 ②大阪商工会議所主催「ビジネス会計検定試験3級」合格レベルの財務諸表分析の知識および会計学の基礎知識を得られることを目指します。
授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修 ①ニュースや新聞などで最新の企業の活動をチェックしてください。②身の回りの企業が、どうやってお金を稼ぎ、そのためにどんな支出をしているか、考えてみてください。
評価方法 小テスト：3回実施、各10点　中間レポート：30点　確認テスト：40点　合計：100点

教科書	参考図書
講義資料を配布予定	谷武幸・櫻井久勝　編著『１からの会計』中央経済社

その他(学生へのアドバイス、連絡手段) この授業は財務諸表の「読み方」を中心に学習します。もっと会計のことを知りたい、という皆さんは財務諸表の「作り方」を学ぶ簿記を並行して学習するとよいでしょう.

01	講義の説明及び決算書を読むために必要最小限の簿記の知識の解説
02	企業を取り巻く各種法令（会社法、金融商品取引法、法人税法の３法について）
03	企業の業務サイクルの理解と商品売買（ERPパッケージソフトを例に）
04	総務、経理、営業事務の仕事
05	重要な三つの財務諸表ー貸借対照表・損益計算書・キャッシュフロー計算書
06	人件費取引に関する会計処理
07	有価証券取引、固定資産取引の基礎①（主として有価証券取引）
08	有価証券取引、固定資産取引の基礎②（消耗品費、修繕費と資本的支出）
09	経費取引（交際費及び寄付金）に関して
10	金融商品会計とリース会計の基礎
11	経理業務（月次決算及び確定申告）①
12	経理業務（月次決算及び確定申告）②
13	連結財務諸表と予算制度について
14	会社法における様々な組織再編手法
15	ケース・スタディ（企業内容開示情報を入手する手法）
16	考査

2020年度シラバス

科目名:事務管理	担当者:佐藤 三佳	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
ビジネス文書を中心に、ファイリング、メールのマナー、敬語表現、宛名書き、など学びます。正確で効率的なコミュニケーションのための「書く」スキルは実習を通して学びます。ビジネス文書以外に、オフィス実務の基本をグループワークを通して学びます。【ＡＬ】

授業の到達目標
① 事務の役割を理解し、事務を合理的に処理する能力を養う。② ビジネス文書検定の合格を目指す。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
新聞を読み、正確でわかりやすい文章はどのような文章なのかを考えましょう。普段の生活の中でも敬語を遣う場面を増やし、敬語に慣れましょう。ビジネス文書は実際に書いてみることで身につけていきます。学んだことの力試しとして「ビジネス文書検定」受験を目指しましょう！

評価方法
確認テスト・提出物（50%）、平常点（出席状況、受講マナー、授業意欲、参加度　50%）を評価し総合的に行う。

教科書	参考図書
ビジネス文書検定受検受験ガイド3級　早稲田教育出版	ビジネス文書検定受験ガイド1・2級

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
連絡先は授業で開示します。

01	授業のオリエンテーション
02	文書の基礎知識
03	伝言メモ作成のポイント（グループワーク）
04	指示の受け方・報告の仕方
05	会議の準備（グループワーク）
06	ミスの処理・ミスの予防（グループワーク）
07	ビジネス文書とは（2つの案内状）
08	ビジネス文書（社内文書・議事録作成）
09	ビジネス文書（社外文書）
10	ファイリング（グループワーク）
11	メールの作成とマナー
12	ビジネス文章作成（Word/Power Point）
13	宛名書き・事務関連法規
14	お礼状作成
15	学習のまとめと確認テスト
16	

2020年度シラバス

科目名:秘書実務	担当者:吉田 智美・加藤 洋美	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
この授業では、秘書だけでなくあらゆる業種や職種において必要とされるビジネス実務のマナー、ルールを理解する。グループディスカッション（全2回）、グループワーク（全４回）やインバスケット（全7回）を行い、知識を理解し、臨機応変に応用できる力を修得する。さらに社会でより良い人間関係を構築するため、コミュニケーションに必要な知識も学ぶ。【ＡＬ】

授業の到達目標
前半では、ビジネスにおいて必要とされる言葉遣い、電話応対、来客応対などの仕事の基本的な進め方を理解することを目標とする。後半では、ビジネス文書、慶弔のマナーを学ぶ。さらに、ビジネススキルのインバスケットを行うことにより、事務処理の応用力を磨き、卒業後の社会生活に対応できるよう知識を身に付ける。さらに、秘書検定2級、準1級の取得を目標とする。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
社会の出来事について、興味をもって新聞やニュースを見て理解すること。事前課題、事後課題、復習、試験対策などでおおよそ30時間程度の予習復習を要する。具体的な内容は授業中に指示する。2～３回（事後）授業で学んだ内容を意識しながら、普段の生活でのコミュニケーションスキル振り返り、より良いコミュニケーションができるよう対応する（4時間）。4～10回（事後・事前）普段使用する言葉（アルバイトなど）や電話応対を振り返り、疑問点を出し、正しい言葉遣いで対応する（4時間）11～14回(事後）接遇での知識をアルバイトで活かす

評価方法
授業への参加態度30%　実技・提出課題30%　確認テスト40%

教科書	参考図書
『よくわかる社会人の基礎知識　マナー、文書、仕事のキホン』	授業中に指示する。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
卒業後の社会人生活を意識しながら授業に参加してほしい。

01	学習の目的と進め方について　グループディスカッション
02	必要とされるコミュニケーション①聴き方　グループワーク
03	必要とされるコミュニケーション②伝え方　グループワーク
04	言葉遣い①　敬語について
05	言葉遣い②　接遇用語
06	言葉遣い③　状況対応
07	電話応対①　求められるマナー
08	電話応対②　かけ方について
09	電話応対③　受け方について
10	電話応対④　状況対応について　ケーススタディ、グループワーク
11	来客応対①　心構えについて
12	来客応対②　名刺交換、案内、グループワーク
13	来客応対③　席次、茶菓のマナー、見送り
14	来客応対④　状況対応
15	前半のまとめと確認テスト
16	慶弔のマナー①　慶事のマナー
17	慶弔のマナー②　弔辞のマナー
18	慶弔のマナー③　贈り物のマナー
19	ビジネス文書①　社内文書
20	ビジネス文書②　社外文書
21	ビジネス文書③　はがき、封筒の書き方
22	食事のマナー　和食、洋食、立食など　グループディスカッション
23	インバスケット１　仕事の優先順位について
24	インバスケット２　社外文書・社内文書復習
25	インバスケット３　電話応対復習
26	インバスケット４　慶弔の取り扱い復習
27	インバスケット５　出張業務
28	インバスケット６　ファイリング
29	インバスケット７　報告、連絡、相談について
30	まとめ、確認テスト

31	なし

2020年度シラバス

科目名:Ｅｘｃｅｌプログラミング	担当者:木下 博光	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
企業において幅広く活用されている表計算ソフトウェアExcelの基本関数を学び、実戦に近い練習問題をすることで、具体的な問題解決にチャレンジし、知っている関数から、使える関数にしていきます。

授業の到達目標
企業などにおいて即戦力としてエクセルが使えるように、より実務的な機能を習得することを目的とします。基礎で学んだものをベースに、複合関数の使い方を学んでいく。知っている関数ではなく、使える関数40個を目指す。製作者以外の人が、まちがいなく使いやすい入力方法やレイアウトを習得する。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
日常生活で困ったことをメモに残し、エクセルを使用して効率のよい方法を考える。

評価方法
授業への参加態度50％　随時提出ファイル50％により評価する。

教科書	参考図書
随時プリント配布	ビジネスExcel 完全版　出版社: 日経BP社　ISBN-10: 4822258459

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
複合関数を使い１セル内で結果が出せるように、がんばってみましょう。

01	ガイダンス、複合関数体験
02	エクセル基礎の確認 1　基本的な操作、ファイル形式と保存方法エクセル基礎の確認 1　基本的な操作とファイル保存形式と方法
03	エクセル基礎の確認 2　基本的な関数　SUM・AVERAGE・IF・VLOOKUP
04	IF関数のマスター　ネスト処理　NOTとAND
05	VLOOKUP　完全一致と近似値のちがい、エラー表示をなくそう
06	INDEXとMATCHで送料を求めよう
07	INTで金種計算と四捨五入
08	WEEKDAY で日曜日を赤色表示
09	リスト入力　動的変化するリストで簡単入力
10	ROWとCOLUMN で消えない行番号表示
11	文字列を制御 LEFT・MID・RIGHT
12	時間を制御 TIME・HOUR・MINUTE・NOW　給与計算にチャレンジ
13	日付を制御 DATE・YEAR・MONTH・DAY・TODAY　スケジュール帳作成
14	総合問題
15	総合質問・復習
16	

2020年度シラバス

科目名:応用Ｅｘｃｅｌプログラミング	担当者:木下 博光	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
エクセル攻略！。VBA (Visual Basic for Application) を使用し、エクセルの可能性にチャレンジしながら学びます。より多くの例題、企業でのエクセル使用例やサンプルプログラム作成を行うことで、VBAの使い方を身に付けます。関数ではできない高度な処理が可能になり利用範囲が広い。

授業の到達目標
サンプルプログラムを作成をすることでコマンドの基本、プログラミングの流れを学び、VBA基礎知識の習得を目標とする。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
時間内に完成しなかった課題は次の演習までに完成しておくこと。

評価方法
授業への参加態度50%　作成したスケジュール帳50%で評価する。

教科書	参考図書
随時プリント配布	授業内で紹介

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
自分で使いたい、他人が使ってみたいと思うような作品をつくることが必要。

01	ガイダンス、ＶＢＡ体験　マクロとVBAの違い
02	ＶＢＡ基本操作方法の実習　エディタの使い方　デバッグとエラー処理
03	ＶＢＡの基礎実習　コントロールの使用法　ラベル、ボタン、テキストボックス、フォーム
04	ＶＢＡの基礎実習　簡単なプログラムをつくってみよう 1　変数、データ型、代入
05	ＶＢＡの基礎実習　簡単なプログラムをつくってみよう 2　セルとワークシートの操作
06	ＶＢＡの基礎実習　簡単なプログラムをつくってみよう 3　動的配列、配列の演算
07	ＶＢＡの基礎実習　簡単なプログラムをつくってみよう 4　ループ処理For文、While文
08	ＶＢＡの基礎実習　簡単なプログラムをつくってみよう 5　文字列の操作
09	スケジュール帳を作ってみよう 1
10	スケジュール帳を作ってみよう 2
11	スケジュール帳を作ってみよう 3
12	スケジュール帳を作ってみよう 4　提出
13	エクセルの復習　関数
14	Windowsの基本操作の復習
15	パソコン全体について復習
16	

2020年度シラバス

科目名:韓国語と韓国文化ⅡＡ	担当者:李 正子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
これからの時代は、外国人との共生が必要となる。このような時代や社会環境の変化に対して的確に対応するためにも、英語以外の外国語習得、特にアジア言語の習得は必須であると思われる。また、より広い視野に立って物事を考えるためにも他国の言語や文化を学ぶことは有意義である。韓国語と韓国文化２Aでは、上記の内容を念頭におき、中級レベルの韓国語の文法と会話、文化について理解を深める。

授業の到達目標
韓国語と韓国文化１ですでに学んだ文法をもとに、同じ教科書の続きを学ぶ。教科書と同時進行しながら、Kポップの歌詞、映画などを教材として学び、その内容とその背景にある文化、思考方式を理解する。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
準備学習：前の週に配られたテキストの単語を調べ、読み込んでおく。
事後学習：その日に学んだ単語を覚え、テキストとともに覚える。

評価方法
授業への参加態度：30%、確認テス(５回)：50%、課題・提出物：20%

教科書	参考図書
即！実践　楽しもう韓国語	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
好奇心、興味をもって授業に臨むこと。日常生活において、韓国の音楽、ドラマ、映画はもちろん、それだけでなく、SNSのやりとりもハングルでチャレンジするなど、いろいろなところで韓国語に触れてほしい。

01	授業の説明、導入
02	ウォーミングアップ１　합니다体と助詞
03	ウォーミングアップ２　해요体
04	会話編　第７課（１）
05	会話編　第７課（２） ㄹ
06	会話編　第８課（１）固有数詞と助数詞
07	会話編　第８課（２）何時から何時まで、名詞の丁寧語表現
08	まとめと確認テスト
09	文化体験　映画鑑賞
10	会話編　第９課（１）過去形１
11	会話編　第９課（２）過去形２、時に関する言葉
12	文化体験　調理実習
13	会話編　第10課（１）　尊敬語
14	会話編　第10課（２）　～く見える、～のように見える
15	まとめと確認テスト
16	
17	会話編　第１４課　条件、理由、勧誘
18	会話編　第１５課　意志・意向、逆説、許可
19	まとめと小テスト、文化講義「韓国の結婚式」
20	会話編　第１６課　意図、丁寧な依頼、助言
21	会話編　第１７課　으変則活用、不可能、理由原因
22	確認テスト
23	Ｋ－ｐｏｐ編１　Gee
24	Ｋ－ｐｏｐ編２　내가 제일 잘나가
25	Ｋ－ｐｏｐ編３　나 혼자
26	まとめと小テスト　文化講義「韓国の祝日、記念日」
27	映像編１　イルマーレ
28	映像編２　JSA
29	映像編３　私たちの幸せな時間
30	確認テスト
31	

2020年度シラバス

科目名:韓国語と韓国文化ⅡＢ	担当者:李 正子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
これからの時代は、外国人との共生が必要となる。このような時代や社会環境の変化に対して的確に対応するためにも、英語以外の外国語習得、特にアジア言語の習得は必須であると思われる。また、より広い視野に立って物事を考えるためにも他国の言語や文化を学ぶことは有意義である。韓国語と韓国文化２Bでは、上記の内容を念頭におき、中級レベルの韓国語の文法と会話、文化について理解を深める。

授業の到達目標
韓国語と韓国文化１ですでに学んだ文法をもとに、同じ教科書の続きを学ぶ。教科書と同時進行しながら、Kポップの歌詞、映画などを教材として学び、その内容とその背景にある文化、思考方式を理解する。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
準備学習：前の週に配られたテキストの単語を調べ、読み込んでおく。
事後学習：その日に学んだ単語を覚え、テキストとともに覚える。

評価方法
授業への参加態度：30%、確認テスト(5回)：50%、課題・提出物：20%

教科書	参考図書
即！実践　楽しもう韓国語	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
好奇心、興味をもって授業に臨むこと。日常生活において、韓国の音楽、ドラマ、映画はもちろん、それだけでなく、SNSのやりとりもハングルでチャレンジするなど、いろいろなところで韓国語に触れてほしい。

01	授業の説明、導入
02	会話編　第11課（１）～したい、（人・動物）に/から
03	会話編　第11課（２）～してみる
04	会話編　第12課（１）理由、意志・推量
05	会話編　第12課（２）まだ～していません、確認
06	会話編　第13課（１）尊敬の過去形、助詞の尊敬形
07	会話編　第13課（２）推量、感嘆
08	まとめと確認テスト
09	文化体験　映画鑑賞
10	会話編　第14課（１）条件、理由
11	会話編　第14課（２）相手の意向をたずねる
12	会話編　第15課（１）意思、意向・勧誘
13	会話編　第15課（２）逆説、許可
14	文法と本文のまとめ
15	まとめと確認テスト
16	
17	会話編　第１４課　条件、理由、勧誘
18	会話編　第１５課　意志・意向、逆説、許可
19	まとめと小テスト、文化講義「韓国の結婚式」
20	会話編　第１６課　意図、丁寧な依頼、助言
21	会話編　第１７課　으変則活用、不可能、理由原因
22	確認テスト
23	Ｋ－ｐｏｐ編１　Gee
24	Ｋ－ｐｏｐ編２　내가 제일 잘나가
25	Ｋ－ｐｏｐ編３　나 혼자
26	まとめと小テスト　文化講義「韓国の祝日、記念日」
27	映像編１　イルマーレ
28	映像編２　JSA
29	映像編３　私たちの幸せな時間
30	確認テスト
31	

科目名:中国語と中国文化ⅡＡ	担当者:張 書 涵	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:中国語と中国語文化Ｉを履修した者		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　授業では、中国語の発音と基本的な文法事項を復習しながら、より正確な発音を習得し、新しい文法を学び、会話もよりスムーズにできるように練習していく。毎回グループ会話発表を通して会話能力を高め、更に必要に応じて、音声教材などを補助的に使って授業を行っていく。また中国の歴史や様々な文化、さらに現代中国社会事情、世界遺産などについても授業の中で紹介し、中国語を学ぶ上で必要な教養を身につけていく。

授業の到達目標
　既習した中国語を活用しながら、多くの語句や文章についての知識を深め、日常的な会話などの表現ができるようになることを目標とする。また中国の歴史や文化を学び、異文化への理解を深めていく。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
　授業は一方的な講義の形式ではなく、会話など演習を中心とするため、添付のＣＤを十分に利用し、授業中に出された課題や予習、復習をしっかりと行い、積極的に授業に取り組んでください。

評価方法
　授業で会話発表や参加状況20%、小テスト20%、確認テスト60%

教科書	参考図書
「実学実用初級中国語」陳　淑梅・劉光赤　著　朝日出版社	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　メールなどで連絡手段とする。

01	ガイダンスと復習
02	第11課　交番で道を尋ねる　中国の新年
03	ドリルの練習と会話⑪
04	第12課　今年はいくつ？　中国の学園祭
05	ドリルの練習と会話⑫
06	文化体験　映画鑑賞
07	第13課　毎日何時に起きますか？　中国若者の恋愛・結婚事情
08	ドリルの練習と会話⑬
09	まとめと小テスト
10	第14課　セールでの買い物　中国人の余暇
11	ドリルの練習と会話⑭
12	文化体験　中国の歌
13	第15課　歴史記念館で　中国人の贈り物
14	ドリルの練習と会話⑮
15	まとめ確認テスト
16	
17	第16課　テニスに誘う
18	第16課　ドリルの練習と会話⑥
19	第17課　バトミントンを楽しんだ後
20	第17課　ドリルの練習と会話⑦
21	食文化体験
22	第18課　中国語が聞き取れなくて
23	第18課　ドリルの練習と会話⑧
24	第19課　今何をしているの？
25	第19課　ドリルの練習と会話⑨
26	現代中国の紹介
27	第20課　引っ越し
28	第20課　ドリルの練習と会話⑩
29	後期のまとめ
30	確認テスト
31	なし

2020年度シラバス

科目名:中国語と中国文化ⅡＢ	担当者:張 書 涵	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:中国語と中国語文化Ｉを履修した者		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　授業では、中国語の発音と基本的な文法事項を復習しながら、より正確な発音を習得し、新しい文法を学び、会話もよりスムーズにできるように練習していく。毎回グループ会話発表を通して会話能力を高め、更に必要に応じて、音声教材などを補助的に使って授業を行っていく。また中国の歴史や様々な文化、さらに現代中国社会事情、世界遺産などについても授業の中で紹介し、中国語を学ぶ上で必要な教養を身につけていく。

授業の到達目標
　既習した中国語を活用しながら、多くの語句や文章についての知識を深め、日常的な会話などの表現ができるようになることを目標とする。また中国の歴史や文化を学び、異文化への理解を深めていく。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
　授業は一方的な講義の形式ではなく、会話など演習を中心とするため、添付のＣＤを十分に利用し、授業中に出された課題や予習、復習をしっかりと行い、積極的に授業に取り組んでください。

評価方法
　授業で会話発表や参加状況20%、小テスト20%、確認テスト60%

教科書	参考図書
「実学実用初級中国語」陳　淑梅・劉光赤　著　朝日出版社	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　メールなどで連絡手段とする。

01	前期の復習と会話練習
02	第16課　テニスに誘う　中国の世界遺産
03	ドリルの練習と会話⑯
04	第17課　バドミントンを楽しんだ後　中国の世界遺産
05	ドリルの練習と会話⑰
06	文化体験　映画鑑賞
07	第18課　中国語が聞き取れなくて　中国語の植物語
08	ドリルの練習と会話⑱
09	まとめと小テスト
10	文化体験　中華料理
11	第19課　今何をしているの？　中国語と体態語
12	ドリルの練習と会話⑲
13	第20課　引っ越し　中国語の色彩語
14	ドリルの練習と会話⑳
15	まとめと確認テスト
16	
17	第16課　テニスに誘う
18	第16課　ドリルの練習と会話⑥
19	第17課　バトミントンを楽しんだ後
20	第17課　ドリルの練習と会話⑦
21	食文化体験
22	第18課　中国語が聞き取れなくて
23	第18課　ドリルの練習と会話⑧
24	第19課　今何をしているの？
25	第19課　ドリルの練習と会話⑨
26	現代中国の紹介
27	第20課　引っ越し
28	第20課　ドリルの練習と会話⑩
29	後期のまとめ
30	確認テスト
31	なし

科目名:アジアの社会と文化	担当者:都 恩珍	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:特になし		単位数	2
		必須. 選択	選択

授業概要と方法
本科目での学びは幅広い分野にわたる知識を身につけ、より広い視野に立って、物事を考えていくことができる思考力を身につけるための学びです。アジアの中でも、とりわけ韓国と日本に焦点をしぼり（１）韓国の最新トレンドを中心に取り上げ、両国の違いが何かを理解し、その上で（２）両国の抱えている問題が何か、解決に向けて両国はどうしているかについて学びます。授業では最初に指定のトピックについて各自が事前に調べた内容をグループで確認してから教員の講義を始めます。

授業の到達目標
次を目標とします。
（１）韓国の社会・文化を理解すると同時に、自国の文化について改めて理解を深める。
（２）日韓問題を理解することの意義について考える。
（３）アジアの国々の関連性について学ぶ。
（４）日本と韓国の過去・現在・未来について自分なりの視点を持つ。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
準備学修：毎週のトピックについて各自が文献、雑誌、ネットなどを利用して調べる（約２時間）。
事後学修：授業中にグループで確認しあった内容および講義内容を総合的に理解し、授業ノートを完成（約2時間）。
＊オリジナルの授業ノートは授業の最初の時間に配布します。

評価方法
事前調査20%　　授業ノート４0%　　期末レポート30%　　授業態度10%

教科書	参考図書
オリジナル資料	『新版日韓の文化比較と日韓問題ーよりよいに日韓関係を築くためにー』梁禮先　朝日出版社　2018年

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
自身の視点をもって取り組みましょう。連絡方法は授業中に提示します。
諸事情により授業内容を変更することがあります。オフィスアワー：水曜日2限

01	ガイダンス、韓国と言えば？
02	日韓比較（１）似ているようで違う日本と韓国
03	日韓比較（２）韓国概要
04	日韓比較（３）入試戦争と就職難
05	日韓比較（４）兵役制度と恋愛・結婚
06	日韓比較（５）宗教観
07	日韓比較（６）日流・韓流
08	日韓比較（７）韓国トレンド
09	日韓比較（８）伝統文化（衣）
10	日韓問題（１）映画に見る日韓問題①
11	日韓問題（２）韓国近代史
12	日韓問題（３）映画に見る日韓問題②
13	日韓問題（４）在日コリアン
14	日韓問題（５）日本と韓国の過去・現在
15	日韓問題（６）日本と韓国の未来
16	なし

2020年度シラバス

科目名:国際社会と日本	担当者:櫻井 雅俊	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法 アジア太平洋地域の特徴について、その成り立ちを遡り学んでいく。授業は講義形式で進められ、各回終わりに講義内容のまとめとなる「問い」が示されるので、カードに解答を記入し提出してもらう。誤答が目立つ箇所は次回授業冒頭で補足・解説を行う。2度の論述テストでは、問題の意図をよく考え、それに則って講義内容を復習し、自分の言葉でまとめ直す力が問われる。
授業の到達目標 現在までのアジア太平洋地域の歩みを学んでいくことで、今後のアジア太平洋における日本のあり方を展望するための視座を手に入れる。
授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修 新聞に目を通す習慣をつけてほしい。毎日30分（週180分程度）、授業内容と関連する記事を中心にチェックするように。（「新聞の読み方」については後で詳しく授業で学ぶことになる。）
評価方法 ①授業への参画態度（40%）　②論述テスト（60%）

教科書	参考図書
使用しない。	各回ごとに紹介する。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段) 特になし

01	ガイダンス
02	「アメリカの世紀」
03	近代日本の膨張1
04	近代日本の膨張2
05	新聞の読み方
06	アメリカによる地域秩序構想
07	吉田路線と戦後賠償問題
08	これまでの補足と論述テスト1
09	開発の時代
10	雁行型経済発展
11	中国の地域参画
12	21世紀のアジア太平洋1　不安定化する地域秩序
13	21世紀のアジア太平洋2　日米の対応
14	21世紀のアジア太平洋3　東南アジアのポテンシャル
15	これまでの補足と論述テスト2
16	なし

2020年度シラバス

科目名:地域文化研究	担当者:髙橋 一郎	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
世界には多様な文化、習慣が存在します。それらと接することで私たちは新たな視点が芽生え、創造的なアイデアを生み出す源になることもあります。映像を駆使して、世界を旅行する感覚で学びます。文化と地域による違いを「旅」しながら考えます。

授業の到達目標
本講義では様々な地域文化を知ると共にその背景を学ぶことにより、多面的な視野と発想力を身につける一助になることを目指します。なお、明るい表の面だけでなく社会の影の面も合わせ考え、国際社会における地域文化の理解をバランスよくできるように学ぶものとします。真面目に勉強する姿勢で学んだ方は、大きく視野が広がることでしょう。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
普段からテレビのニュース、新聞に目を通すようにする。近場の土地でも始めて行った場所であるならば、その地の文化的背景が何かを考えるように意識付けすることが重要です。

評価方法
授業への参加姿勢30%　授業内レポート30%　期末レポート40%　なお、私語等､授業を妨げる言動や行動があった場合は出席として扱いません。『履修の手引き』にあるように、3分の1以上を欠席した場合は単位が認められません。

教科書	参考図書 図書館の教員指定図書(高橋)に目を通しましょう。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
海外のみならず、国内の地域文化も扱います。受講者は日々の日常生活にある地域文化を意識ながらこの授業を履修すると地域文化がより身近な存在となるでしょう。

01	授業概要　　(以下の講義は順番が入れ替わる場合があります)
02	地域文化を学ぶことで重要なポイント1　・深夜特急ツアー 東アジア編
03	地域文化を学ぶことで重要なポイント2　・深夜特急ツアー 東南アジア編1
04	地域文化を学ぶことで重要なポイント3　・深夜特急ツアー 東南アジア編2
05	東南アジアの地理と地域文化　　・深夜特急ツアー 南アジア編1
06	地域文化の衝突 ・アフリカと地域紛争
07	タイ仏教に見る出家の社会的・文化的価値観とその背景
08	インドを知る ・深夜特急ツアー 南アジア編2
09	地域文化を映像の観点から学ぶ
10	イスラム教とイスラム文化
11	地域文化による死生観の違い
12	西アジア文化 〜 パキスタン・イラン　・深夜特急ツアー 西アジア編
13	西洋文化 その考え方の一端
14	深夜特急ツアー ヨーロッパ編
15	まとめ　　まとめのレポート提出
16	

科目名:観光と地理	担当者:未定Ａ	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　観光は、それぞれの地域を訪問し非日常を楽しみ学ぶ余暇活動の一つです。一方、地理学の役割は、時間と空間から地域差を明らかにすることです。観光という行動を地理学という視点から考えていくのが観光地理学です。
　この科目では幅広く地域特性を知り、その中から地域差を考えることで魅力を発信する力を養います。地域の魅力を伝える報告会を実施し全体で共有します。【ＡＬ】

授業の到達目標
　最近では、様々な観光スタイルが増えておりますので、その意義や社会的な影響などを俯瞰的に見ていきます。意義や影響を理解することで、地域を見る目を養い地域の魅力を活用する方法を学びます。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
　観光を特別な行動と考えず、身近な日常生活や地域という枠組みから考えてみましょう。インターネットを活用すれば世界中の情報が手に入りますので、いろいろな地域の特性を見つけ活かすことをイメージします。情報収集は、この科目の学修において重要です。

評価方法
１．定期試験（80%）　２．受講姿勢（10%）　３．レポート課題（10%）

教科書	参考図書
なし	・観光の地理学（立命館大学地理学教室　編　文理閣）　・ツーリズムの地理学（菊池俊夫　編著　二宮書店）　・授業ごとにレジメを配布する。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　質問等は、研究室で対応します。メール等でアポを取るとスムーズです。

01	ガイダンス　観光とは何か
02	観光の目的別による仕分け
03	都市部の観光　日本
04	都市部の観光２　海外
05	農村の観光　日本
06	農村の観光２　海外
07	自然対象の観光　日本
08	自然対象の観光２　海外
09	統計やデータからみる観光客
10	観光とまちづくり（国内と海外の事例から）
11	新しい観光資源（スポーツ・医療）
12	世界遺産を巡るー地域特性を学ぶー
13	日本の世界遺産を巡るー地域特性を学ぶー
14	愛知県および豊明市における観光資源の発見と活用プラン
15	授業のまとめ
16	なし

2020年度シラバス

科目名:フランス語とフランス文化ⅡA	担当者:中島 潤	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
この授業では、「フランス語とフランス文化I」で学んだことを応用しながら、フランス語の基本表現や会話表現を学び、他者の意見を理解する力と自分の意見を相手に伝える力を身につけ、それらに基づいてよりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力を養うことに貢献します。
授業ではフランス語だけでなく、DVD等を使って、フランスの文化や歴史にも触れる機会を設けます。

授業の到達目標
1. フランス語の単語を正しく読めるようになること。
2. 基本表現を用いてフランス語で簡単な会話ができるようになること。
3. フランスの文化、歴史を理解すること。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
付属の「単語集」を使って、授業前に「VOCABUAIRE」にある単語の意味を調べておきましょう。
授業後は復習をきちんと行いましょう。特に単語や会話表現をしっかり覚えるように意識して学習してください。

評価方法
定期試験（60%）や、授業への参加態度（40%会話練習、小テストなど）を参考に総合的に評価します。

教科書	参考図書
『ピエールとユゴー』[コンパクト版]、小笠原洋子・著、白水社	「フランス語とフランス文化I」で使用した教科書

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
授業にきちんと参加してください。質問は授業前後に受け付けます。
なお、授業計画はみなさんに合わせ変更する予定です。

01	1 オリエンテーション、教科書の使い方、あいさつの第一歩 Leçon1（主語の代名詞、動詞être、職業・国籍を表す単語）
02	2 アルファベ、つづり字記号
03	3 つづり字の読み方、数詞1-10
04	4 Leçon1（国籍・身分・職業）
05	5 Leçon1（主語人称代名詞、動詞être）
06	6 Leçon2（名詞の性と数、不定冠詞）
07	7 Leçon2（形容詞の性と数、動詞avoir）
08	8 ここまでの復習
09	9 Leçon3（定冠詞、言語）
10	10 Leçon3（-er動詞、否定文）
11	11 Leçon4（疑問文、指示形容詞、数詞11-40）
12	12 Leçon4（動詞faire / descendre、形容詞、12ヶ月）
13	13 Leçon5（動詞aller / venir、国名）
14	14 Leçon5（前置詞と定冠詞の縮約、命令形）
15	15 これまでの復習、前期のまとめ
16	16 定期試験
17	Leçon7（疑問形容詞、非人称構文）
18	Leçon7（動詞pouvoir、練習問題）
19	フランスの文化③（音楽）
20	Leçon6～7の復習
21	Leçon8（動詞aller、〈à+定冠詞〉の縮約、近接未来）
22	Leçon8（動詞vouloir、練習問題）
23	Leçon9（動詞venir、〈de+定冠詞〉の縮約、近接過去）
24	Leçon9（命令形、練習問題）
25	フランスの文化④（映画）
26	Leçon10（過去分詞、複合過去）
27	Leçon10（複合過去の否定形と疑問形）
28	Leçon10（動詞voir と prendre）
29	Leçon8～10の復習
30	まとめと確認テスト
31	なし

2020年度シラバス

科目名:フランス語とフランス文化ⅡB	担当者:内田 智秀	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
この授業では、「フランス語とフランス文化I」で学んだことを応用しながら、フランス語の基本表現や会話表現を学び、他者の意見を理解する力と自分の意見を相手に伝える力を身につけ、それらに基づいてよりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力を養うことに貢献します。
授業ではフランス語だけでなく、フランスの文化や歴史にも触れる機会を設けます。

授業の到達目標
1. フランス語の単語を正しく読めるようになること。
2. 基本表現を用いてフランス語で簡単な会話ができるようになること。
3. フランスの文化、歴史を理解すること。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
付属の「単語集」を使って、授業前に「VOCABUAIRE」にある単語の意味を調べておきましょう。
授業後は復習をきちんと行いましょう。特に単語や会話表現をしっかり覚えるように意識して学習してください。

評価方法
定期試験（60%）や、授業への参加態度（40%会話練習、小テストなど）を参考に総合的に評価します。

教科書	参考図書
『ピエールとユゴー』[コンパクト版]、小笠原洋子・著、白水社	「フランス語とフランス文化I」で使用した教科書

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
授業にきちんと参加し、各自復習を実施してください。質問は授業前後に受け付けます。
なお、授業計画はみなさんに合わせ、適宜変更する予定です。

01	オリエンテーション、前期の復習1（名詞、être, avoirと規則動詞を中心に）
02	前期の復習2（形容詞、否定形、疑問文、命令形を中心に）
03	Leçon6（所有形容詞、強勢形人称代名詞）
04	Leçon6（疑問形容詞、数詞40-100）
05	Leçon7（部分冠詞、色）
06	Leçon7（-ir動詞、vouloir）
07	Leçon8（非人称構文、pouvoir）
08	Leçon8（直接目的語の人称代名詞）
09	Leçon9（prendre、代名動詞）
10	Leçon9（間接目的語の人称代名詞）
11	Leçon10（近接未来、近接過去、中性代名詞）
12	Leçon11（比較級、最上級）
13	Leçon12（kakobunnsi Leçon12（過去分詞、直説法複合過去（avoir））
14	Leçon13（過去分詞、直説法複合過去（être））
15	後期のまとめ
16	定期試験
17	Leçon7（疑問形容詞、非人称構文）
18	Leçon7（動詞pouvoir、練習問題）
19	フランスの文化③（音楽）
20	Leçon6〜7の復習
21	Leçon8（動詞aller、〈à+定冠詞〉の縮約、近接未来）
22	Leçon8（動詞vouloir、練習問題）
23	Leçon9（動詞venir、〈de+定冠詞〉の縮約、近接過去）
24	Leçon9（命令形、練習問題）
25	フランスの文化④（映画）
26	Leçon10（過去分詞、複合過去）
27	Leçon10（複合過去の否定形と疑問形）
28	Leçon10（動詞voir と prendre）
29	Leçon8〜10の復習
30	まとめと確認テスト
31	なし

2020年度シラバス

科目名:英語と英米文化ⅡＡ	担当者:高橋 妙子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:１年時に英語の授業を受講していること		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
授業を２部構成にし、前半はテキストを用いて英米文化を学び、Listening のコツを掴む練習やペアワークなどで会話の練習をします。後半は、欧米のビデオ（映画、海外ドラマなど）を見たり、洋楽を聞いていろいろなActivity にチャレンジします。(AL)(EN)

授業の到達目標
実際に使われている英語に触れ、シチュエーションや文化的背景を理解しながら、「使える英語」を聞き取り、内容を理解し、さらに使いこなす力を身につけていきます。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
授業で学んだ表現や語彙は必ず覚え、課題や復習はしっかりと行うこと。スマートフォンなどで音声をDLして聞くことができるので、通学などの時間を利用して繰り返し聞いて下さい。

評価方法
Quiz = 40 %　　Activity (Pair Work & Group Work) = 10 %　　Review Test (Mid & Final) = 50 %

教科書	参考図書
Breakthrough PLUS 1 2nd Edition Miles Craven著 Macmillan	授業内で紹介

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
授業には辞書必携（電子辞書、辞書アプリOK)

01	Orientation
02	Unit 1 : Introductions (simple present & Yes/No questions)
03	Unit 1 : Introductions : Skills expansion
04	Unit 2 : What a life! (simple present & Wh-questions)
05	Unit 2 : What a life! : Skills expansion
06	Unit 3 : Free time (can/can't for ability)
07	Unit 3 : Free time : Skills expansion
08	Review Unit1-3
09	Unit 4 : Places (there is/are & can/can't for possibility)
10	Unit 4 : Places : Skills expansion
11	Unit 5 : Getting around (asking for & giving directions)
12	Unit 5 : Getting around : Skills expansion
13	Unit 6: Shopping (How much questions)
14	Unit 6: Shopping : Skills expansion
15	Review Unit4-6
16	なし

2020年度シラバス

科目名:英語と英米文化ⅡＢ	担当者:高橋 妙子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:１年時に英語の授業を受講していること		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
授業を２部構成にし、前半はテキストを用いて英米文化を学び、Listening のコツを掴む練習やペアワークなどで会話の練習をします。後半は、欧米のビデオ（映画、海外ドラマなど）を見たり、洋楽を聞いていろいろなActivity にチャレンジします。(AL)(EN)

授業の到達目標
実際に使われている英語に触れ、シチュエーションや文化的背景を理解しながら、「使える英語」を聞き取り、内容を理解し、さらに使いこなす力を身につけていきます。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
授業で学んだ表現や語彙は必ず覚え、課題や復習はしっかりと行うこと。スマートフォンなどで音声をDLして聞くことができるので、通学などの時間を利用して繰り返し聞いて下さい。

評価方法
Quiz = 40 %　　Activity (Pair Work & Group Work) = 10 %　　Review Test (Mid & Final) = 50 %

教科書	参考図書
Breakthrough PLUS 1 2nd Edition Miles Craven著 Macmillan	授業内で紹介

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
授業には辞書必携（電子辞書、辞書アプリOK）。

01	Orientation
02	Unit 7 : What’s happening? (present continuous & affirmative/negative questions)
03	Unit 7 : What’s happening? : Skills expansion
04	Unit 8 : People (be like & look like)
05	Unit 8 : People : Skills expansion
06	Unit 9 : Having fun (present continuous for plans & making invitations)
07	Unit 9 : Having fun : Skills expansion
08	Review
09	Unit 10 : Vacation (simple past affirmative/negative time expressions)
10	Unit 10 : Vacation : Skills expansion
11	Unit 11 : Life stories (simple past questions & Wh-questions)
12	Unit 11 : Life stories : Skills expansion
13	Unit 12: Hopes and intentions (going go for intentions & want to/would like to)
14	Unit 12: Hopes and intentions : Skills expansion
15	Review
16	なし

2020年度シラバス

科目名:英会話ⅡＡ	担当者:Seth William Wallace	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
英会話IIA is an elective course for second year students in the Liberal Arts Department.
The aim of this course is to enable students to provide basic information about themselves in English.
Also, students will learn conversation for survival in environments outside Japan.【ＥＮ】

授業の到達目標
Upon successful completion of this course students can:
1. Communicate in English with confidence, 自信をもって英語で話せるようになります。
2. Understand more spoken English through improved listening skills, 英語の聴解力を高められます。
3. Speak with a strong command of grammatical accur

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
Students need to review the vocabulary learnt in every lesson and practice conversations with their classmates outside class. They need to talk a lot inside and outside the classroom.

評価方法
Classwork/Preparation/Participation (30%), Quizzes/Assignments (30%),Mid-semester Speaking Check (20%), Final Speaking Check (20%)

教科書	参考図書
Nice Talking With You 1 (Cambridge)	Please bring pen or pencil, notebook, textbook and dictionary to each class.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Don’t forget to bring your textbook and all your handouts to each class.
Participate actively in all activities.
Do all assigned homework on time and review what you study in class.
Finally, do your best and have fun using English with your teacher and cl

01	Course introduction, explanation of course goals and expectations.
02	Nice Talking With You 1 Unit 1 part 1: Introduction
03	Nice Talking With You 1 Unit 1 part 2: Introduction
04	Nice Talking With You 1 Unit 2 part 1: Family
05	Nice Talking With You 1 Unit 2 part 2: Family
06	Nice Talking With You 1 Unit 3 part 1: Shopping
07	Nice Talking With You 1 Unit 3 part 2: Shopping
08	Review of Units 1 to 3: Speaking Check 1
09	Nice Talking With You 1 Unit 4 part 1: Food
10	Nice Talking With You 1 Unit 4 part 2: Food
11	Nice Talking With You 1 Unit 5 part 1: Music
12	Nice Talking With You 1 Unit 5 part 2: Music
13	Nice Talking With You 1 Unit 6 part 1: Free Time
14	Nice Talking With You 1 Unit 6 part 2: Free Time
15	Review of Units 1 to 6: Speaking Check 2
16	None

2020年度シラバス

科目名:英会話ⅡＢ	担当者:Seth William Wallace	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
英会話IIB is an elective course for second year students in the Liberal Arts Department.
The aim of this course is to enable students to provide basic information about themselves in English.
Also, students will learn conversation for survival in environments outside Japan.【ＥＮ】

授業の到達目標
Upon successful completion of this course students can:
1. Communicate in English with confidence, 自信をもって英語で話せるようになります。
2. Understand more spoken English through improved listening skills, 英語の聴解力を高められます。
3. Speak with a strong command of grammatical accur

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
Students need to review the vocabulary learnt in every lesson and practice conversations with their classmates outside class. They need to talk a lot inside and outside the classroom.

評価方法
Classwork/Preparation/Participation (30%), Quizzes/Assignments (30%),Mid-semester Speaking Check (20%), Final Speaking Check (20%)

教科書	参考図書
Nice Talking With You 1 (Cambridge)	Please bring pen or pencil, notebook, textbook and dictionary to each class.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Don’t forget to bring your textbook and all your handouts to each class.
Participate actively in all activities.
Do all assigned homework on time and review what you study in class.
Finally, do your best and have fun using English with your teacher and cl

01	Course introduction, explanation of course goals and expectations.
02	Nice Talking With You 1 Unit 7 part 1: Travel
03	Nice Talking With You 1 Unit 7 part 2: Travel
04	Nice Talking With You 1 Unit 8 part 1: Sports
05	Nice Talking With You 1 Unit 8 part 2: Sports
06	Nice Talking With You 1 Unit 9 part 1: Friends
07	Nice Talking With You 1 Unit 9 part 2: Friends
08	Review of Units 7 to 9: Speaking Check 1
09	Nice Talking With You 1 Unit 10 part 1: Work
10	Nice Talking With You 1 Unit 10 part 2: Work
11	Nice Talking With You 1 Unit 11 part 1: Movies
12	Nice Talking With You 1 Unit 11 part 2: Movies
13	Nice Talking With You 1 Unit 12 part 1: Personal Tech
14	Nice Talking With You 1 Unit 12 part 2: Personal Tech
15	Review of Units 7 to 12: Speaking Check 2
16	None

2020年度シラバス

科目名:SNSとコミュニケーション	担当者:高谷 邦彦	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法 情報のデジタル化が進んで急激に変化している社会の「今」を、特にウェブで起きている技術やサービスの変化、そしてSNSの普及とコミュニケーションの変化に注目しながら解説します。
授業の到達目標 ウェブのさまざまなサービスを利用する際に必要となるリテラシー（知識や経験）を身につけることを目標とします。
授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修 講義の中で紹介するインターネットのいろいろなサービスについては、興味があれば自分でも試してみるようにしてください。
評価方法 出席状況（ミニレポートの提出状況）30%、確認テスト70%

教科書	参考図書
なし（必要に応じて参考サイト等を指示します）	授業中に指示します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段) ウェブの最新動向（新しいサービスの登場やネット上の事件など）によって、講義の内容が変わることがあります。

01	オリエンテーション　～ 情報社会とは何か
02	今ウェブで何が起きているのか
03	メディアとは何か　～ 電話というメディア
04	もうテレビはいらない？　～ マス・メディア時代の終わり
05	動画共有サイト（YouTube）が変えたもの
06	ニコニコ動画のコミュニケーション
07	新しい動画視聴のスタイル ～ ニコ生、AbemaTV、ネット動画配信サービス
08	SNSの光と影
09	ツイッターの可能性
10	「インスタ映え」現象を考える
11	初音ミクの正体
12	震災とSNS
13	SNS事件簿 ～ ウェブで身を守るために
14	コミュニケーション・デザインとは何か
15	ウェブのコミュニケーション ～ 確認テストと全体のまとめ
16	

2020年度シラバス

科目名:ウェブデザイン	担当者:岩佐 孝子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法 ウェブページをデザインする際に必要となる、HTMLやCSSのコーディングについて実践的に行い、自らページを制作してその仕組みを学ぶ。
授業の到達目標 普段から日常的に閲覧・利用しているウェブページの仕組みや原理について理解し、HTMLやCSSを用いてウェブページをデザインすることができるようになる。
授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修 昨今のウェブページの傾向や自分がよく利用しているウェブページを、「デザイン」や「構成」、「利用し易さ」という観点から意識して閲覧してみる。
評価方法 授業への参加態度50%　提出課題50%によって総合的に評価する。

教科書 適宜プリント配布	参考図書

その他(学生へのアドバイス、連絡手段) 連絡先は授業で開示する。データ保存用にUSBメモリを用意すること。

01	ウェブサイトのしくみと作成手順
02	コーディングとマークアップ言語
03	HTMLの基礎知識
04	HTMLの実習
05	CSSの基礎知識
06	CSSの実習
07	Webサイトの構築
08	トップページ、サブページの作成、画像表示
09	リンクの設定
10	サイドメニューの作成、表の作成
11	動画の挿入、見栄えとバランス
12	課題ページ作成（１）
13	課題ページ作成（２）
14	課題ページ作成（３）
15	総まとめ
16	なし

2020年度シラバス

科目名:デジタル・デザイン	担当者:高谷 邦彦	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法 デジタル画像の加工・編集に関する基本知識と技術を身につけて、オリジナルのチラシ（映画・ライブ・イベント等）やCDジャケットなどを制作します。
授業の到達目標 デジタルな画像処理の原理と基本知識を身につけます。
授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修 気に入ったデザインのポスターやチラシなどを参考資料として収集しておくと良いでしょう。
評価方法 授業への参加状況（課題に取り組む姿勢）50%、提出課題50%

教科書 必要に応じてプリントを配布	参考図書 授業内で指示します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段) 課題等のデータ保存用にUSBメモリを用意すること（詳細は授業内で指示します）

01	デジタル画像の概要
02	画像編集ソフト（Photoshop）について
03	デジタル画像編集 ～ 範囲選択
04	デジタル画像編集 ～ 写真の修正
05	イラストを描く（１）～ 基本図形の描き方
06	イラストを描く（２）～ パスの描画と編集
07	イラストを描く（３）～ ペンツールで曲線を描く
08	レイアウトの基本（１） ～ 名刺を作ってみよう
09	レイアウトの基本（２）～ スペースの使い方と写真の配置
10	デザイン実習（１）～ 最終課題の構想を練る
11	デザイン実習（２）～ 最終課題の制作
12	デザイン実習（３）～ 最終課題の制作
13	デザイン実習（４）～ 最終課題の制作
14	講評
15	まとめと未完成課題の仕上げ
16	

2020年度シラバス

科目名:フードデザイン	担当者:井寺 麻依	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
あなたの体は健康ですか？美しいですか？私たちの体は何をおいしいと感じ、何を必要としているのでしょうか？
毎回調理実習、その内容に関連した食生活や食文化についての講義を行います。また、いろいろなものを食べ比べながら、自分に合った食生活のスタイルを見つけていきます。お料理が好きな人、これから挑戦していきたい人のために簡単で体が喜ぶレシピを管理栄養士の立場から紹介します。

授業の到達目標
① 食事作りの基本を学び、食事を考え、作り、食べることの楽しさを知る。
② 健康な食生活の基本や栄養に関する知識を理解する。
③ いろいろなものを食べ比べ、正しい選択ができるようになる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
授業内で学んだ調理に関すること、健康に関することを活かして自宅でも積極的に料理をしてみてください。また、食や健康に関する情報に関心をもってください。

評価方法
授業への参加態度60%確認テスト40%（実技あり）

教科書	参考図書
家庭料理技能検定　公式ガイド4級	家庭料理技能検定　各級テキスト

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
持ち物は、エプロン・三角巾・布巾２～３枚、台拭きです。料理未経験でも大丈夫です。料理に興味がある方、健康な体作りに興味がある方は是非受講してください。

01	健康で美しい身体作りのための生活習慣と食生活（調理実習はありません）
02	おいしいごはんを炊く・献立の立て方（おにぎり・手作りふりかけ）【いろいりな米】
03	五感で感じよう！日本のだし（ごはん・味噌汁）【いろいろなだし】
04	切り方①　（ビピンパ等）【野菜が食べやすいのはどっち？ビピンパとちぢみ】
05	切り方②　（ハンバーグ）【鶏ミンチと豚ミンチ】
06	調味料を知ろう　（手作りのめんつゆ・パスタ献立）【いろいろな味噌】
07	もっと大豆を食べよう　（マーボー豆腐献立）【絹豆腐と木綿豆腐】
08	卵はすごい！　（手づくりホットケーキ献立）【いろいろなパンケーキ】
09	健康的に肉を食べる　（鶏むね肉を使った献立）【いろいろな肉】
10	女子力アップ！魚を知ろう　（煮魚とポテトサラダ献立）　【いろいろなイモ】
11	便利な乾物を知ろう　（日本の乾物料理献立）【米粉の団子・白玉粉の団子】
12	食中毒を防ぐ　（寿司献立）【肉の寿司・魚の寿司】
13	旬をつめよう。楽しいお弁当　（旬の食材を使ったお弁当）【食べ比べなし】
14	おたのしみ献立・時間栄養学について（未定）【未定】
15	確認テスト（炊飯器でピラフ・手作りドレッシング）【食べ比べなし】
16	※調理実習の内容は食材調達の都合等で変更の場合があります。（カッコ内実習内容）【カッコ内食べ比べ内容】

2020年度シラバス

科目名:エコライフ実習	担当者:辻 広志	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:「環境の科学」を受講していることが望ましい		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
この実習では、水・大気・土壌などの環境や食品を化学的および生物学的に調査・分析・評価する手法を習得し、「食と環境」への理解を深める。調査の意義と方法について講義した後、グループ単位で実習を行い、実習レポートを作成する。【AL】

授業の到達目標
化学汚染、地球温暖化、酸性雨、大量廃棄物などの地球規模の環境問題は日々深刻化している。身近な生活環境に関する実習を通して、環境問題に関心を持ち、生活を見直すきっかけにしてほしい。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
環境問題や暮らしに関する最新の情報を、新聞、雑誌、テレビ、インターネット等で入手するよう心掛けること。

評価方法
確認テスト40%、平常点60%（実習レポート、授業への取り組み姿勢）で総合評価する。

教科書	参考図書
使用しない	授業中に適宜紹介する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
作業しやすい服装と身だしなみを心がけること。天候や材料の入手状況等により授業計画を変更することがあります。eco検定（環境社会検定試験）の受験を希望する学生は相談に応じます。

01	1　実習ガイダンス 2　キャンパスの五感マップをつくろう 3　ミネラルウォーターの硬度を調べる 4　水道水と生活排水の水質を調べる 5　水道水の残留塩素を調べる 6　身近な酸とアルカリの性質を調べる 7　石鹸と合成洗剤の比較実験 8　漬物の合成着色料を調べる 9　簡易細菌検出キットによる一般細菌の培養 10　細菌コロニーの観察、衛生状態の判定 11　土壌生物による環境診断 12　ムラサキキャベツを使って三色役そばを作る 13　プラスチックの性質と分類 14　環境情報の活用 15　まとめと確認
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

科目名:キャリアデザインⅠ	担当者:茶谷 淳一・高谷 邦彦・辻 広志・綾部 六郎・矢澤 久史・山下 玲香・小出 祥子・福島 裕人	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	通年
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
卒業後、社会で自分を活かしていくために必要な力を養います。各種の講演や講座、社会と接点を持つための研修、そして自分達での調査や報告発表のプレゼンテーションなどを行います。必要な知識や情報の獲得をし、実践方法を体験的に学び、社会人として活躍するための基礎となる力を身につけます。【AL】

授業の到達目標
(1) 社会で必要になる知識やマナー、行動力、思考力、チームワーク力を身につけること
(2) 自分の進路について具体的に考えられるようになること

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
筆記試験対策問題集やオンラインでの小テスト、報告会などでの発表の準備作業、レポート作成など +upインターンシップにおける企業や事業所への訪問

評価方法
平常点45点： 授業参加・取り組み状況、『キャリエファイル』の記入活用状況、筆記試験対策問題集・オンライン学習への取組み、その他提出物レポート点35点： 「+up インターンシップレポート」、「キャリアデザインⅠレポート」発表点20点： 「+up インターンシップ報告会」、「キャリアデザイン報告会」

教科書	参考図書
『キャリエファイル』(現代教養学科作成)	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
この授業の内容はすべて、社会で活躍していくのに必要になることです。毎回の授業に積極的に関与して、内容を吸収していくという姿勢が重要です。また話を聞く、自分で考える、マナーやルールを守ることなどは日常生活でも実践してください。授業内容の変更や、持ち物などは学科掲示板で確認してください。緊急の連絡にはLINEや電子メールを使うので、各自で登録をしておいてください。

01	社会人基礎力について
02	筆記試験対策・新聞の読み方
03	コミュニケーション力①
04	コミュニケーション力②
05	コミュニケーション力③
06	マナー講座
07	+upインターンシップ準備①
08	+up インターンシップ準備②
09	+up インターンシップグループ別作業
10	+up インターンシップ報告会準備（資料の整理）
11	+up インターンシップ報告会資料作成①
12	+up インターンシップ報告会資料作成②
13	+up インターンシップ報告会の準備（発表の演習）
14	+up インターンシップ報告会①
15	+upインターンシップ報告会②
16	模擬テスト（一般常識）
17	進路講演会①
18	メイク講座
19	進路講演会①
20	自己分析・他己分析、就職活動の流れ
21	進路講演会②（内定者報告）
22	業界研究①
23	業界研究②
24	業界研究③（企業の担当者から）
25	履歴書・エントリーシートの書き方
26	面接講座
27	模擬店スト（SPI）
28	キャリアデザイン報告会準備
29	キャリアデザイン報告会準備
30	キャリアデザイン報告会
31	

科目名:教養演習Ⅰ	担当者:茶谷 淳一・高谷 邦彦・辻 広志・綾部 六郎・矢澤 久史・山下 玲香・小出 祥子・福島 裕人	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	通年
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
　1年次に少人数で行われる演習です。大学での学び方や学生生活の過ごし方を考えたり、自分の生き方を含めた進路についても学んだりしていきます。　またこの授業では、他の授業で学んだ知識・スキルを活用しつつ、チームによる問題解決の体験を通じて「読む・聴く・話す・書く・調べる」力を発揮させる仕方も学習します。そのためにゼミの仲間とともに学内外でのさまざまなプロジェクトに取り組みながら、パソコンを使って資料を作成し、その成果を発表します。

授業の到達目標
　この授業では、一人ひとりの学生がゼミというチームの中でどのような役割を果たすべきかを考えながら、プロジェクトの企画や実行、まとめなどを行うことで、社会に出てから働くために本当に必要とされる力（社会人基礎力）を身につけ、円滑に仕事に従事できるようになることが目標です。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
　この授業においては、社会人基礎力の向上がもっとも重要な課題となります。ゼミの仲間とのチーム学習が中心となるので、日頃から連絡や意見交換などの基本的なコミュニケーションの機会を大切にし、ゼミ活動を充実させるように心がけることが重要です。

評価方法
　平常点（5割・出席状況なども含む）や提出レポート（4割・全6本）、共通テキスト『ゼミノート』の記入内容（1割）などから総合的に評価します。

教科書	参考図書
『ゼミノート』および配布資料	担当教員から指示します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
担当教員やゼミのメンバーとしっかりコミュニケーションを取り、充実した学生生活を送れるようにしましょう。

01	本授業の概要説明と自己紹介などの実施
02	大学生活の計画を立てる
03	各種プロジェクトと課題解決学習の概要説明
04	プロジェクト（生と性の講演会）の実施
05	プロジェクト（生と性の講演会）の反省
06	プロジェクト（学科内行事）の準備（１）
07	プロジェクト（学科内行事）の準備（２）
08	プロジェクト（学科内行事）の実施
09	プロジェクト（学科内行事）の反省
10	プロジェクト（生き方シンポジウム）の準備
11	プロジェクト（生き方シンポジウム）の実施
12	プロジェクト（生き方シンポジウム）の反省
13	個人課題の設定と明確化
14	プロジェクト（秋のセミナー）の概要説明
15	プロジェクト（秋のセミナー）の準備（１）
16	プロジェクト（秋のセミナー）の準備（２）
17	プロジェクト（秋のセミナー）の実施
18	プロジェクト（秋のセミナー）の実施
19	プロジェクト（秋のセミナー）の反省
20	プロジェクト（秋のセミナー）報告会（PC利用）
21	個人面談による課題解決学習（１）
22	プロジェクト（全学行事）の準備（１）
23	プロジェクト（全学行事）の準備（２）
24	プロジェクト（全学行事）の実施
25	プロジェクト（全学行事）の反省
26	プロジェクト報告集の作成（PC利用）
27	個人面談による課題解決学習（２）
28	次年度プロジェクトの概要説明
29	進路研究プロジェクトの準備
30	進路研究プロジェクトの実施
31	プロジェクト全体のまとめと発表

科目名:日本語表現A	担当者:小出 祥子・原 美築・浅岡 悦子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
大学生活や、社会生活において、言語によるコミュニケーションは欠かせません。言語表現能力の向上をはかるため、日本語を「話す・聴く・書く・読む」力を培います。具体的には、学内でのインタビュー活動(1回)や、その成果のプレゼンテーション(1回)等を行ないます。活動への取組みを通じて、ディプロマポリシーの3に関連する実践的な日本語表現力を身につけます。提出された課題については、添削を行い返却します。【AL】

授業の到達目標
１．対話の諸形式(1対1、1対複数…)に応じた適切な言葉遣いができるようになる
２．適切にメモを取ったり、あいづちを打ちながら、対話できるようになる
３．文章を書く際に、読み手を意識できるようになる
４．実用書を複数読み、筆者の意見を比較できるようになる

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
・毎週行なわれる漢字小テストの学習をすること(小テストごとに1～2時間程度)
・新聞をスクラップする習慣を身につけ、社会の出来事に対して関心を持つこと(課題ごとに1～2時間程度)
・プレゼンテーションの準備は、授業前までに必ず終わらせること(2時間程度)
・その他、必要に応じて課題が出ることがある

評価方法
授業への参加態度(課題の提出を含む)50%、漢字小テスト30%、確認テスト20%

教科書	参考図書
松浦ほか著『実践日本語表現』(ナカニシヤ出版) 『漢検10日間でできる練習問題』2級または準2級(級は授業の中で指示しますので、授業開始前に購入しないでください)	授業内で適宜指示します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
グループ活動の多い演習形式の授業です。そのため、欠席は他の受講生の迷惑となります。やむを得ず欠席する場合は、事前に受講生同士で連絡を取り合い、お互いに迷惑をかけないように努めましょう。

01	ガイダンス　クラス分け
02	自己紹介、他己紹介をする
03	新聞の構成を知る・スクラップの方法を学ぶ
04	新聞学習・漢字学習・インタビュー活動の計画(1)グループをつくる、敬語を学ぶ
05	新聞学習・漢字学習・インタビュー活動の計画(2)インタビュー先を決定する
06	新聞学習・漢字学習・インタビュー活動の計画(3)質問項目の決定と模擬インタビュー
07	新聞学習・漢字学習・インタビュー活動の実施とまとめ
08	新聞学習・漢字学習・インタビュー活動の振り返り(1)手紙の書き方とお礼状の清書
09	新聞学習・漢字学習・インタビュー活動の振り返り(2)レジュメの作成と発表の練習
10	新聞学習・漢字学習・インタビュー活動の振り返り(3)複数クラス合同発表会
11	新聞学習・漢字学習・本の読み方を知る
12	新聞学習・漢字学習・あらまし読みシートの作成方法
13	新聞学習・漢字学習・あらまし読みシート(1)
14	新聞学習・漢字学習・あらまし読みシート(2)
15	まとめ・確認テスト
16	なし

2020年度シラバス

科目名:日本語表現B	担当者:小出 祥子・原 美築・浅岡 悦子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
主に、論理的な日本語の文章を「読む力」と「書く力」を養成します。具体的には、図書館を利用し、文献検索の方法を学びます。更に、テーマに沿って、複数の文献を比較しながら読む活動を繰り返します。この活動により、ディプロマポリシーの３に関連する「各文献の要点を明確にし、自らも意見を持つ力」を養います。
また、根拠に基づいた論理的な文章の作成方法を学び、就職活動における書類の作成や卒業研究に役立てます。

授業の到達目標
・自ら必要とする情報を文献から探すことができるようになる
・複数の文献を読み、比較検討することができるようになる
・客観的で説得力のある文章を書くことができるようになる
・自らの魅力を分かりやすく文章で表すことができるようになる

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
・毎回の授業で、漢字小テストを行うため、学習を行なうこと(テストごとに1～2時間程度)
・新聞のスクラップを行なうこと(スクラップごとに1時間程度)
・授業内で読みきれない文献については、授業外で読むこと(1時間程度)
・授業内で書ききれない文章については、授業外で作成すること(1時間程度)

評価方法
授業への参加態度(課題の提出を含む)50%、漢字小テスト30%、レポート20%

教科書	参考図書
松浦ほか著『実践日本語表現』(ナカニシヤ出版)、『漢検10日でできる練習問題』2級または準2級	授業中に適宜指示します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
授業中はもちろん、授業外でも多くの文献を読む必要があります。また文章を書く際には、皆さん自身が意見を持ち、文章を作成しなければなりません。そのため、授業に主体的に取り組む姿勢が求められます。

01	漢字学習・新聞学習・ポスター制作の準備
02	漢字学習・新聞学習・ポスター制作の実施
03	漢字学習・新聞学習・ポスターの相互評価
04	漢字学習・新聞学習・文献の検索方法
05	漢字学習・新聞学習・レポートテーマの設定
06	漢字学習・新聞学習・レポートの構成
07	漢字学習・新聞学習・推論とは
08	漢字学習・敬語学習・論述の形式
09	漢字学習・敬語学習・引用の方法
10	漢字学習・敬語学習・話しことばと書きことば
11	漢字学習・敬語学習・論述文の相互添削
12	漢字学習・敬語学習・自己分析をする
13	漢字学習・敬語学習・履歴書、エントリーシートの書き方
14	漢字学習・敬語学習・面接の受け答え
15	漢字総復習・まとめ
16	なし

2020年度シラバス

科目名:コンピューター基礎演習	担当者:南 裕一郎・岩佐 孝子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
コンピューターや各種ソフトウェアについての基礎知識やソフトウェアの活用方法を演習形式で学びます。

授業の到達目標
コンピューターやオフィスソフトの基本操作だけではなく、情報化社会で生きていくために必要となる総合的な情報活用力を身につけることを目標とします。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
ここで学んだ内容は、授業の中だけで終わらせずに、大学生活（サークルや委員会活動）や就職活動など、実際のさまざまな場面で活用してみましょう。

評価方法
授業への参加状況（出席状況や授業態度）50%、課題50%。

教科書	参考図書
必要に応じてプリントを配布	授業内で指示します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
課題等のデータ保存用にUSBメモリを用意すること（詳細は授業内で指示します）

01	オリエンテーション ～ 教室とPCの使い方
02	メールの設定とメール送受信
03	情報探索
04	著作権と肖像権
05	インターネット・セキュリティ
06	ファイルとフォルダ
07	数値分析（１）表計算ソフトの基本
08	数値分析（２）関数
09	数値分析（３）論理式と条件分岐
10	数値分析（４）グラフ化
11	ビジネス文書（１）
12	ビジネス文書（２）
13	プレゼンテーション
14	インターネット・コミュニケーション
15	まとめ
16	

2020年度シラバス

科目名:プレゼンテーション演習	担当者:高谷 邦彦・岩佐 孝子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
この授業では、単にプレゼンテーション・ソフトの操作方法を学ぶのではなく、説得力のあるプレゼンに必要となるメディアやツールの活用方法を学び、複数回の発表を実践します。【ＡＬ】

授業の到達目標
さまざまなプレゼンのスタイルを身につけ、「人前で話をする」という基本的な自己表現能力を高めることを目標とします。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
YouTubeなどの動画共有サイトには、世界中のさまざまなプレゼン映像がアップされていますので、それらを見て参考にしてください。

評価方法
出席状況と受講態度、提出課題、プレゼンの内容等によって総合的に評価します。

教科書	参考図書
必要に応じてプリント等を配布します。	授業内で指示します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
プレゼンは回数をこなすことで上達してゆくものです。この授業で学んだことを、大学生活や就活の際に活用するようにしましょう。

01	プレゼンテーションとは何か
02	効果的なプレゼン方法とメディアの選択
03	コミュニケーション演習
04	PowerPointの操作方法
05	個人プレゼンの準備（ストーリー構成）
06	個人プレゼンの準備（情報収集）
07	個人プレゼンの準備（各種メディアの活用）
08	個人プレゼンの準備（リハーサル）
09	個人プレゼンと講評（１）
10	個人プレゼンと講評（２）
11	グループ発表の準備（１）
12	グループ発表の準備（２）
13	グループ発表の準備（３）
14	グループ発表と講評
15	まとめ
16	

2020年度シラバス

科目名:コミュニケーションの心理	担当者:矢澤 久史	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　本講義では、実際の場面で相手とどのようにコミュニケーションを取ったらよいかを考えていく。
① よりよい人間関係を築いていくことができるコミュニケーション力を身に付けるために、コミュニケーションに関する様々な心理学の知見を具体的な例を挙げながら、わかりやすく解説していく。②２人ペアでコミュニケーションの実習を実施したり（全４回）、関連するＤＶＤを見てグループディスカッションをすることによっても、講義の内容に対する理解を深める。【AL】

【担当者の実務経験】臨床心理士、公認心理師、スクールカウンセラーとして携わった児童生徒や保護者、教員とのカウンセリング経験を踏まえ、実場面での相手とのコミュニケーションの取り方を講義する。

授業の到達目標
①人間関係をうまく形成するためのコミュニケーション（話の聴き方、話し方、質問の仕方）を身につける。
②コミュニケーションについての心理学的な知識（言葉の発達、男女の違い、来談者中心療法など）を深める。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
授業で興味を持った内容について関連図書を読んで、理解を深めること。

評価方法
確認テストの結果（８０％）＋各授業時の小レポート（２０％）

教科書	参考図書
指定なし	授業中に適宜紹介する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
毎回の授業の最後に授業の感想や疑問点などを小レポートにまとめて提出してもらう。

01	コミュニケーションについてどのくらいの知識がある？（事前調査）、愛着の形成
02	話の上手な聴き方を体験しよう（ペアによる実習を含む）
03	どのように質問したら会話が長続きする？（閉ざされたvs. 開かれた質問）（ペア実習を含む）
04	あなたは早口、それともゆっくりとした口調で話す？（ペア実習を含む）
05	コミュニケーションのコツ（Ｉメッセージ、イエスバット話法）
06	相手に対してどのように言葉をかけたら、会話がうまく進むのだろう（やる気の出る言葉かけ）
07	来談者中心療法、カウンセラーによる面談（DVD「来談者中心療法」視聴）
08	無言のコミュニケーション（実習）。コミュニケーションの成立はいつからか？（ヘスの研究）
09	赤ちゃんとお母さんのコミュニケーション（ＤＶＤ・ＮＨＫスペシャル「赤ちゃん」前半視聴）
10	赤ちゃんはどのようにして言葉を獲得していくのだろう（ＤＶＤ「赤ちゃん」後半視聴）
11	赤ちゃんとお父さんのコミュニケーション(ＤＶＤ「お父さんへ・赤ちゃんからのメッセージ」)
12	あなたは楽観的それとも悲観的？（自分の考え方のクセを知ろう）（心理検査実習）
13	楽観主義と悲観主義どちらがいい？
14	イルカセラピーと発達障害（ＤＶＤ「イルカセラピー」視聴）
15	男性と女性の会話の違い（ＤＶＤ・ＮＨＫスペシャル・「男と女」第１集視聴）、確認テスト
16	

2020年度シラバス

科目名:接客の心理	担当者:佐藤 三佳	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
サービスと接遇で満足してもらうための具体的な考え方、それを表現するための振る舞いを実習を通して学びます。お客さまに満足していただくための「サービス」と、その行動の「接遇」について学びます。接遇に必要な所作は実践練習を行い、サービス接遇検定の問題を解きながら考え方を身につけます。検定試験受験を視野に入れ授業を進めます。【AL】

授業の到達目標
① サービス・接遇の仕事の基本を理解し、コミュニケーション技術を身につける。② サービス接遇検定の合格を目指す。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
サービスを受ける、物を買うときのサービス、どんな応対が感じが良くて、どんな応対が感じが悪いのか、を意識しましょう。アルバイト先などの働いている人もよく観察しよう。さらに社会人になった自分の姿をイメージし、サービス接遇検定などの資格試験に挑戦。授業内で検定試験を想定しての確認テストを行います。

評価方法
確認テスト・提出物（60%）、授業に対する意欲的な取り組み・参加態度（40%）を評価し総合的に行う。

教科書	参考図書
サービス接遇検定3級公式テキスト　早稲田教育出版	サービス接遇検定2級実問題集

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
連絡手段：授業内で開示します。

01	授業のオリエンテーション
02	サービス接遇の基本動作実習（DVD視聴）
03	サービススタッフの資質
04	サービススタッフの専門知識
05	専門知識・一般知識
06	対人技能
07	実務技能・言葉遣い
08	授業確認テスト
09	ロールプレイング　入退室の所作・挨拶
10	ロールプレイング　　接客応答
11	ロールプレイング　接客対応
12	ロールプレイング　リハーサル
13	ロールプレイング　確認テスト
14	言葉遣い
15	話し言葉・掲示文作成
16	

2020年度シラバス

科目名:色彩の心理	担当者:大草 知裕	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　色彩は、物の区別やファッションなど日常生活で幅広く活用されている感覚情報であるが、この授業では、担当者の経験を活かして、色彩に関する心理学の実験手法や、生理学的なデータの紹介を含めて授業展開していく。色彩に関して、光の性質、色の三属性、色を感じる目の仕組み、色を表すための表色系などを学習していくとともに、配色カードを使った配色作業を行う。

授業の到達目標
(1) 色彩の知覚に関係する光や視覚についての基礎知識を得ること。
(2) 色相、明度、彩度などに基づいて、色を体系的に理解すること。
(3) イメージなどの心理的効果と色や配色との関係を学ぶこと。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
配色などの課題作業が授業時間内に終わらない場合、期限までの課題になります。

評価方法
授業への取り組み姿勢(40%)、期末試験の得点(40%)、作業などによる作成物(20%)

教科書	参考図書
配色カード（指定された153色以上のカードを含むもの）	色彩心理学入門（中公新書)、色彩検定テキストなど

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　できるだけ正確な色を観察するため配色カードを使います(¥500-700)。
　検定試験にチャレンジする場合は研究室や図書館の過去問題集などを利用してください。

01	ガイダンス
02	光と色
03	色を感じる目の仕組み
04	色の三属性
05	色の名前と表現方法
06	色相環やトーンマップの作成
07	色の表現
08	色の数値化や三次元構造
09	動物の色覚と進化
10	ユニバーサルデザインについて
11	色相にもとづいた配色
12	明度や彩度にもとづいた配色
13	グラデーション、アクセントカラー、セパレーション
14	環境やファッションにおける色彩
15	まとめと確認テスト
16	なし

2020年度シラバス

科目名:現代の文化	担当者:井上 文人	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　哲学とは、〈世界の在り方〉とその中での〈人間の生き方〉を考察する学問です。「現代の文化」は、「時代や社会環境の変化に対して的確に対応」し、「社会と調和しながら、自信を持って自己実現」し続けるために、様々な身近な「現代文化作品」に表現された自己自身の〈人間の生き方の諸問題〉の能動的な学修を通じて、〈自己の生き方〉を主体的に探求することを授業の概要と方法とします。

授業の到達目標
①様々な「現代文化作品」に表現された〈人間の生き方の諸問題〉を系統的に考察します。②自己が愛着する「現代文化作品」に表現された自己自身の〈生き方の諸問題〉の能動的な考察を通じて、自己が希求する〈自己の生き方〉を明らかにします。③〈自分が好きなものの中には自分がある〉ことを体感的に修得します。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
準備学修：本授業で扱われる〈人間の生き方の諸問題と課題〉の継続的で日常的な準備学修：２時間。事後学修：本授業で扱われる〈人間の生き方の諸問題と課題〉の継続的で日常的な事後学修：２時間。

評価方法
成績評価は、①授業への参加態度30％と②期末レポート70％の配分にもとづいて行います。

教科書	参考図書
教科書はありません。毎回資料を配布します。	授業中に指示します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
自分自身の〈人間の生き方の諸問題と課題〉は継続的で日常的な考察が重要です。生き方を自覚化しましょう。連絡先は授業で開示します。

01	授業ガイダンス
02	現代文化と哲学
03	現代日本のヒット曲
04	Mr.Children
05	宇多田ヒカル
06	AKB48・嵐
07	EXILE・SEKAI NO OWARI
08	Kポップ
09	「ニューカマーミュージシャン」
10	ミュージカル
11	お笑い
12	ディズニーランド
13	メイク
14	宮崎アニメ
15	『君の名は。』・まとめ
16	なし

2020年度シラバス

科目名:からだを動かす	担当者:山下 玲香	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
【担当者の実務経験】高等学校教諭
この授業科目では、元高等学校教諭での経験を踏まえ、体育の知見から、人間の体の使い方、あらゆる身体活動について広く講義を行う。また知識を身につけるだけでなく、自分の体をどのように使うのか実践を行い、発表に向けての計画・準備を通し、他者へ伝える発信力を養う。また、この授業はアクティブラーニング形式を取り入れ展開する。（AL）

ヒトが生きていく中で自然と行える動作も、もとをたどれば遊びから学んでいることが多い。また、幼い頃の遊びは、スポーツ活動や健康行動に発展する。講義の前半では、古くから脈々と受け継がれている遊び（伝承遊び）を中心にヒトの身体活動を学ぶ。中盤では社会におけるスポーツを多方面からアプローチし、様々なかかわり方を学ぶ。後半では余暇としての身体活動について広く学ぶ。全体を通して、遊びやスポーツなどの余暇の活動によって人生が豊かになることを知り、自分の身体活動の視野を広げることを目的とする。
この授業を受けることにより、身体活動全般の知識を身につけ物事を考えていくことができる思考力と、課題解決に取り組むことができる行動力、様々な方法により他者に伝えようとするコミュニケーション力が身につく。

授業の到達目標
１）様々な角度から身体活動を捉え理解することができる
２）考えたことを表現したり具現化して実践することができる

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
普段からスポーツや遊び（レジャーを含める）に興味関心を持ち、文献や書物、テレビ、新聞などに目を通すこと

評価方法
授業の参加態度40%　まとめの課題テスト30%　　提出物・ノート30%
授業中の迷惑行為（私語、飲食、化粧、スマホや携帯電話等の使用、遅刻、無断退出等）を行った場合、平常点から減点する。

教科書	参考図書

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
レジメはしっかりファイルに綴ってください
最後にノートチャックがあります

01	「遊び」とは　ホモ・ルーデンス
02	子どもと遊び　伝承遊び（昔遊び）
03	伝承遊びの発展　身体活動としての遊び　発育発達
04	グループワーク①　身近なもので遊ぶ（新聞、文具など）
05	グループワーク②　屋外で遊ぶ（自然遊び、運動系の伝承遊びなど）
06	スポーツの語源　生涯スポーツと競技スポーツ
07	スポーツ産業（観戦　企業スポーツ　協賛　広報など）
08	グループワーク③　マイチームをつくろう
09	グループワーク④　マイチームを紹介しよう
10	余暇　レジャー
11	レクリエーション　ニュースポーツ
12	グループワーク⑤　ニュースポーツの開発
13	グループワーク⑥　発表準備
14	グループワーク⑦　発表
15	まとめのテスト
16	

2020年度シラバス

科目名:自己の探求	担当者:井上 文人	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須. 選択	選択

授業概要と方法
哲学とは、〈世界の在り方〉とその中での〈人間の生き方〉を考察する学問です。「自己の探求」は、「時代や社会環境の変化に対して的確に対応」し、「社会と調和しながら、自信を持って自己実現」し続けるために、「自分自身を深く知り、現代に生きる私達自身が直面している生き方の諸問題を能動的に学修することを通じて、〈自分自身の新たな生き方〉を探求することを授業の概要と方法とします。

授業の到達目標
①〈自分自身〉を根源的に考察します。②〈人間の生き方〉の諸問題を体系的に理解します。③〈自分自身の生き方〉の根本的な考察能力を能動的に学修し、〈新しい自分の生き方〉の端緒を獲得します。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
準備学修：本授業で扱われる〈自己の生き方の諸問題と課題〉の継続的で日常的な準備学修：２時間。事後学修：本授業で扱われる〈自己の生き方の諸問題と課題〉の継続的で日常的な事後学修：２時間。

評価方法
成績評価は、①授業への参加態度30％と②期末レポート70％の配分にもとづいて行います。

教科書	参考図書
教科書はありません。毎回資料を配布します。	授業中に指示します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
〈自己の生き方の諸問題と課題〉は継続的で日常的な考察が重要です。生き方を自覚化しましょう。連絡先は授業で開示します。

01	授業ガイダンス
02	自己分析アンケート
03	「シンデレラ・コンプレックス」と女性の生き方
04	現代を生きる女性達の生き方の問題 現代を生きる女性達の生き方の問題
05	「ピーターパン・シンドローム」と男性の生き方
06	現代を生きる男性達の生き方の問題
07	現代を生きる人間の生き方の課題と哲学
08	『君たちはどう生きるか』
09	「コペル君」と「世界観」
10	『僕を探しに』
11	『ビックオーとの出会い』
12	「自分探し」とは何か？
13	『〈未来〉は〈いま〉にある』他
14	『私の〈仮面〉』他
15	『〈自分創り〉は〈他者創り〉』他・まとめ
16	なし

科目名:みんなのスポーツA	担当者:松尾 浩世	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実技
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
テニス・卓球・球技ほか、さまざまなスポーツを行い基本的なルール・マナーそして競技特性を学ぶ。集団の中での協調性・社会性を身につけ積極的に講義へ参加しコミュニケーション力を向上させる。健康への意識向上、体力向上を図り、生活の質が向上するよう「生涯スポーツ」として役立たせる。
※選択人数次第で種目の変更があります。実技になります。

授業の到達目標
・スポーツの基本的なルール・マナーの習得、基本的なスキルの獲得。
・スポーツを実施することによる、意義（社会性・協調性の向上）
・効果を把握し実感すること・集団の中での協調性を身につけ自分の課題をみつけ積極的に取り組むこと(自主性)。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
体調管理①授業前：十分に運動できるように体調を整えて参加すること（睡眠・疲労回復・食事）
②授業後：疲労回復を十分行うこと
※前期後半は気温が高くなることが予想されます、指導者の暑さ対策に従って下さい。

評価方法
①授業への参加態度：20%　②スポーツへのマナー・ルールの理解、個人技能の向上度：40%②受講姿勢：メンバーとの協力・準備・片付け・積極的に練習やゲームに参加しているか等）40%

教科書	参考図書
なし	授業中に紹介します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
・テニス・卓球は大学でラケットが用意できています。自分の使い慣れたラケットがある場合は使用可.・毎授業時必ずタオル・水分補給を準備すること.・各種目にふさわしい身だしなみ(爪の長さ等）・スポーツウェアで参加・シューズで授業に望むこと．また，遅刻をしないこと．その他，水分補給等については担当者の指示に従うこと

01	オリエンテーション・テニス①：基本技術の習得1　ケットの操作の基本グリップの握り方
02	テニス②：基本技術の習得2ヒッティングポイントを覚えるためのテイクバックの小さいショートラリー
03	テニス③：基本技術の習得3（グランドストローク・ミドルラリー・ボレー）
04	テニス④：ゲーム（ルール・ゲームの進め方・サーブ）
05	テニス⑤：ゲーム（チーム対抗）
06	テニス⑥：ゲーム（チーム対抗）
07	テニス⑦：ゲーム（チーム対抗）
08	テニス⑧：ゲーム（ダブルス）ほか
09	卓球①：基本技術の習得1（打球動作・フォアハンドの打ち方バックハンドの打ち方）
10	卓球②：基本技術の習得2（ドライブ・カット）
11	卓球③：　ゲーム（ルールとゲームの進め方）
12	卓球④：ダブルスゲーム
13	卓球⑤：ダブルスゲーム
14	卓球⑥：ダブルスゲーム
15	卓球⑦：シングルス　ほか
16	なし

2020年度シラバス

科目名:みんなのスポーツA	担当者:永田 恵理	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実技
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　バドミントンとゴルフを行い、基本的なルール・マナーそして競技特性を学ぶ。集団の中での協調性・社会性を身につけ積極的に講義へ参加しコミュニケーション力を向上させる。健康への意識向上、体力向上を図り、生活の質が向上するよう「生涯スポーツ」として役立たせる。
※選択人数次第で内容の変更があります。実技になります。

授業の到達目標
・スポーツの基本的なルール・マナーの習得、基本的なスキルの獲得。
・スポーツを実施することによる、意義（社会性・協調性の向上）
・効果を把握し実感すること・集団の中での協調性を身につけ自分の課題をみつけ積極的に取り組むこと(自主性)。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
体調管理①授業前：十分に運動できるように体調を整えて参加すること（睡眠・疲労回復・食事）
　　②授業後：疲労回復を十分行うこと
　　※前期後半は気温が高くなることが予想されます、指導者の暑さ対策に従って下さい。

評価方法
①授業への参加態度：20%　②スポーツへのマナー・ルールの理解、個人技能の向上度：40%②受講姿勢：メンバーとの協力・準備・片付け・積極的に練習やゲームに参加しているか等）40%

教科書	参考図書
なし	授業中に紹介します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
・バドミントン・ゴルフの用具は大学で用意できています。自分の使い慣れたラケット等がある場合は使用可.・毎授業時必ずタオル・水分補給を準備すること.・各種目にふさわしい身だしなみ(爪の長さ等）・スポーツウェアで参加・シューズで授業に望むこと．また，遅刻をしないこと．その他，水分補給等については担当者の指示に従うこと

01	オリエンテーション・バドミントン①：ラケット、シャトルに慣れる ルールの学習 簡易ゲーム
02	バドミントン②：基本技術 ハイクリアー・シングルスゲーム 1
03	バドミントン③：基本技術 ドロップ・シングルスゲーム 2
04	バドミントン④：基本技術 ヘアピン・シングルスゲーム 3
05	バドミントン⑤：基本技術 スマッシュ・ダブルスゲーム 1
06	バドミントン⑥：基本技術 バックハンド・ダブルスゲーム 2
07	バドミントン⑦：基本技術 プッシュ・ダブルスゲーム 3
08	ゴルフ①：グリップの種類と握り方
09	ゴルフ②：アドレスの基本姿勢
10	ゴルフ③：スイングの習得
11	ゴルフ④：体重移動の意識
12	ゴルフ⑤：打球の強弱、飛距離の意識
13	ゴルフ⑥：打球の方向性の意識
14	ゴルフ⑦：ショートゲーム 1
15	ゴルフ⑧：ショートゲーム 2
16	なし　　注：上の1～15は学生の受講状況や習得レベルによって変更する場合もある

2020年度シラバス

科目名:みんなのスポーツB	担当者:伊藤 理香	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実技
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
身体的および精神的な健康の観点から、運動やスポーツへの関心が高まっています。本講義にて、フィットネス系の運動およびニュースポーツを行います。運動は誰でも気軽に楽しむことができるため、気持ちが明るくなり心とからだを豊かにします。本講義では、運動を楽しむことができ、またグループワークを行うことによりコミュニケーション能力や創造力を高めます。【AL】

授業の到達目標
授業では、からだを動かす楽しさを体得する。また、仲間と一緒に運動をすることによりコミュニケーション能力を高めることを目標とします。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
現代社会における健康と疾病状況を事前学修してください。
運動を行うことで心とからだに与える影響について事前学修してください。
15時間

評価方法
授業への参加態度(積極的な実技への取り組み内容)50% 、グループワークへの取り組み25% 、授業内でのミニレポート25% とします。

教科書	参考図書
なし	なし

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
随時対応します。

01	運動と健康（社会的な背景、運動による効果、）
02	フィットネス系：ヨガ、ピラティス、エアロビクス ①（有酸素運動がからだに与える影響）
03	フィットネス系：ヨガ、ピラティス、エアロビクス ②（呼吸が心とからだに与える影響）
04	フィットネス系：ヨガ、ピラティス、エアロビクス ③（柔軟性と筋力がからだに与える影響）
05	ニュースポーツ：ラージ卓球 ①（基本的動作）
06	ニュースポーツ：ラージ卓球 ②（ラリーの実践）
07	ニュースポーツ：ラージ卓球 ③（グループラリーの実践）
08	ニュースポーツ：卓球バレー ①（視覚的ラリーの実践）
09	ニュースポーツ：卓球バレー ②（聴覚的ラリーの実践）
10	ニュースポーツ：スポーツ鬼ごっこ ①（ゲームの実践）
11	ニュースポーツ：スポーツ鬼ごっこ ②（ペアーゲームの実
12	ニュースポーツ：タスポニー ①（ルールの確認、基本的動作）
13	ニュースポーツ：タスポニー ②（ラリーの実践）
14	ニュースポーツ：フリーテニス ①（ルールの確認、基本的動作）
15	ニュースポーツ：フリーテニス ②（実践）
16	なし

2020年度シラバス

科目名:ボランティア論	担当者:小木曽 早苗	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　ボランティア活動に関する、基礎的な教養と実践に必要な知識などを学んでいきます。身近な生活の中に蔓延している課題について、ボランティア活動を通じてどのように解決できるのか考えていきましょう。ボランティアの社会的な役割や可能性についても掘り下げて考えましょう。その他に、自分だったらどのような活動に取り組みたいのか、その取り組みを行うことで何を改善できるのか柔軟に考え、発信します。【ＡＬ】
【担当者の実務経験】NPO職員
　担当者は、NPO専従事務局職員の経験を活かし相談業務等で得られた知見である、ボランティア、地域福祉、NPO制度と法人格などを踏まえた内容と関係を持たせた授業を行う。

授業の到達目標
　受講学生が、意欲を持ち社会や地域を良くするためにボランティア活動に参加し、活躍できることを最終目標とします。そのために必要なボランティア活動の基礎的な制度の理解、ボランティア活動を支える制度の活用などを学びます。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
　ボランティア活動に関する情報は、新聞記事・文献・テレビ・インターネットなどを通じて得ることができます。常にアンテナを張り巡らし、様々なボランティア活動に興味関心を持ってください。

評価方法
定期試験90％　授業の参加態度10％

教科書	参考図書
レジメ配布	適宜紹介します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
授業中だけでなく、普段の生活の中でボランティア活動に対する意識を持ってください。

01	授業ガイダンス（シラバスの説明）　ボランティア活動とは何か
02	市民が地域や社会を変えていく可能性とは何か
03	海外でのボランティア活動の位置付けと国内のボランティア活動の位置付け
04	学生が活躍するボランティア活動
05	制度から考えるボランティア活動
06	まちづくりに関わり深いボランティア活動
07	企業と行政に関わり深いボランティア活動
08	農山村で活躍するボランティア活動
09	身近な福祉の担い手としてのボランティア活動
10	障がいの理解と適切なボランティアによる支え合い
11	地域福祉とコミュニティに関わり深いボランティア活動
12	NPOという法人格の特徴を学ぶ
13	NPOとの関わりの中で行うボランティア活動
14	取り組みたいボランティア活動で何を改善したいのか【報告会】
15	授業全体のまとめ
16	なし

2020年度シラバス

科目名:人間と健康	担当者:山下 玲香	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
【担当者の実務経験】高等学校教諭
この授業科目では、元高等学校教諭での経験を踏まえ、保健の知見から、女性の健康問題やスポーツ活動などに関する講義を行う。
女性として強く、たくましく、しなやかに生きるために、自分のカラダの不思議や過去・未来の自分の健康を見つめることや、社会で生活するための知識として、現代社会の健康問題や障がいを持つ人への理解を深める。
この授業を受けることにより、公衆衛生学や学校保健学などの分野の知識を身につけ物事を考えていくことができる思考力と、課題解決に取り組むことができる行動力、様々な方法により他者に伝えようとするコミュニケーション力が身につく。
また、この授業はアクティブラーニング形式を取り入れ展開をしていく。（AL）

授業の到達目標
1）現代病や女性特有の病気について理解を深める。2）自分の健康や運動について興味関心を持ち、生涯の健康と運動の見通しを立てる。3）健康や運動について興味関心を持ち、様々な視点から考える力を身につける。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
1）授業で出された課題についてしっかり取り組むこと。2）興味関心のあるテーマについて、書籍やインターネットなどで調べること。

評価方法
1）確認テスト50%、平常点50%（出席状況、課題、授業への取り組み姿勢）の100点満点で評価する。2）授業中の迷惑行為（私語、飲食、化粧、スマホや携帯電話等の使用、遅刻、無断退出等）を行った場合、平常点から減点する。

教科書	参考図書

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
1）授業には前向きな姿勢で臨んでください。課題やディスカッション、グループワークなど、積極的に取り組んでくれることを期待しています。2）授業中に配布した資料、ノート、メモなどは全て1つのファイルに綴るようにしてください。

01	オリエンテーション、自分のからだとむきあう
02	女性のからだと健康①　：発育発達、加齢
03	女性のからだと健康②　：疾病
04	女性のからだと健康③　：妊娠・出産
05	女性と運動①　：体育、生涯スポーツ
06	グループワーク①　：生理中の運動について考えよう
07	女性と運動②　：競技スポーツ
08	女性と運動③　：障害者スポーツ
09	情報リテラシー①　：情報の収集方法
10	情報リテラシー②　：マインドマップの活用
11	グループワーク②　：女性の健康と社会　グループで問題を探ろう
12	グループワーク③　：女性の検討と社会　グループでまとめよう
13	社会の中の自分　：将来の自分をえがいてみよう
14	ディスカッション　：「電車にベビーカー」どう思う？
15	まとめと確認テスト
16	

2020年度シラバス

科目名:障がい者の理解と支援	担当者:福島 裕人	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実習
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　この授業では、強い不安を感じた時に自傷や異食など生活環境への著しい不適応行動を示し日常生活が困難な「強度行動障害」に対応するため、障がいについて理解し支援方法を学びます。
　この授業では、障がいを理解するグループワークを中心とした授業と支援方法を体験し修得する施設実習を行います。【AL】
【担当者の実務経験】臨床心理士・公認心理師としてこれまで医療機関（精神科・心療内科）や学校現場等において心理臨床業務に従事してきました。事前指導と事後指導及びレポート作成時にアドバイスします。

授業の到達目標
福祉の現場で働く、将来の介護や介助に役立つ知識と技術を学びます。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
強度行動障害に関する基礎的な知識や理解を事前に行うとスムーズに授業に入れます。

評価方法
○取り組み姿勢　40%
○実習先評価　40%
○事後レポート　20%

教科書	参考図書
行動障害のある人の「暮らし」を支える（特定非営利活動法人全国地域生活支援ネットワーク監修）中央法規出版（予定）	適宜指示します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
きちんと連絡が取れるようにしてください

01	○授業説明会（欠席者は受講できません） ○受講者選抜（実習先は小規模なので大人数の受け入れは不可） ○事前指導（1.5h）（学内） ○施設実習（7.5h）（施設実習は学外） ○講義（12h）※（講義会場は学外） ○事後指導（1.5h）（学内） 諸注意 ※学外の講義、施設実習などがあるため、施設実習の日時と学外講義の開催場所や日時に関する説明を聞き逃さないこと ※受講人数に限りがある為、受講選抜を行う場合があります ※連絡がきちんと取れるようにしてください
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

2020年度シラバス

科目名:ＮＰＯインターンシップＡ	担当者:綾部 六郎	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　科目の特徴として、夏期休暇にNPOを含む非営利組織の現場で5日間の研修を行います。多くのNPOを含む非営利組織は、地域や社会を改善するために多岐に渡る分野で活動をしています。実際にNPOを含む非営利組織の現場で研修を受けることで、何が社会や地域の問題であるのか理解し解決方法を周囲の人々と一緒に考える力を養います。【AL】
【担当者の実務経験】NPO職員
　担当者はNPO専従事務局職員の経験から、相談業務等で得られた知見を取り入れ事前学習と事後学習を行う。その他、レポート作成時においても同様にアドバイスを行う。

授業の到達目標
　インターシップを通じ、市民の取り組みと社会的な役割を理解します。得られた体験は、将来の地域活動やキャリア形成に役立つことを目標としております。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
○事前学習：NPOに関する情報収集と学習、事前学習レポートの提出（1000字程度）、各書類提出
○事後学習：研修日誌の提出、事後レポートの提出（1000字程度）
○提出物は期限厳守

評価方法
　事前事後レポート、研修の取り組み姿勢、研修先の評価を踏まえて総合的に評価をします。（研修日誌やレポート50％・研修先評価30％・取り組み姿勢20％）

教科書	参考図書
なし	適宜紹介

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　研修は学外で行うため、安全確保と体調管理に特に注意しましょう。また、時間厳守は社会における基本的なマナーです。真面目に取り組むことで成長につながりますので、研修期間中は積極的な姿勢で取り組んでください。

01	①NPOインターンシップＡの説明会 １．NPOを含む非営利組織の理解を深める ２．活動内容を理解する ３．研修先と研修内容とスケジュールの確認と調整 ②選別　希望者が多い場合は選別を行うことがある ③事前指導　事前レポート等の提出物は、締め切り厳守 ④実施期間　夏期（5日間） ⑤研修内容　受け入れ先の指示に従う ⑥事後指導　研修日誌の確認と提出、事後レポート等の提出物は、締め切り厳守 諸注意 ※実習先は受講学生の興味関心、問題意識、受け入れ先への移動時間等を踏まえて事前指導内で決定 ※NPOインターンシップＢと異なる実習先とします ※掲示等の連絡に従うこと
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

2020年度シラバス

科目名:ＮＰＯインターンシップＢ	担当者:矢澤 久史	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　科目の特徴として、春期休暇にNPOを含む非営利組織の現場で5日間の研修を行います。多くのNPOを含む非営利組織は、地域や社会を改善するために多岐に渡る分野で活動をしています。実際にNPOを含む非営利組織の現場で研修を受けることで、何が社会や地域の問題であるのか理解し解決方法を周囲の人々と一緒に考える力を養います。【AL】
【担当者の実務経験】NPO職員
　担当者はNPO専従事務局職員の経験から、相談業務等で得られた知見を取り入れ事前学習と事後学習を行う。その他、レポート作成時においても同様にアドバイスを行う。

授業の到達目標
　インターシップを通じ、市民の取り組みと社会的な役割を理解します。得られた体験は、将来の地域活動やキャリア形成に役立つことを目標としております。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
○事前学習：NPOに関する情報収集と学習、事前学習レポートの提出（1000字程度）、各書類提出
○事後学習：研修日誌の提出、事後レポートの提出（1000字程度）
○提出物は期限厳守

評価方法
事前事後レポート、研修の取り組み姿勢、研修先の評価を踏まえて総合的に評価をします。
（研修日誌やレポート50％・研修先評価30％・取り組み姿勢20％）

教科書	参考図書
なし	適宜紹介

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　研修は学外で行うため、安全確保と体調管理に特に注意しましょう。また、時間厳守は社会における基本的なマナーです。真面目に取り組むことで成長につながりますので、研修期間中は積極的な姿勢で取り組んでください。

01	①NPOインターシップＢの説明会 １．NPOを含む非営利組織の理解を深める ２．活動内容を理解する ３．研修先と研修内容とスケジュールの確認と調整 ②選別　希望者が多い場合は選別を行うことがある ③事前指導　事前レポート等の提出物は、締め切り厳守 ④実施期間　春期休暇（5日間） ⑤研修内容　受け入れ先の指示に従う ⑥事後指導　研修日誌の確認と提出、事後レポート等の提出物は、締め切り厳守 諸注意 ※実習先は受講学生の興味関心、問題意識、受け入れ先への移動時間等を踏まえて事前指導内で決定 ※NPOインターンシップＡと異なる実習先とします ※掲示等の連絡に従うこと
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

2020年度シラバス

科目名:カウンセリング入門	担当者:福島 裕人	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須. 選択	選択

授業概要と方法
①「自分の心」について積極的な関心を持って理解を深め，「他者の心」に真摯で温かな眼差しを向けるカウンセリングの理論や技法について基本的な知識を学ぶだけでなく，援助者としての基本姿勢について学びます。これは、現代教養学科のディプロマポリシー「1.幅広い分野にわたる知識を身につけ、より広い視野に立って、物事を考えていくことができる思考力」，「３.他者の意見を理解する力と自分の意見を相手に伝える力を身につけ、それらに基づいてよりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力」の習得と深い関連性があります。
カウンセリングの理論や技法について事例を読んだりロールプレイをしながら、より実践的に修得することで，将来さまざまな場面で活用できることを目指します。
②授業の方法は、毎回扱うトピックとそれに関連した体験学習（個人またはペア・ワーク）という構成で進めます。
③毎回、授業への出席票を兼ねたふり返りレポートの作成をお願いし，次回の授業時にフィードバックします。【ＡＬ】

【担当者の実務経験】臨床心理士・公認心理師としてこれまで医療機関（精神科・心療内科）や学校現場等において心理臨床業務に従事してきました。

授業の到達目標
①基礎的なカウンセリング（傾聴）の知識と技法を学び，理解することができます。
②代表的なカウンセリング（心理療法）の知識と技法を学び，理解することができます。
③ペアワーク等の体験を通して課題に取り組むことで，実践的な理解やスキルを身につけ，自己理解や他者理解を深めます。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
①授業の中で関心を持ったテーマについて，関連書籍などを読み，理解を深めてください。
②授業で得た学びを積極的に日々の生活に取り入れ，自分磨きに努めましょう。

評価方法
授業への参加態度25%，ふり返りレポート45%，確認テスト３０%

教科書	参考図書 授業の中で適宜紹介します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
連絡先は授業時にお知らせします。
☆ペアワーク等の体験を多く取り入れますので積極的に取り組んでください。

01	ガイダンス
02	カウンセリングって？（カウンセリングの目的や定義）
03	カウンセリングを学ぶことが何に役立つの？
04	傾聴の基礎①：第1ステップ（非言語的なコミュニケーション）
05	傾聴の基礎②：第2ステップ前半（反射 / リフレクション）
06	傾聴の基礎③：第2ステップ後半（共感的な伝え返し）
07	傾聴の基礎④：第3ステップ（共感的な伝え返しを用いた少し長めのカウンセリング）
08	短期療法（解決志向アプローチ）
09	認知行動療法（考え方のクセを知る）
10	夢分析入門
11	芸術療法入門①　～描画療法～
12	芸術療法入門②　～コラージュ療法～
13	身体へのアプローチ（タッピング・タッチ）
14	ストレス・コーピング（マインドフルネス）
15	まとめと確認テスト
16	なし

2020年度シラバス

科目名:医療実務	担当者:塚本 佳子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	通年
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	4
		必須.選択	選択

授業概要と方法
医療実務に関連する法規、医療機関のしくみ、医療費のしくみ、医療用語、患者接遇など、医療機関の事務職員として必要な知識を学びます。さらに、ホスピタルコンシェルジュ、調剤事務管理士などの検定合格をめざします。また、授業で理解した内容を業務に活かせるよう、PBL（問題解決学習）を取り入れます。【AL】

授業の到達目標
　医療事務に関連する法規、医療機関のしくみ、医療費のしくみ、医療用語、患者接遇の方法などを理解するとともに、医療機関窓口等での基本業務について、得た知識を応用し、考えることができるようになる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
・授業のみの学習では知識の定着が難しいため、必ず復習として自宅学習をすること。・各回の授業で出された課題を積極的に取り組み、理解しづらい点は付箋などをつけ必ず次の授業にて質問すること。

評価方法
定期試験60%、課題提出40%

教科書	参考図書
調剤薬局事務テキスト１（医療保障制度）調剤薬局事務テキスト2（算定とレセプト）調剤薬局事務テキスト3（トレーニングブック）医療関連用語・略語集　（全て、ソラスト）	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)

01	オリエンテーション／医療の歴史
02	医事業務１（窓口業務、言葉づかい）
03	医事業務２（電話応対、クレーム対応）
04	医療供給体制１（病院組織と医療従事者）
05	医療供給体制２（医療と安全、病院会計）
06	医療保障制度の基本用語
07	医療保険制度のあらまし１（各制度と基本用語）
08	医療保険制度のあらまし２（高額療養費）
09	保険診療と医療費
10	公費負担医療制度と保険者番号
11	その他の医療保障制度（労災、自賠責など）
12	介護保険制度
13	医療情報文書の種類と取扱い
14	医療用語１（解剖）
15	医療用語２（生理学・生化学）
16	医療用語３（疾病・症状）
17	医療用語４（検査・処置）
18	医療事務職員の基本業務を考える（ＰＢＬ）
19	医事業務におけるﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄを考える（ＰＢＬ）
20	薬と薬効
21	調剤基本料のしくみと算定方法
22	調剤基本料算定の実際
23	薬剤料等のしくみと算定方法
24	薬剤料等算定の実際
25	調剤料のしくみと算定方法
26	調剤料算定の実際
27	薬学管理料のしくみと算定方法
28	薬学管理料算定の実際
29	調剤レセプトの書き方
30	調剤レセプト作成演習
31	定期試験

科目名:病院インターンシップＳ	担当者:茶谷 淳一・高谷 邦彦・辻 広志・綾部 六郎・矢澤 久史・山下 玲香・小出 祥子・福島 裕人	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実習
免許･資格:		開講時期	前期･後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　大学の提携した病院や医療機関にて、実際の事務や受付などの仕事を研修生として体験する。また、それに関して必要となる事前の準備や、研修終了後の振り返りを行う。実習先での研修だけでなく、事前の説明会やガイダンスなどへの出席、事前訪問も授業に含まれる。「病院インターンシップS」は1週間程度の研修を対象とする。なお希望人数が多い場合には大学による選考が行われる。【AL】

授業の到達目標
　病院や医療機関での仕事のイメージを体得するとともに、病院や医療機関などで働くのに必要となる技能、知識、心構えなどを理解して、その後の学習に取り入れていく。また、学外での実社会の方との関わりの中で、社会人として必要になるコミュニケーション力や情況把握力、責任感などを養う。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
　説明会は他のインターンシップと合同で開催される場合もあり、昼休みなどに実施されるので、掲示版の案内を見て確認すること。履歴書などの書類の提出や、場合によっては事前訪問なども必要になる。
　実習中は現場の職員や医療従事者の方と同じく責任感および緊張感のある行動が求められる。そのために礼儀作法や身だしなみ、一般常識、コミュニケーション能力などについて、普段から(日常的に)意識を高めておく必要がある。

評価方法
　研修日誌と研修レポートをもとにした研修内容と研修成果（60%)、実習先の評価と事前事後の指導をもとにした研修態度（40%)、という割合で評価する。

教科書	参考図書
ガイダンスや事前指導で適宜指示する。	『就職ガイドブック』など

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
通常の授業科目とは、履修登録の時期や方法が異なるので、注意する。
学生課が窓口となり、緊急な連絡などもあるので、メールなどで迅速な連絡ができるようにしておくこと。

01	事前指導、研修、事後指導から構成される。 事前指導：（7時間） (1) 研修先や研修概要に関する説明会 (2) 希望人数によっては選考 (3) 研修先ごとのガイダンス (4) 研修先の事前訪問 研修：（50時間） ・前期は夏季休業、後期は春季休業中に各自の研修実施先にて研修を行う。 ・研修内容は、実習先によって異なる。基本的に研修者のために用意されたプログラムに従って研修を行い、 実施先での担当者による指導を受ける。 事後指導：（3時間） (1) 研修日誌
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

科目名:病院インターンシップＬ	担当者:茶谷 淳一・高谷 邦彦・辻 広志・綾部 六郎・矢澤 久史・山下 玲香・小出 祥子・福島 裕人	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実習
免許･資格:		開講時期	前期･後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　大学の提携した病院や医療機関にて、実際の事務や受付などの仕事を研修生として体験する。また、それに関して必要となる事前の準備や、研修終了後の振り返りを行う。実習先での研修だけでなく、事前の説明会やガイダンスなどへの出席、事前訪問も授業に含まれる。「病院インターンシップL」は2週間程度の研修を対象とする。なお希望人数が多い場合には大学による選考が行われる。【AL】

授業の到達目標
　病院や医療機関での仕事のイメージを体得するとともに、病院や医療機関などで働くのに必要となる技能、知識、心構えなどを理解して、その後の学習に取り入れていく。また、学外での実社会の方との関わりの中で、社会人として必要になるコミュニケーション力や情況把握力、責任感などを養う。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
　説明会は他のインターンシップと合同で開催される場合もあり、昼休みなどに実施されるので、掲示版の案内を見て確認すること。履歴書などの書類の提出や、場合によっては事前訪問なども必要になる。
　実習中は現場の職員や医療従事者の方と同じく責任感および緊張感のある行動が必要になる。そのために礼儀作法や身だしなみ、一般常識、コミュニケーション能力などについて、普段から(日常的に)意識を高めておく必要がある。

評価方法
　研修日誌と研修レポートをもとにした研修内容と研修成果（60%)、実習先の評価と事前事後の指導をもとにした研修態度（40%)、という割合で評価する。

教科書 ガイダンスなどで適宜指示する。	参考図書 『就職ガイドブック』など

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
通常の授業科目とは、履修登録の時期や方法が異なるので、注意する。
学生課が窓口となり、緊急な連絡などもあるので、メールなどで迅速な連絡ができるようにしておくこと。

01	事前指導、研修、事後指導から構成される。 事前指導：（7時間） (1) 研修先や研修概要に関する説明会 (2) 希望人数によっては選考 (3) 研修先ごとのガイダンス (4) 研修先の事前訪問 研修：（50時間） ・前期は夏季休業、後期は春季休業中に各自の研修実施先にて研修を行う。 ・研修内容は、実習先によって異なる。基本的に研修者のために用意されたプログラムに従って研修を行い、 実施先での担当者による指導を受ける。 事後指導：（3時間） (1) 研修日誌
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

2020年度シラバス

科目名:社会と経済	担当者:茶谷 淳一	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
私たちの暮らしがいまどのような状況にあるのか、これからどのように変わろうとしているのかを考える手がかりとして、現代日本の経済が直面し国民生活に大きく影響している諸課題について説明する。授業は基本的に講義形式ですが、調べたり、考えたり、意見をまとめ、発表していただく機会もあります。AL

授業の到達目標
①社会や経済のあり方に関心を持ち、新聞や日々のニュースに、自ら触れようとするようになる。②現代日本の経済社会に関する基礎的な知識を身につけ、現代経済に関連することがらについて、自分なりに考えることができる。③ニュースなどを鵜呑みするのではなく、批判的に考えることができるようになる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
①新聞やテレビのニュース、ドキュメンタリーを積極的に見ましょう。そして今、何が起こっているのかを敏感に悟ることができるようになりましょう。②宿題として確認テストがあります。必ず自分で解答しましょう。

評価方法
レポートやワークなど授業への参加度20%、期末の確認テスト80%

教科書	参考図書
なし。授業で配布するレジュメをもとに授業を進めます。	適宜、紹介します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
重要なニュースの説明などのため、授業が予定通りに進まないことがあります。レジュメの余白にメモを取ること。質問は木曜昼休みに研究室へ。途中退出・遅刻・私語など受講マナーを守れない場合は受講を取り消します。

01	授業の目的と方法　経済学が社会を考える手掛かりを与えてくれます
02	お金の話①お金って何　（ビデオ　マネーワールド）
03	お金の話②お金の価値が変わると暮らしも変わる
04	お金の話③アベノミクスと暮らし（1）
05	お金の話③アベノミクスと暮らし（2）
06	お金の話④暗号（デジタル）通貨は現金にとって代わることができるか
07	「働く」の話①人間はロボットに勝てるか　（ビデオ　マネーワールド）
08	「働く」の話②AIで暮らしが変わる、社会が変わる
09	「働く」の話③女性のワーキングプア（ビデオ　女性たちの貧困）
10	「働く」の話④広がる経済格差　　（ビデオ　みんなの資本論）
11	「働く」の話⑤社会保障とベーシックインカム
12	「結婚・出産・育児」の話①結婚を考える
13	「結婚・出産・育児」の話②出産・育児を考える（1）
14	「結婚・出産・育児」の話③出産・育児を考える（2）
15	授業のまとめと期末の確認テスト
16	なし

2020年度シラバス

科目名:現代の経営	担当者:清水 真	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　この科目では、日常生活とのかかわりを含め、ビジネスの視点から据えた個人の行動や市場・会社の仕組みを理解することを基本とする。理解を深めるため、問題解決学修を取り入れる。

授業の到達目標
　社会人として社会の諸問題を判断し、解決するための、社会のしくみに関する基礎的知識・素養をみにつけることができる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
　事後学修として、自宅で会社の仕組みについて理解を深める。

評価方法
　授業への参加態度40%、試験60%による総合評価

教科書	参考図書
プリントを適宜配布する。	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
shimizu@isc.chubu.ac.jp

01	経済の基礎
02	ビジネスの発展
03	流通の意義と役割
04	売買業者のビジネス
05	流通活動とマーケティング
06	企業の形態と経営組織(1)
07	企業の形態と経営組織(2)
08	経営戦略（１）戦略パターン・経営資源の配分法
09	経営戦略（２）M&Aの実態と経営手法
10	企業の資金調達
11	サービス業のビジネス
12	金融機関のビジネス
13	企業活動と税
14	人事・労務の仕組み
15	確認テスト
16	

2020年度シラバス

科目名:マーケティング	担当者:清水 真	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法 身近に存在する商品が、どのように開発、価格設定、販売促進され、消費者の手元に届くかを学ぶのが本授業の概要である。基本的に講義形式で授業を進めるが、理解を深めるため、グループディスカッションも実施する。【AL】
授業の到達目標 マーケティングとは如何なるものかを理解し、今日における社会環境の課題を発見するとともに、それを解決する能力を身につけることができる。
授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修 事後に、ショッピングに出かけ、授業に学んだことを念頭に、商品価格の比較、販売員の態度、広告などを調べる。グループディスカッションの準備学修としてケースを熟読し、課題をまとめる。
評価方法 授業への参加度50%、テスト50%による総合評価

教科書 適宜プリントを配布	参考図書 マーケティングと消費者 (慶應義塾出版会)

その他(学生へのアドバイス、連絡手段) shimizu@isc.chubu.ac.jp

01	マーケティングとは何か
02	マーケティングの誕生
03	マーケティング環境としての消費
04	サービス・マーケティング
05	ブランドの構築と消費者との関係性
06	製品計画(1)新製品開発と戦略
07	製品計画(2)製品ミックス, 製品属性
08	価格決定(1)価格の持つ意味
09	価格決定(2)価格の種類と価格の決定方式
10	プロモーション(1)コミュニケーション
11	プロモーション(2)AIDMA, 人的販売
12	プロモーション(3)販売促進, 広告・宣伝・パブリシティ
13	流通チャネル(1)流通チャネルの構築基準と機能, 流通系列化
14	流通チャネル(2)流通系列化をめぐる変化とSCM
15	確認テスト
16	

科目名:企業インターンシップS	担当者:茶谷 淳一・高谷 邦彦・辻 広志・綾部 六郎・矢澤 久史・山下 玲香・小出 祥子・福島 裕人	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実習
免許・資格:		開講時期	前期・後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　大学が協定を結んでいる学外の企業や事業所にて、実際の事務などの仕事を研修生として体験する。研修先での研修だけでなく、事前の説明会やガイダンスなどへの出席、事前訪問、および研修終了後の振り返りも単位取得の要件である。希望人数が多い場合には大学による選考が行われる。なお、「企業インターンシップS」は1週間程度の研修を対象とする。【AL】

授業の到達目標
　企業や事業所、店舗などでの仕事のイメージを体得するとともに、実際の職場で働くのに必要となる技能、知識、心構えなどを理解して、その後の学習に取り入れていく。また、学外での実社会の方との関わりの中で、社会人として必要になるコミュニケーション力や情況把握力、責任感などを養う。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
　説明会は他のインターンシップと合同で開催される場合もあり、昼休みなどに実施されるので、掲示版の案内を見て確認すること。履歴書などの書類の提出や、場合によっては事前訪問なども必要になる。
　実習中は現場の職員の方と同様の責任感および緊張感のある行動が求められる。そのために礼儀作法や身だしなみ、一般常識、コミュニケーション能力などについて、普段から(日常的に)意識を高めておく必要がある。

評価方法
　研修日誌と研修レポートをもとにした研修内容と研修成果（60%)、実習先の評価と事前事後の指導をもとにした研修態度（40%)、という割合で評価する。

教科書	参考図書
ガイダンスなどで適宜指示する。	『就職ガイドブック』など

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
通常の授業科目とは、履修登録の時期や方法が異なるので、注意する。
学生課が窓口となり、緊急な連絡などもあるので、メールなどで迅速な連絡ができるようにしておくこと。

01	事前指導、研修、事後指導から構成される。 事前指導：（7時間） (1) 研修先や研修概要に関する説明会 (2) 希望人数によっては選考 (3) 研修先ごとのガイダンス (4) 研修先の事前訪問 研修：（50時間） ・前期は夏季休業、後期は春季休業中に各自の研修実施先にて研修を行う。 ・研修内容は、実習先によって異なる。基本的に研修者のために用意されたプログラムに従って研修を行い、 実施先での担当者による指導を受ける。 事後指導：（3時間） (1) 研修日誌
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

科目名:企業インターンシップL	担当者:茶谷 淳一・高谷 邦彦・辻 広志・綾部 六郎・矢澤 久史・山下 玲香・小出 祥子・福島 裕人	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実習
免許・資格:		開講時期	前期・後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　大学が協定を結んでいる学外の企業や事業所にて、実際の事務などの仕事を研修生として体験する。研修先での研修だけでなく、事前の説明会やガイダンスなどへの出席、事前訪問、および研修終了後の振り返りも単位取得の要件である。希望人数が多い場合には大学による選考が行われる。なお、「企業インターンシップL」は2週間程度の研修を対象とする。【AL】

授業の到達目標
　企業や事業所、店舗などでの仕事のイメージを体得するとともに、実際の職場で働くのに必要となる技能、知識、心構えなどを理解して、その後の学習に取り入れていく。また、学外での実社会の方との関わりの中で、社会人として必要になるコミュニケーション力や情況把握力、責任感などを養う。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
　説明会は他のインターンシップと合同で開催される場合もあり、昼休みなどに実施されるので、掲示版の案内を見て確認すること。履歴書などの書類の提出や、場合によっては事前訪問なども必要になる。
　実習中は現場の職員の方と同様の責任感および緊張感のある行動が求められる。そのために礼儀作法や身だしなみ、一般常識、コミュニケーション能力などについて、普段から(日常的に)意識を高めておく必要がある。

評価方法
　研修日誌と研修レポートをもとにした研修内容と研修成果（60%)、実習先の評価と事前事後の指導をもとにした研修態度（40%)、という割合で評価する。

教科書	参考図書
ガイダンスなどで適宜指示する。	『就職ガイドブック』など

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
通常の授業科目とは、履修登録の時期や方法が異なるので、注意する。
学生課が窓口となり、緊急な連絡などもあるので、メールなどで迅速な連絡ができるようにしておくこと。

01	事前指導、研修、事後指導から構成される。 事前指導：（7時間） (1) 研修先や研修概要に関する説明会 (2) 希望人数によっては選考 (3) 研修先ごとのガイダンス (4) 研修先の事前訪問 研修：（50時間） ・前期は夏季休業、後期は春季休業中に各自の研修実施先にて研修を行う。 ・研修内容は、実習先によって異なる。基本的に研修者のために用意されたプログラムに従って研修を行い、 実施先での担当者による指導を受ける。 事後指導：（3時間） (1) 研修日誌
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

2020年度シラバス

科目名:ジェンダーと法	担当者:綾部 六郎	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須. 選択	選択

授業概要と方法
　みなさんは「ジェンダー」や「セクシュアリティ」ということばをこれまでに聞いたことがありますか？ わたしたちが先人たちの努力によってこのことばを知ったときから、性をめぐる考え方の新たな可能性が大きく切り開かれました。
　自立した女性となるために、こうした考え方について法学の観点から学んでみましょう。

授業の到達目標
　この授業では、こうしたジェンダーやセクシュアリティということばや、それらが法律とどうかかわっているのかということについて、具体的な題材を通じて学び、受講生のみなさんがそれまでの自分とは違う視点を得られるようにします。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
　日常的な出来事のなかに潜んでいるジェンダー／セクシュアリティ上の問題を、法的な視点から正しく分析するための視点を獲得することが大切です。

評価方法
1. 学期末試験の成績（90%）
2. 受講態度などの勘案（10%）
3. 任意課題の提出（適宜加点する）

教科書	参考図書
開講までに指示します。	授業中に紹介します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
座席指定制になります。

01	導入①：ジェンダーとはなにか？
02	導入②：「ジェンダー／セクシュアリティと法」とはなにか？
03	性別：法的性別の根拠は？
04	性同一性障がい：性別違和をもつ当事者に法は応答できているか？
05	性刑法：誰をどのように守るものであるべきか？
06	親子：性的マイノリティは親になれるのか？
07	婚姻：カップルの特別扱いに合理性はあるか？
08	暴力：ドメスティック・ヴァイオレンスは異性間だけの問題か？
09	企業：企業が性的マイノリティにできることとは？
10	学校教育：「性の多様性」学習の保障に向けて必要なこととは？
11	人権：誰のどのような人権か？
12	ノルム：平等か解放か？
13	クィア：クィアな視点は法になにをもたらすのか？
14	補論：科学・技術の発展が法や性的マイノリティに与える影響とは？
15	授業のまとめなど
16	なし

2020年度シラバス

科目名:オフィススタディ	担当者:吉田 智美	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
ビジネス社会で働いていくために必要な基本的な心構え、知識を会社内でのケースを通して理解する。アルバイトを含め社会生活で必要とされるビジネスマナーを身に付け、様々な状況に臨機応変に対応できるように修得し、行動できるようにする。授業の流れは、最初に内容に関する説明を行い（インプット）、その後、プリントなどで問題を解き（アウトプット）し、知識の定着を図る。秘書検定2級の資格取得を目標にする。

授業の到達目標
大学生活やアルバイトなどの社会経験の中で、最低限のビジネスマナーを身に付け、臨機応変に対応できる力を身に付けていくことを目標とする。インターンシップなどで、社会人との関わりを持ちながら疑問に思ったことを、明らかにし、正しく行動することができるようなる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
事前課題や事後学修、復習、検定試験対策、確認テスト対策などでおおよそ30時間程度の予習復習を要する。具体的な内容に関しては、授業中に指示する。１～2回（事後）テキストの対応部分を読み、まとめる（4時間）3～4回（事前・事後）自分が使っている言葉や使われている言葉についての疑問点をあげ、正しく使うことができるようにする（4時間）5～11回（事後）テキストの対応部分を読み、授業中に間違えた問題を再度確認する（4時間）12～15回（事後）ビジネス文書を作成し、社内文書を確実にかけるようにする（4時間）

評価方法
授業への参加態度（話し合いへの参加、提出物）40%、実技試験20%、確認テスト40%

教科書	参考図書
秘書検定2級クイックマスター（秘書検定2級取得者も必要）、秘書検定2級実問題集（秘書検定2級取得者は、準1級問題集を使用）　前期に、秘書概論を受講した学生はそのまま同じテキストを使用する。	授業中に指示する。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
前期の秘書概論と同じテキストを使用する。秘書概論を受講した学生は、オフィススタディで新しくテキストを購入する必要はない。

01	オリエンテーション　　仕事をする上で必要な心構え
02	職場と人間関係について
03	敬語と接遇用語について①　敬語の種類と使い分け
04	敬語と接遇用語について②　接遇用語
05	命令・指示の受け方、報告・説明の仕方について
06	苦情処理の仕方、断り方について
07	来客応対について①　応接室の対応、茶菓の出し方など
08	来客応対について②　上座・下座、紹介の仕方など
09	電話応対について①　言葉遣い
10	電話応対について②　会議中などの対応の仕方など
11	交際の業務（慶弔、贈り物のマナー）
12	ビジネス文書の作成①　社内文書
13	ビジネス文書の作成②　社外文書
14	書類の取り扱い方、資料管理
15	環境の整備　まとめ　確認テスト
16	なし

2020年度シラバス

科目名:秘書概論	担当者:吉田 智美	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
秘書業務を通じて、職業人として求められる資質や要求される役割などを学んでいく。さらに、秘書検定の問題やケースワークをもとに、具体的に必要とされる人材について理解をする。グループワーク（全５回）を行い、社会人としての心構えを認識する。【ＡＬ】

授業の到達目標
秘書としてだけでなく、職業人として取り巻く人間関係、関係対応などを知ることで将来働く姿をイメージし、学生時代とは異なる社会人としての対応ができるようなることを目標とする。秘書検定2級の検定合格を目標とする。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
社会問題に対して、新聞やニュースなどから積極的に知識を得るようにすること。事前課題や事後課題、検定対策、確認テスト対策などで、おおよそ30時間程度の予習復習を要する。具体的な内容に関しては、授業中に指示する。1回（事前）秘書検定はどのような問題なのか、テキストを読む（4時間）2-3回（事後）今までのコミュニケーションの仕方について、普段の生活に取り入れる（4時間）4～15回（事後）授業内で説明された部分をテキストで確認をし、間違えた問題を解き直し理解する（4時間）

評価方法
授業への参加態度（話し合いへの参加、提出物）40%、レポート20%、確認テスト40%

教科書	参考図書
秘書検定2級クイックマスター（秘書検定2級取得者も必要）、秘書検定2級実問題集（秘書検定2級取得者は準1級実問題集を使用）	授業中に指示する。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
秘書検定などの検定取得を目指し、主体的に学んでほしい。

01	オリエンテーション　学生と社会人との違いについて
02	社内・社外の人とのコミュニケーションについて①　聴き方、話し方　グループワーク
03	社内・社外の人とのコミュニケーションについて②　伝え方　グループワーク
04	秘書として備えるべき資質について
05	補佐役として秘書としての立場
06	秘書に求められる能力について
07	秘書の役割機能について
08	秘書を取り巻く人間関係について
09	仕事をしていく上で必要な職務知識について
10	秘書の日常業務①　定型業務について
11	秘書の日常業務②　非定型業務について
12	仕事をしていく上で求められる心構えについて　グループワーク
13	仕事をしていく上で求められる人材とは　グループワーク
14	企業で働くということについて
15	まとめ、確認テスト、解説
16	なし

2020年度シラバス

科目名:簿記	担当者:高木 義彦	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	通年
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	4
		必須.選択	選択

授業概要と方法
ビジネス社会で働く際に必要な基本知識としての簿記の基本原理を理解し、現代の企業の在り方や経営の仕組みを学ぶとともに、実社会に出たときに役立つ準備のための実践的な技術を身に付けます。簿記の習得のためには、自分で問題を解き、反復練習することが重要です。本授業では、問題演習を多く取り入れ、知識の確実な定着を図るため確認テスト（２回）を行います。

授業の到達目標
初めて簿記を勉強する人を対象として、日商簿記検定試験３級レベルの簿記の基本原理を理解する。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
＜準備学習＞教科書を使って、各単元の内容を事前に予習しておくこと。（30時間）＜事後学修＞記帳練習帳を確実に行い、内容を確認すること。（90時間）

評価方法
授業への参加態度（50%）確認テスト（50%）

教科書	参考図書
日商簿記３級テキスト（株式会社カリアック）	授業中に指示する。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
反復繰り返しを大切に、記帳練習帳を活用して事後学修を確実に行い、内容を確認することが重要です。

01	企業の簿記
02	資産・負債・純資産（資本）と貸借対照表
03	収益・費用と損益計算書
04	取引と勘定記入
05	仕訳と転記
06	仕訳帳と総勘定元帳
07	試算表と精算表
08	損益計算書と貸借対照表
09	現金・預金の記帳（1）
10	現金・預金の記帳（2）
11	商品売買の記帳
12	掛け取引の記帳
13	手形取引の記帳
14	その他の債権・債務の記帳
15	まとめと小テスト（1）
16	有価証券の記帳
17	固定資産の記帳
18	純資産（資本）と税金の記帳
19	決算整理（売上原価の計算）
20	決算整理（貸し倒れの見積もり）
21	決算整理（減価償却）
22	決算整理（費用・収益の繰り延べ）
23	決算整理（費用・収益の見越し）
24	８桁精算表の作成（1）
25	８桁精算表の作成（2）
26	８桁精算表の作成（3）
27	財務諸表の作成
28	５伝票制と転記
29	総合演習
30	まとめと小テスト（2）
31	

2020年度シラバス

科目名:データベース演習	担当者:伊藤 宏隆	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
ビジネスにおいて収集したデータの管理と分析は重要な業務となっている。この授業では、EXCEL のデータベース機能を用いて、データ管理とデータ分析について学習する。一人一台パソコンを使用して、例題の学習、練習問題、課題演習を行う。

授業の到達目標
例題や演習の遂行を通して、EXCELのデータベース機能を自由自在に使いこなし、ビジネス実務で活用できるようなデータの入力、編集、並べ替え、抽出、関数の活用やデータ分析のスキルを身につける。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
授業前には、教科書を読んで授業内容を事前に把握しておく（2時間）。授業後には、授業で学習した内容をパソコンを使用して復習し、各回で課された課題を遂行する（2時間）

評価方法
授業への参加態度 20%　課題80%

教科書	参考図書
できるExcelデータベース　早坂清志　インプレス	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
資料の掲示、授業連絡はMoodleにて行う。

01	ガイダンス、データベースの基礎
02	データベース、テーブルの作成
03	データベース、テーブルの作成の演習
04	データの入力、外部データの取り込み
05	データの整形
06	データの入力、外部データの取り込み、データの整形の演習
07	データの並べ替え、演習
08	データの抽出、演習
09	データの強調表示、演習
10	データの集計
11	データの集計の演習
12	ピボットテーブル、ピボットグラフ
13	ピボットテーブル、ピボットグラフの演習
14	VBA
15	総合演習
16	

2020年度シラバス

科目名:コンピュータ・ネットワーク	担当者:木下 博光	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
コンピュータの基本である、2進数の計算から始め、通信の仕組みを学習していく。ソーラーパネルを使った光通信の実験なども行う。

授業の到達目標
コンピュータやインターネットなど、近年の情報技術の進展は著しい。現代の情報社会において、これらの仕組みを正しく理解し使用することが求められている。この講義ではこれからの社会参加に向けて、コンピュータネットワークに関する基礎的な知識を習得することを目標とする。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
パソコン情報のホームページなどを見て、最新の技術に関心を持つ。

評価方法
15回目に行う確認テスト（100%）の成績により評価する。

教科書	参考図書
随時プリント配布	栢木先生のITパスポート教室　平成３１／０１年　出版社:技術評論社　ISBN: 9784297101817

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
最近では各メディアで情報機器や技術に関する話題を目にする機会も多いと思います。講義の理解を深めるためにも、日頃から関心をよせるように心がけましょう。参考図書の購入を強く勧めます。

01	ガイダンス
02	コンピュータネットワークの歴史
03	2進数の計算
04	16進数の計算
05	通信ネットワークの原理　bit、bps
06	パソコンの仕組み（ハードウェア）CPU・RAM・HDD・VGA・Ethernet
07	通信機器の仕組み（ハードウェア）サーバーとクライアント構成
08	ソフトウエアの仕組み（クライアント編）ブラウザーとメーラー
09	ソフトウエアの仕組み（サーバー編）Webサーバの役割と機能
10	ネットワーク層・トランスポート層・アプリケーション層
11	イーサネット（LAN)構成法・IPv4・IPv6, 無線LAN
12	情報セキュリティ対策　ウィルス対策、不正アクセス
13	クラウドコンピューティング SaaS（アプリケーション）、IaaS（ハードウェア）
14	最新の通信技術紹介
15	まとめ
16	

2020年度シラバス

科目名:ＩＴパスポート入門	担当者:木下 博光	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
ストラテジ系（経営全般）、マネジメント系（IT管理）、テクノロジ系（IT技術）の各分野の基礎から取り組み、毎回CBT（Computer Based Testing）を使って問題を解いていく。

授業の到達目標
経営戦略、マーケティング、財務、法務など経営全般をはじめ、セキュリティ、ネットワークなどのITの基礎知識、プロジェクトマネジメント知識など幅広い分野の知識習得し、国家試験「ITパスポート」取得を目標とする。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
過去問題集を活用して国家試験対策を行う。

評価方法
15回目に行う確認テスト（100%）の成績により評価する。

教科書	参考図書
随時プリント配布	栢木先生のITパスポート教室　平成31/01年　出版社: 技術評論社　ISBN: 9784297101817

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
就職内定後、企業からITパスポート取得を求められる学生が毎年出てきます。就職活動前に取得することを強く勧めます。

01	ガイダンス　国家試験受験方法と合格基準
02	テクノロジ系（基礎理論）
03	テクノロジ系（アルゴリズムとプログラミング）
04	テクノロジ系（コンピュータ構成要素・システム構成要素）
05	テクノロジ系（ソフトウエア・データベース）
06	テクノロジ系（マルチメディア・ネットワーク・セキュリティ）
07	ストラテジ系（会計・財務・経営戦略）
08	ストラテジ系（ビジネスインダストリ・システム戦略）
09	ストラテジ系（知的財産権・標準化関連）
10	マネジメント系（システム開発技術・開発プロセス・手法）
11	マネジメント系（プロジェクトマネジメント・サービスマネジメント）
12	マネジメント系（システム監査）
13	過去問1
14	過去問2
15	まとめ
16	

2020年度シラバス

科目名:Ｅｘｃｅｌ演習	担当者:岩佐 孝子・鈴村 市恵	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
「Microsoft Office specialist (MOS) Excel2016」とは企業が求めるパソコンスキルにおいて、有益な資格である。その資格取得対策として、この授業は4日間とプラス非常時用予備日1日で集中開催される。
模擬試験を通して、試験のノウハウを身につけ、必要な操作を習得する。
　また、資格取得試験は授業とは別日に、学外にて予定している。

授業の到達目標
Microsoft Office Specialist(MOS)　Excel2016の資格取得を目標とする。
社会で活用が求められる、Microsoft Excelの技術を、MOS Excel2016対策テキストを利用し、実践的に身につける。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
事後学修として、授業で習った操作を繰り返し練習し、身に付けておくこと。
授業後と予備日の教室開放を有効活用する。

評価方法
授業への参加態度60%　模擬試験30%　資格試験合否の結果10%によって総合的に評価する。
各担当教員の話をよく聞くこと。

教科書	参考図書
MOS Excel 2016対策テキスト& 問題集 (FOM出版)	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
連絡先は授業で開示する。
受験料として9,800円＋税が必要となる。
集中開催のため、休むと授業についてこれなくなるので注意すること。

01	MOS試験概要、出題範囲１（ワークシートやブックの作成と管理）
02	出題範囲２（セルやセル範囲のデータの管理）
03	出題範囲３（テーブルの作成）
04	出題範囲４（数式や関数を使用した演算の実行）
05	受験者登録
06	出題範囲５（グラフやオブジェクトの作成）
07	模擬試験１
08	模擬試験２
09	模擬試験３
10	模擬試験４
11	模擬試験５
12	模擬試験補足
13	受験準備（最終確認）
14	受験操作説明
15	学外における検定試験
16	なし

2020年度シラバス

科目名:韓国語と韓国文化ＩＡ	担当者:李 正子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
これからの時代は、外国人との共生が必要となる。このような時代や社会環境の変化に対して的確に対応するためにも、英語以外の外国語習得、特にアジア言語の習得は必須であると思われる。また、より広い視野に立って物事を考えるためにも他国の言語や文化を学ぶことは有意義である。韓国語と韓国文化１Aでは、上記の内容を念頭におき、初級レベルの韓国語の文法と会話、文化について理解できるようになる。

授業の到達目標
ハングル（韓国語の文字）が読めるようになり、簡単な日常会話ができるようになる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
準備学習：その日に学習する課の映像を見て、音読の練習をする。
事後学習：その日に学んだ単語を覚え、本文とともに覚える。

評価方法
授業への参加態度：30%、確認テスト(2回)、小テスト(４回)：60%、課題・提出物：10%

教科書	参考図書
三訂版・韓国語の世界へ	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
好奇心、興味をもって授業に臨むこと。積極的な姿勢が質問を生み、質問が増えれば学習効果が高まるはず。

01	授業の説明、導入
02	第１課　文字と発音（１）単母音、初声・その１
03	第１課　文字と発音（１）半母音＋単母音その１、終声・その１
04	第２課　文字と発音（２）初声・その２、有声音化 文字編　第３課　子音（２） 課
05	第２課　文字と発音（２）半母音＋単母音その２、連音化
06	第３課　文字と発音（３）初声・その３、初声・その４
07	第３課　文字と発音（３）終声・その２、濃音化
08	確認テスト、文化体験　映画鑑賞①
09	文化体験　映画鑑賞②
10	第４課　韓国人です　鼻音化、～는/은
11	第４課　韓国人です　～입니다/입니까?、～(이)라고 합니다
12	第５課　韓国語は専攻ではありません　激音化、～가/이
13	第５課　韓国語は専攻ではありません　～예요,/이에요、～가/이 아니에요
14	第６課　教室は階段の横にあります　漢数詞、～에 있어요
15	まとめと確認テスト
16	
17	会話編　第３課②　～と、～に（位置）
18	会話編　第４課①　です/ます　用言文の합니다体、～を
19	会話編　第４課②　～で（場所）、～に（時間）
20	調理実習
21	会話編　第５課①　用言文の해요体①
22	会話編　第５課②　用言文の해요体②、～しに（目的）
23	確認テスト
24	会話編　第６課①　否定形、～より（比較）
25	会話編　第６課②　～で（手段、方法、方向）、～から～まで（場所）
26	会話編　第７課①　漢数詞、誕生日、誕生日の歌
27	会話編　第７課②　同意を求める語尾、感嘆を表す語尾
28	会話編　第８課①　固有数詞、時間表現
29	会話編　第８課②　～から～まで（時間）
30	確認テスト

科目名:韓国語と韓国文化ＩＡ	担当者:金 昭鎤	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須. 選択	選択

授業概要と方法
グローバル化が進む現代社会において他国を理解することは大切です。特に最も近い国、韓国の言語や文化を知ることはお互いを理解するために重要な意味を持つと思われます。本科目では韓国語の文字と基礎文法を学びつつ、韓国の文化に触れながら理解できるようになる。

授業の到達目標
ハングルを習得し、旅行など実際の場面で役に立つ表現が話せるようになります。また実践的な会話能力を身に付け、テキストの読解を通して語彙力、表現能力を高めていきます。「読む、書く、聴く、話す」の四技能をバランスよく伸ばし、コミュニケーション能力を高めることによって、言語にとどまらず、隣国の文化に対する理解を深めることを目標とします。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
準備学修：学修する各課のCDを聞き、音読の練習をしてください。（所要時間約30分）
事後学修：学修した単語を単語帳にまとめ、覚えてください。（所要時間約30分）
その他日頃、k-popや韓国語ドラマなどの身近な韓国の文化に触れることをお勧めします。

評価方法
授業への参加程度３０％、確認テスト４０％、課題３０％

教科書	参考図書
『三訂版・韓国語の世界へ入門編』／著：李潤玉ほか／出版：朝日出版社	『ハングルの誕生』／著： 野間秀樹／出版：平凡社新書

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
語学は日々の重ねが重要です。授業内容を必ず復習するようにしてください。

01	オリエンテーション及びハングルのしくみ
02	文字編　単母音、子音（鼻音・流音）（１）、ミニ会話
03	文字編　半母音/パッチム（１）、ミニ会話
04	文字編　子音（平音）（２）/発音の規則(有声音化）、ミニ会話
05	文字編　二重母音/発音の規則(連音化）、ミニ会話
06	文字編　子音（激音・濃音）（３）、ミニ会話
07	文字編　パッチム（２）/発音の規則(濃音化）、ミニ会話
08	文字のまとめ、文化体験　映画鑑賞①
09	日本語のハングル表記、文化体験　映画鑑賞②
10	会話編　～は～です「私の名前は池田菜々です」
11	会話編　～と申します「私は張民秀と申します」
12	会話編　～が、～ですか「池田さんは韓国語が専攻ですか」
13	会話編　～ではありません「韓国語は専攻ではありません」
14	会話編　漢数詞「韓国語の授業は何限ですか」
15	まとめ、確認テスト
16	なし

2020年度シラバス

科目名:韓国語と韓国文化ＩＡ	担当者:金 三淑	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
これからの時代は、外国人との共生、特にアジアからの外国人との付き合いが無条件に必要となります。このような時代や社会環境の変化に対して的確に対応するためにも、英語以外の外国語習得、特にアジア言語の習得は必須であると思われます。また、より広い視野に立って物事を考えるためにも他国の言語や文化を学ぶことは有意義です。韓国語と韓国文化１では、上記の内容を念頭におき、基本的な韓国語の文法と会話、文化について理解をする。

授業の到達目標
ハングル（韓国語の文字）が読めるようになり、簡単な日常会話ができるようになります。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
準備学修：学修する課のCDを聞き、音読の練習をしてください。必要時間：約30分。事後学修：学修した単語を単語帳にまとめ、覚えてください。必要時間：約30分。K-POP、ドラマなど韓国の文化と触れ合うことをお勧めします。

評価方法
授業への参加態度：30%、確認テスト：40%、課題：30%

教科書	参考図書
『韓国の世界へ』（入門編）、李潤玉外4人著、朝日出版社	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
好奇心、興味をもって授業に臨んでください。積極的な姿勢が質問を生み、質問が増えれば学習効果が高まります。

01	ガイダンス
02	第１課①　文字と発音（１）単母音、初声・その１（鼻音・流音）
03	第１課②　文字と発音（１）半母音、終声・その１
04	第２課①　文字と発音（２）初声・その２（平音）、有声音化
05	第２課②　文字と発音（２）連音化、　確認テスト
06	第３課③　文字と発音（３）初声・その３（激音）
07	第３課③　文字と発音（３）初声・その４（濃音）、かなのハングル表記
08	確認テスト、文化体験　映画鑑賞①
09	文化体験　映画鑑賞②
10	第４課①　韓国人です。～は、～です。
11	第４課②　鼻音化
12	まとめ、確認テスト
13	第５課①　韓国語は専攻ではありません。～が、～ではありません。
14	第５課②　激音化
15	まとめ、確認テスト
16	なし
17	会話編　第３課①　こそあど（指示詞）、あります・ありません、家族
18	会話編　第３課②　～と、～に、位置を表す言葉
19	会話編　第４課①　です・ます、～を
20	会話編　第４課②　～で（場所）、～に（時間）
21	確認テスト（自己紹介）　文化体験　映画鑑賞①
22	文化体験　映画鑑賞②
23	会話編　第５課①　用言の丁寧語①
24	会話編　第５課②　用言の丁寧語②、～しに（目的）
25	確認テスト
26	会話編　第６課①　否定形、～より（比較）
27	調理実習
28	会話編　第７課①　漢数詞、誕生日、誕生日の歌
29	会話編　第７課②　同意を求める語尾、感嘆を表す語尾
30	確認テスト
31	なし

2020年度シラバス

科目名:韓国語と韓国文化ＩＢ	担当者:李 正子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
「韓国語と韓国文化ＩＡ」と同じ教科書の第７課からスタートし、初級レベルの韓国語の文法と会話、また文化について理解できるようになる。

授業の到達目標
韓国語と韓国文化１Aで学んだ「ハングル」という文字を使って、読み、聞き、書き、話すことを目標とする。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
準備学習：その日に学習する課の映像を見て、音読の練習をする。
事後学習：その日に学んだ単語を覚え、本文とともに覚える。

評価方法
授業への参加態度：30%、確認テスト(２回)、小テスト(４回)：60%、課題・提出物：10%

教科書	参考図書
三訂版・韓国語の世界へ	三訂版・韓国語の世界へ

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
好奇心、興味をもって授業に臨むこと。積極的な姿勢が質問を生み、質問が増えれば学習効果が高まるはず。

01	第７課　午後、時間大丈夫ですか　해요体１
02	第７課　午後、時間大丈夫ですか　～를/을、～도
03	第８課　小学生にテコンドーを教えています　해요体２
04	第８課　小学生にテコンドーを教えています　～에서、～에게
05	第９課　ふつう、6時に起きます　해요体３・４、～로/으로
06	第９課　ふつう、6時に起きます　～에서 ～까지（場所）、固有数詞
07	第10課　野球がとても好きです　해요体４
08	第10課　野球がとても好きです　-(으)러、～부터 ～까지（時間）
09	まとめテスト
10	文化体験　ユンノリ
11	第11課　昼ごはん、食べなかったんですか　過去形、否定形
12	第11課　昼ごはん、食べなかったんですか　으語幹の活用
13	第12課　春休みには何をするつもりですか　-(으)세요、-고 싶다
14	第12課　春休みには何をするつもりですか　-(으)ㄹ 거예요
15	まとめと確認テスト
16	

2020年度シラバス

科目名:韓国語と韓国文化ＩＢ	担当者:金 昭鍥	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
グローバル化が進む現代社会において他国を理解することは大切です。特に最も近い国、韓国の言語や文化を知ることはお互い理解するために重要な意味を持つと思われます。本科目では韓国語の文字と基礎文法を学び、韓国の文化に触れながら理解できるようになる。

授業の到達目標
韓国語の運用に必要な知識と技能の基本を学習するとともに、日本語や日本文化との対比の観点から韓国語や韓国文化に対する理解を深めることが目的です。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
準備学修：学修する各課のCDを聞き、音読の練習をしてください。（所要時間約30分）
事後学修：学修した単語を単語帳にまとめ、覚えてください。（所要時間約30分）
その他日頃、k-popや韓国語ドラマなどの身近な韓国の文化に触れることをお勧めします。

評価方法
授業への態度３０％、確認テスト４０％、課題３０％

教科書	参考図書
『三訂版・韓国語の世界へ入門編』／著：李潤玉ほか／出版：朝日出版社	『ハングルの誕生』 ／著：野間秀樹／出版：平凡社新書

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
未知の世界に踏み込み自分の世界を広げるのだという気持ちで、積極的に授業に参加してください。
語学は日々の重ねが重要です。授業内容を必ず復習するようにしてください。

01	オリエンテーション及び前期の復習
02	第6課　～に、あります/います「教室は階段のすぐ横にあります」
03	第7課「民秀さんもここに座ってください」助詞～に、～も、うちとけた丁寧な言い方「해요体（1）」
04	第8課「英語のスクールに通っています」うちとけた丁寧な言い方「해요体（２）」
05	第8課「来週、スクールで模擬試験を受けます」助詞～で、～に(人・動物)
06	第9課「電車で学校に通っていますか」うちとけた丁寧な言い方「해요体（３）」
07	第9課「家から学校まで１時間くらいかかります」助詞～から～まで、固有数詞
08	第10課「野球、好きですか」うちとけた丁寧な言い方「해요体（４）」
09	第10課「土曜日に一緒に野球、見に行きましょう」目的を表す表現、文化体験　映画鑑賞①
10	まとめ、文化体験　映画鑑賞②
11	第11課「レポートが多かったんです」過去形の作り方
12	第11課「とてもお腹がすいてます」ㅇ語幹の用言
13	第12課「顔色がよくないですよ」否定を表す表現
14	第12課「春休みに何をするつもりですか」未来を表す表現
15	まとめ、確認テスト
16	なし

2020年度シラバス

科目名:韓国語と韓国文化ＩＢ	担当者:金 三淑	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
これからの時代は、外国人との共生、特にアジアからの外国人との付き合いが無条件に必要となります。このような時代や社会環境の変化に対して的確に対応するためにも、英語以外の外国語習得、特にアジア言語の習得は必須であると思われます。また、より広い視野に立って物事を考えるためにも他国の言語や文化を学ぶことは有意義です。韓国語と韓国文化１Ｂでは、上記の内容を念頭におき、基本的な韓国語の文法と会話、文化について理解をする。

授業の到達目標
ハングル（韓国語の文字）が読めるようになり、簡単な日常会話ができるようになります。みんなの前で自己紹介ができるようになります。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
準備学修：学修する課のCDを聞き、音読の練習をしてください。必要時間：約30分。事後学修：学修した単語を単語帳にまとめ、覚えてください。必要時間：約30分。K-POP、ドラマなど韓国の文化と触れ合うことをお勧めします。

評価方法
授業への参加態度　30%、確認テスト　40%、課題　30%

教科書	参考図書
『韓国の世界へ』（入門編）、李潤玉外4人著、朝日出版社	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
好奇心、興味をもって授業に臨んでください。積極的な姿勢が質問を生み、質問が増えれば学習効果が高まります。

01	前期の内容の復習、自己紹介①
02	第６課①　教室は階段の横にあります。　あります/います
03	第６課②　漢数字、位置を表す名詞
04	まとめ、確認テスト、自己紹介②
05	第７課①　午後、時間大丈夫ですか。해요体の作り方（１）
06	第７課②　～を、～も
07	自己紹介のまとめ
08	確認テスト（自己紹介）、文化体験Ⅰ　映画鑑賞①
09	文化体験Ⅰ　映画鑑賞②
10	第８課①　小学生にテコンドーを教えています。指示詞
11	第８課②　해요体の作り方（２）、～で
12	文化体験Ⅱ　韓国の歌など
13	第９課①　ふつう、６時に起きます。해요体の作り方（３）
14	第９課②　時を表すことば
15	まとめ、確認テスト
16	なし

科目名:中国語と中国文化ＩＡ	担当者:張 書 涵	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:なし		単位数	1
		必須. 選択	選択

授業概要と方法
　この授業では、発音から学習する中国語の入門コースで、主に初歩的な表現とその応用を中心に行い、同時に初級の発音、語彙、文法事項をマスターしていく。毎回グループ会話発表を通して会話能力を高め、更に必要に応じて、音声教材などを補助的に使って授業を行っていく。また中国の歴史や様々な文化、さらに現代中国社会事情、若者の生活などについても授業の中で紹介し、中国語を学ぶ上で必要な教養を身につけていく。

授業の到達目標
　目標は二つある。一つは中国語の特徴や入門レベルでの表現形式を学び、実際のコミュニケーションに役立つ基礎的な中国語の会話力を身につけることである。もう一つは中国の歴史や文化を学び、異文化への理解ができるようになる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
　授業は演習を中心とするため、添付のＣＤを十分に利用し、授業中に出された課題や予習、復習をしっかりと行い、授業に積極的に取り組んでください。

評価方法
　授業で会話発表や参加状況20%、小テスト20%、確認テスト60%

教科書	参考図書
『実学実用初級中国語』陳　淑梅・劉光赤　著　朝日出版社	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　メールなどで連絡手段とする。

01	ガイダンス・中国語の概要
02	第１課　声調と単母音　中国語の挨拶語 第１ 第１課　声調と単母音　中国と中国の方言
03	第２課　複母音
04	第３課　子音　中国人の呼称
05	第４課　鼻母音・ｒ化
06	発音のまとめ・確認テスト　漢詩を読む
07	文化体験　切り紙
08	第５課　キャンパスで初対面　中国の大学事情
09	ドリル練習⑤
10	会話練習と発表⑤　中国語の尊敬語と謙譲語
11	文化体験　映画鑑賞
12	第6課　名前を尋ねる　中国語の外来語
13	ドリル練習⑥
14	会話練習と発表⑥
15	まとめと確認テスト
16	
17	第７課　喫茶店で
18	ドリル練習⑦
19	会話練習と発表
20	文化体験　中国の詩
21	第８課　趣味を語る
22	ドリル練習⑧
23	会話練習と発表⑧
24	文化体験　中華料理
25	第９課　Tシャツを買う
26	ドリル練習⑨
27	会話練習発表⑨
28	文化体験　中国の歌
29	後期のまとめ
30	確認テスト
31	なし

2020年度シラバス

科目名:中国語と中国文化ＩＢ	担当者:張 書 涵	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限: なし		単位数	1
		必須. 選択	選択

授業概要と方法
　この授業では、発音から学習する中国語の入門コースで、主に初歩的な表現とその応用を中心に行い、同時に初級の発音、語彙、文法事項をマスターしていく。毎回グループ会話発表を通して会話能力を高め、更に必要に応じて、音声教材などを補助的に使って授業を行っていく。また中国の歴史や様々な文化、さらに現代中国社会事情、若者の生活などについても授業の中で紹介し、中国語を学ぶ上で必要な教養を身につけていく。

授業の到達目標
　目標は二つある。一つは中国語の特徴や入門レベルでの表現形式を学び、実際のコミュニケーションに役立つ基礎的な中国語の会話力を身につけることである。もう一つは中国の歴史や文化を学び、異文化への理解ができるようになる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
　授業は演習を中心とするため、添付のＣＤを十分に利用し、授業中に出された課題や予習、復習をしっかりと行い、授業に積極的に取り組んでください。

評価方法
　授業で会話発表や参加状況20%、小テスト20%、確認テスト60%

教科書	参考図書
『実学実用初級中国語』陳　淑梅・劉光赤　著　朝日出版社	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　メールなどで連絡手段とする。

01	発音・文法事項の復習
02	前期の会話練習と発表
03	第７課　喫茶店で　中国語の社交呼称
04	ドリルの練習⑦
05	文化体験　お茶
06	第８課　趣味を語る　中国語の数字語
07	ドリルの練習⑧ ドリルの練習 ドリルの練習⑧　中国語の挨拶語の文化特性
08	まとめと小テスト 第８課　ドリルの練習
09	第９課　Tシャツを買う　中国語の言語タブー
10	ドリルの練習⑨　中国人の食文化
11	食文化の体験
12	食文化の体験
13	第10課　レストランで　中国の祝祭日
14	ドリルの練習⑩
15	まとめと確認テスト
16	なし

2020年度シラバス

科目名:アジアの歴史	担当者:布 和	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　この授業は、現代教養学科が掲げるディプロマポリシーの一部である「幅広い分野にわたる知識を身につけ、より広い視野に立って、物事を考えていくことが出来る思考力」という内容に関連している。授業では、アジア各地域の歴史を紙媒体資料及び視聴覚資料を使って、近現代史中心に学ぶ。授業過程では、グループ学習やプレゼンテーションを取り入れる形でより知識に対する理解を一層深めるつもりである。【ＡＬ】

授業の到達目標
　15回の授業を通じて、学生たちはアジアの歴史に関する基本的な知識を身につけ、また、アジア各国の現状についての理解もより一層深めるはずである。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
　なるべく資料を事前に配布し、授業の予習と復習は、少なくともそれぞれ2時間程度行うこと

評価方法
　欠席数が6回になれば、単位を不認定する。成績は、授業参加意欲（30%）、プレゼンテーション（30%）及びレポート（40%）で総合評価する。

教科書	参考図書
教科書を使わないが、講義ごとにプリントを配布する。	授業中に知らせる。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　授業進度は事情によって多少な変化が生じる。教員の連絡先及びオフィスアワーは授業中に知らせる。

01	講義紹介（アジアの歴史とは）
02	１東アジアの歴史（全般）
03	①日本の歴史
04	②中国の歴史
05	③朝鮮半島の歴史
06	２東南アジアの歴史（全般）
07	①島嶼部の歴史
08	②大陸部の歴史
09	第一回目の学生によるプレゼンテーション
10	３南アジアの歴史（全般）
11	①インドの歴史
12	②その他の国の歴史
13	４西アジアの歴史
14	５中央アジアの歴史
15	第二回目のプレゼンテーション
16	なし

2020年度シラバス

科目名:国際経済入門	担当者:茶谷 淳一	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:特になし		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法 外国貿易や外国為替のしくみや国際通貨ドルの「秘密」など、国際経済問題を理解するために必要な基本的なことがらを学びながら、国際経済の視点から現実の経済社会で起こっている諸問題について自分なりに考える力を養います。
授業の到達目標 ①世界経済や国際経済に関する新聞記事やニュースに関心を持って触れようとするようになる。②現代社会を理解するために必要な国際経済の基本的な知識を習得し、今、世界で起こっていることについて自分なりに考えることができるようになる。
授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修 テレビのニュースやドキュメンタリーを見たり、新聞の「見出し」を毎日眺めるようにしましょう。また各単元終了後に出題される課題を解き、提出しましょう。
評価方法 各単元終了後の確認テスト課題（5点×２）＋期末の確認テスト（90点）。コメントシートも参考にします。単元終了後の確認テスト課題の再試験は行いません。欠席した場合、後日試験用紙を受け取ることはできません。

教科書	参考図書
なし。授業時に配布するレジュメを使います	グローバルエコノミー（岩本ほか著　有斐閣）、１ドル札の動きでわかる経済のしくみ（かんき書房）

その他(学生へのアドバイス、連絡手段) 重要なニュースの説明などのため、授業が予定通りに進まないことがあります。レジュメの余白にメモを取ること。質問は木曜昼休みに研究室へ。途中退出・遅刻・私語など受講マナーを守れない場合は受講を取り消します。

01	この講義のねらいと、評価について　日本の貿易構造をみる
02	なぜ後れた国が輸出できるのか？　国によって得意な商品が異なる　比較優位
03	産業の空洞化と保護主義
04	HO仮説と交易条件
05	モノカルチャー構造と貿易
06	新しい貿易の試み～フェアトレード
07	「貿易」のまとめ　単元ごとの確認テストの解答と解説
08	お金は国によって異なる　両替と為替取引
09	外国為替相場はどのように決まるのか？①
10	外国為替相場はどのように決まるのか？②　日本「円」の為替相場の歴史
11	「１ドル＝120円」は単なる数式か？　「ドル」ってなあに？
12	「USドル」が基軸通貨・国際通貨になった理由　「ドル」の前はいつも“１”
13	基軸通貨・国際通貨ドルがアメリカにもたらすメリット　為替相場の変動はよいことか？
14	「ドル」と私たちの暮らし　「外国為替」のまとめ　単元ごとの確認テストの解答と解説
15	授業のまとめと期末の確認テスト
16	なし

科目名:ホテルインターンシップ	担当者:茶谷 淳一・高谷 邦彦・辻 広志・綾部 六郎・矢澤 久史・山下 玲香・小出 祥子・福島 裕人	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実習
免許・資格:		開講時期	前期・後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　大学の提携したホテルや旅館にて、接客の業務や、関連する現場の管理、事務、行事運営などの仕事を研修生として体験する。研修先での研修だけでなく、事前の説明会やガイダンスなどへの出席、事前訪問、および研修終了後の振り返りも授業に含まれる。【AL】

授業の到達目標
　接客やホスピタリティに関する仕事のイメージを体得する。また、将来ホテル等で働くために必要となる技能、知識、心構えなどを理解して、その後の学習に取り入れていく。また、学外での実社会の方との関わりの中で、社会人として必要になるコミュニケーション力や情況把握力、責任感などを養う。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
　説明会は他のインターンシップと合同で開催される場合もあり、昼休みなどに実施されるので、掲示版の案内を見て確認すること。履歴書などの書類の提出や、場合によっては事前訪問なども必要になる。
　実習中は現場の職員やスタッフの方と同様の責任感および緊張感のある行動が求められる。そのために礼儀作法や身だしなみ、一般常識、コミュニケーション能力などについて、普段から(日常的に)意識を高めておく必要がある。

評価方法
　研修日誌と研修レポートをもとにした研修内容と研修成果（60%)、実習先の評価と事前事後の指導をもとにした研修態度（40%)、という割合で評価する。

教科書 ガイダンスなどで適宜指示する。	参考図書 『就職ガイドブック』など

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
通常の授業科目とは、履修登録の時期や方法が異なるので、注意する。
学生課が窓口となり、緊急な連絡などもあるので、メールなどで迅速な連絡ができるようにしておくこと。

01	事前指導、研修、事後指導から構成される。 事前指導：（7時間） (1) 研修先や研修概要に関する説明会 (2) 希望人数によっては選考 (3) 研修先ごとのガイダンス (4) 研修先の事前訪問 研修：（50時間） ・前期は夏季休業、後期は春季休業中に各自の研修実施先にて研修を行う。 ・研修内容は、実習先によって異なる。基本的に研修者のために用意されたプログラムに従って研修を行い、 実施先での担当者による指導を受ける。 事後指導：（3時間） (1) 研修日誌
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

科目名:フランス語とフランス文化ＩＡ	担当者:小倉 康寛	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　フランス語ははじめでしょうか？　新しい外国語を学ぶということは、子供になったような気持ちで、一から自分の言葉のありかたを見直していくということです。根気も入りますが、楽しいことです。この授業では、フランス語だけではなく、フランス文化を学ぶことで、自己紹介、買い物などができるようになることを目指します。1年を通じて、フランスに旅行に行っても困らないだけの力を身につけます。

授業の到達目標
・つづり字の規則が分かり、単語が読めるようになること。
・自己紹介、買い物など、会話ができるようになること。
・動詞の現在形の活用を覚え、使えるようになること。
・フランスの文化や習慣を理解し、適切な振る舞いを理解すること。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
　まずはフランス語を好きになることです。フランスに関連するものに積極的に触れてみてください。日本でもカフェのメニューにはフランス語のものがあります。気になったら、メモを取って、さっそく調べてみてください。フランス語が出てくる映画を観たり、シャンソンを聞いたりしてもいいでしょう。クラシック音楽もいいですね。まずは「ちょっと気になった」という気持ちを大切にすることから始めてみてください。結果をあせる必要はありません。楽しんで学ぶことを覚えてください。勉強の努力は後からついてきます。

評価方法
定期試験25％（筆記）、確認テスト25％（筆記）、授業への参加態度50％（会話練習など）

教科書	参考図書
トライ！フランス語　-F comme Français- 藤田知子他著、駿河台出版社	授業内で紹介します。辞書も紹介するので、買わずに臨んでください。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　授業では個別にあてて、練習をどんどんやります。恥をかくことをおそれずに、積極的に参加してください。みんなで楽しい授業になるようにしていきましょう。

01	オリエンテーション
02	アルファベ、フランス語の発音
03	つづり字の読み方、あいさつ
04	フランスの文化と社会①（フランスの学生生活）
05	テオとユリが自己紹介します（1）
06	フランスの文化と社会②（フランス雑学）
07	テオとユリが自己紹介します（2）
08	フランスの文化と社会③（カフェ）
09	ユリがテオの店を訪れます
10	フランスの文化と社会④（フランス人の生活観）
11	兄弟・姉妹について話します
12	フランスの文化と社会⑤（ショッピング）
13	テオがユリの妹について尋ねます
14	フランスの文化と社会⑥（レストラン）
15	総復習と確認テスト
16	なし

2020年度シラバス

科目名:フランス語とフランス文化ＩＢ	担当者:小倉 康寛	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　フランス語には慣れてきましたか？　自己紹介したり、買い物したりすることはできるようになりましたか？　もしできていなかったら、復習しますから安心してくださいね。今度は、友達を誘ってどこかに行くためのフランス語や、各地を訪れた際に必要な表現を学んでいきます。授業の目標は前期とほとんど同じですが、レベルアップしていくように、向上心を持って取り組みましょう。

授業の到達目標
・つづり字の規則が分かり、知らない単語でも読めるようになること。
・友達を誘ったり、旅行に行く際の表現を覚え、発音できるようになること。
・新しい動詞の活用を覚えていること。
・フランスの文化や習慣を理解し、社会人としてふさわしいマナーで振る舞えるようになること。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
　フランスに関連するものの中で、自分が好きになれるものはもう、見つけましたか？　料理、お菓子、シャンソン、映画、美術などなど、たくさんありますね。そうしたものに日頃から触れて、フランス語に対する関心を楽しい気持ちで維持しておきましょう。後期までおわれば、もうフランスに旅行に行くことができるでしょう。いざ自分が行くと思ってみると、「この表現はむずかしいけれど覚えておくと便利だな」など、やる気が違ってくるはずです。やる気を自分で上げる方法を探してください。

評価方法
定期試験25％（筆記）、確認テスト25％（筆記）、授業への参加態度50％（会話練習など）

教科書	参考図書
トライ！フランス語　-F comme Français- 藤田知子他著、駿河台出版社	授業内で紹介します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　恥をかくことをおそれずに、授業にどんどん参加してください。

01	前期の復習①
02	前期の復習②
03	テオはユリを食事に誘います
04	フランスの文化と社会①（フランス人の祝日と週末）
05	二人が週末の予定を話します
06	フランスの文化と社会②（パリ近郊への一日の旅）
07	モン・サン・ミシェルを訪れます
08	フランスの文化と社会③（フランスの世界遺産）
09	モン・サン・ミシェルで満ち潮を待ちます
10	フランスの文化と社会④（フランスの地方都市）
11	テオがユリを両親に紹介します
12	テキストの総復習
13	フランスの文化に触れる①
14	フランスの文化に触れる②
15	まとめと確認テスト
16	なし

2020年度シラバス

科目名:英語と英米文化ＩＡ	担当者:三浦 紀美代	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
この授業では、英国を旅する設定で書かれたエッセイや会話を題材にして、リーディング、リスニング、文法を中心に演習を行いながら、映画や映像も使用し、英国文化に対する理解も深めます。またフレーズ集を用い、日常生活で使用する表現をペアワークでの練習を通し学びます。英語を学び、英国文化についての知識を習得することで、広い視野に立ち、考える力とすることが目的です。

授業の到達目標
この授業は学生が文法事項を理解し、英文を正確に読み取り、聴くことができるようになることを目標とします。また、イギリス文化に対する理解を深めます。更には、実際のコミュニケーションの場で使用される簡単な会話を理解し、実践できるようになることを目指します。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
授業準備として、毎回1時間程度、辞書を用いてテキストを予習することが必要です。
毎回授業始めに、前回の授業で学んだフレーズ集の範囲から確認テストを行うので、1時間程度の復習をすることも必要です。

評価方法
授業への参加態度２0%　確認テストとリスニング課題30%　Review test ５０%で総合的に評価します。

教科書	参考図書
"Let’s Check Out the UK!"(金星堂)　"Active Communication with Phrases"(南雲堂)	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
予習復習を継続していくことで英語の力は伸びていきます。授業には必ず辞書を持参して下さい。
日頃から英語を聴き、海外ニュースを観るなど異文化に対し意識を向けるようにしましょう。

01	Introduction
02	Day 1 I Can’t Wait to Explore Britain! (Listening, Vocabulary)
03	Day 1 I Can’t Wait to Explore Britain! (Reading) / Phrase ①
04	Day 2 How about Going to a Pub? (Listening , Vocabulary) / Phrase ②
05	Day 2 How about Going to a Pub? (Reading)/Phrase ③
06	Day 3 The Scenery is Breathtaking, Isn’t It? (Listening, Vocabulary) /Phrase④
07	Day 3 The Scenery is Breathtaking, Isn’t It? (Reading) / Phrase ⑤
08	Review (Day 1~ Day 3) / Phrase ⑥
09	Day 4 What Do You Suggest We Do Today? (Listening, Vocabulary)/Phrase ⑦
10	Day 4 What Do You Suggest We Do Today? (Reading) / Phrase⑧
11	Day 5 This Is a Multi-Ethnic Country (Listening, Vocabulary) / Phrase ⑨
12	Day 5 This Is a Multi-Ethnic Country (Reading) / Phrase ⑩
13	Day 6 What’s It Like Being a Student in the UK?(Listening,Vocabulary,Reading)
14	Day 7 Mmm…It Sounds Too Risky (Listening, Vocabulary, Reading)
15	まとめとReview test (Day 4~ Day 7)
16	なし

2020年度シラバス

科目名:英語と英米文化ＩＡ	担当者:樋田 禎美	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
フレーズ集を用いて、日常生活で使える表現をペアワークで練習しながら、やり取りの基礎を養います100語程度のエッセイを読んで社会の出来事にも触れます。イギリス旅行をするテキストの登場人物と共に旅するつもりになって会話や映像を楽しみ、イギリス社会の様々な側面を学びます。

授業の到達目標
１．状況に応じた自然な表現を使える
２．会話を続けようとする意欲をもてる
３．英国文化を学び、異文化を尊重して違いを楽しめる
４．まとまりのある文章を読み、大意をつかめる

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
英語ドリルのCDを聞いて、課題に取り組んでください。Let's Check Out the UK!の音声はダウンロードしてリスニング問題に取り組み、語彙の発音と強勢を確認し、通じる英語を目指しましょう。

評価方法
授業への参加態度15%　提出物30%　確認テスト55%

教科書	参考図書
Let's Check Out the UK!（金星堂）Active Communication wih Phrases（南雲堂）	授業内で紹介します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
海外のニュースやドラマ、映画をたくさん観てください。連絡先はオリエンテーションで開示します。

01	オリエンテーション
02	英語ドリル　Unit１ Eating Out　Day 1:I Can't Wait to Explore Britain!
03	英語ドリル　Unit 2 Transportation　Day 2:How about Going to a Pub?
04	英語ドリル　Unit 3 College& University Life　Day 3:The Scenery Is Breathtaking, Isn't it?
05	英語ドリル　Unit 4 Fashion　Day 4:what Do You Suggest We Do Today?
06	英語ドリル　Unit 5 Part-time Jobs　Day 1,2 復習
07	英語ドリル　復習 Unit 1-5　確認テスト①　Day 3,4 復習
08	英語ドリル　Unit 6 Hair&Make-Up　Day 5:This Is a Multi-Ethnic Country
09	英語ドリル　Unit 7 Shopping　Day 6:What's It Like Being a Student in the UK?
10	英語ドリル　Unit 8 Dating　Day 7:Mmm...It Sounds Too Risky
11	英語ドリル　Unit 9 Technology　Day 8:You Should Try Fish and Chips!
12	英語ドリル　Unit 10 Health　Day 5,6 復習
13	英語ドリル　復習 Unit 6-10　Day 7,8 復習
14	英語ドリル　復習 Unit 1-10　Day 1-4 復習
15	英語ドリル　復習 Unit 1-10　確認テスト②　Day 5-8 復習
16	なし

2020年度シラバス

科目名:英語と英米文化ＩＢ	担当者:三浦 紀美代	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
この授業では、英国を旅する設定で書かれたエッセイや会話を題材にして、リーディング、リスニング、文法を中心に演習を行いながら、映画や映像も使用し、英国文化に対する理解も深めます。またフレーズ集を用い、日常生活で使用する表現をペアワークでの練習を通し学びます。英語を学び、英国文化についての知識を習得することで、広い視野に立ち、考える力とすることが目的です。

授業の到達目標
この授業は学生が文法事項を理解し、英文を正確に読み取り、聴くことができるようになることを目標とします。また、イギリス文化に対する理解を深めます。更には、実際のコミュニケーションの場で使用される簡単な会話を理解し、実践できるようになることを目指します。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
授業準備として、毎回1時間程度、辞書を用いてテキストを予習することが必要です。
毎回授業始めに、前回の授業で学んだフレーズ集の範囲から確認テストを行うので、1時間程度の復習をすることも必要です。

評価方法
授業への参加態度２0%　確認テストとリスニング課題30%　Review Test　５0%で総合的に評価します。

教科書	参考図書
“Let’s Check Out the UK!”(金星堂)　“Active Communication with Phrases”　(南雲堂)	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
予習復習を継続していくことで英語の力は伸びていきます。授業には必ず辞書を持参して下さい。
日頃から英語を聴き、海外ニュースを観るなど異文化に対し意識を向けるようにしましょう。

01	Introduction
02	Day 8 You Should Try Fish and Chips! (Listening, Vocabulary, Reading)
03	Day 9 It’s Fun Listening to Different Accents (Listening, Vocabulary)/Phrase⑪
04	Day 9 It’s Fun Listening to Different Accents (Reading)/Phrase ⑫
05	Day 10 Do You Fancy Something Sweet? (Listening, Vocabulary) / Phrase ⑬
06	Day 10 Do You Fancy Something Sweet? (Reading) / Phrase ⑭
07	Day 11 I Should Have a Black-Cab Experience (Listening,Vocabulary)/Phrase ⑮
08	Day 11 I Should Have a Black-Cab Experience (Reading)/Phrase ⑯
09	Review(Day8~Day11)/ Phrase ⑰
10	Day 12 I’m Looking forward to Seeing Wales!(Listening,Vocabulary)/Phrase ⑱
11	Day 12 I’m Looking forward to Seeing Wales!(Reading)/Phrase ⑲
12	Day 13Don’t You Know that UK Designs Are Popular?(Listen, Vocabulary, Reading)
13	Day 14 Would You Like to See a Play?(Listening, Vocabulary, Reading)/Phrase⑳
14	Day 15 That’s the Great Thing about Travel! (Listening, Vocabulary, Reading)
15	まとめとReview test (Day 12~ Day 15)
16	なし

2020年度シラバス

科目名:英語と英米文化ＩＢ	担当者:樋田 禎美	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
フレーズ集を用いて、日常生活で使える表現をペアワークで練習しながら、やり取りの基礎を養います。100語程度のエッセイを読んで、社会の出来事にも触れます。イギリス旅行をするテキストの登場人物と共に旅するつもりになって会話や映像を楽しみ、イギリス社会の様々な側面を学びます。

授業の到達目標
１．状況に応じた自然な表現を使える
２．会話を続けようとする意欲をもてる
３．英国文化を学び、異文化を尊重して違いを楽しめる
４．まとまりのある文章を読み、大意をつかめる

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
英語ドリルのCDを聞いて、課題に取り組んでください。Let's Check Out the UK!の音声はダウンロードしてリスニング問題に取り組み、語彙の発音と強勢を確認し、通じる英語を目指しましょう。

評価方法
授業への参加態度15％　提出物30％　確認テスト55％

教科書	参考図書
Let's Check Out the UK!　(金星堂)　Active Communication with Phrases　(南雲堂)	授業内で紹介します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
海外のニュースやドラマ、映画をたくさん観てください。連絡手段はオリエンテーションで伝えます。

01	オリエンテーション
02	英語ドリル　Unit 11 Watching Movies　Day　9: It's Fun Listening to Different Accents
03	英語ドリル　Unit 12 Listening to Music　Day 10: Do You Fancy Something Sweet?
04	英語ドリル　Unit 13 Cooking　Day 11:I Guess I Should Have a Black-Cab Experience
05	英語ドリル　Unit 14 Accomodation　Day 12:I'm Looking forward to Seeing Wales!
06	英語ドリル　Unit 15 Hobbies　Day　9,10 復習
07	英語ドリル　Unit 11-15 復習　確認テスト①　Day 11,12 復習
08	英語ドリル　Unit 16 Travel Abroad Day 13:Don't You Know that UK Designs Are Popular?
09	英語ドリル　Unit 17 Job Hunting　Day 14:Would You Like to See a Play?
10	英語ドリル　Unit 18 Problems&Solutions　Day 15:That's the Great Thing about Travel!
11	英語ドリル　Unit 19 Requests&Appeals　Day 13-15 復習
12	英語ドリル　Unit 20 Discussions&Presentations　Day 13-15 復習
13	英語ドリル　Unit 16-20 復習　Day　9-12 復習
14	英語ドリル　Unit 11-20 復習　Day 13-15 復習
15	英語ドリル　Unit 11-20 復習　確認テスト②　Day　9-15 復習
16	なし

2020年度シラバス

科目名:英会話ＩＡ	担当者:佐分 ジュディス スミス	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
This is a conversation intensive course. Each class students will have to communicate in English with each other and the teacher. Students will be introduced to new vocabulary every week, and topics that relate to the vocabulary. Lessons will be changed to fit the classes needs. 【ＥＮ】

授業の到達目標
The goal of this course is to help develop skills to maintain a basic English conversation. The class will touch on topics that will allow the students to be able to interact in an English-only environment.

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
Students will be required to take quizzes and homework, They will be expected to work in pairs and groups to complete class activities. Homework will include worksheets and topic research. Students will be expected to produce projects

評価方法
Grading scale Participation 20%
In class work 10%
Homework 20%
Quizes 10%
Projects 20%
Exam/ Final Project 20%

教科書
Instructor will provide worksheets for class.

参考図書
Students will need to prepare a binder with at least 30 clear sheets. Writing supplies and binder must be brought to each and every class.We will review every lesson.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Please try to speak in class. Making mistakes is an important part of learning.

01	Lesson 1 Welcome, Class Introduction / Self Introduction
02	Lesson 2 About Me
03	Lesson 3 My Family
04	Lesson 4 My Body
05	Lesson 5 I Am Sick
06	Lesson 6 Review Quiz and Nouns
07	Lesson 7 Where Is The Mall
08	Lesson 8 Traveling
09	Lesson 9 Clothing
10	Lesson 10 Dating
11	Lesson 11 Review Quiz and Verb Practice
12	Lesson 12 Group Project Selection
13	Lesson 13 Welcome to Japan
14	Lesson 14 Group Project and Exam
15	Lesson 15 Exam review and Game Day
16	make up if needed

2020年度シラバス

科目名:英会話ＩＡ	担当者:Lee Sargent	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
英会話I A is an elective course for first year students in the Liberal Arts Department. The aim of this course is to enable students to provide basic information about themselves in English. Also, students will learn about other cultures and environments outside Japan.【ＥＮ】

授業の到達目標
By the end of the spring semester the students should be able to give a brief introduction about themselves, friends and where they live.

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
A vocabulary list will be given at the end of each lesson. Students should learn the meaning of the vocabulary and remember this for use in the following week’s lesson. Students will need listen to and read English learning websites and write about them i

評価方法
Completion of Website task and journal ウェブサイトを見たり、ジャーナルを書いたりして　３０％
Participation & Homework 積極性と宿題　３０％
Vocabulary quiz (3) 単語クイズ　（３つ）１５％
15th week unit quiz 授業とクイズ(筆記）１５週目　２５％

教科書	参考図書
Textbooks: All materials in English will be provided by the instructor,	A clear file with at least 30 leaves and a notebook

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
You need to think about, read or listen to English more than once a week. Please look at the recommended Website each week outside the classroom. You can talk to me in person before the lesson or contact me .I’ll tell you my e-mail address in the class.

01	Introduce yourself. Course Introduction. Using Websites
02	Introduce other people
03	A+++ Conversations
04	Congratulations
05	Apologies
06	Good and Bad Manners
07	Helping People
08	Review Lessons 1-7 Quiz Game
09	Daily Life
10	Favourite Foods
11	Personalities
12	Friends
13	Childhood Memories
14	Future Plans and Dreams
15	Review Lessons 8-14 Quiz
16	

2020年度シラバス

科目名:英会話ＩＢ	担当者:佐分 ジュディス スミス	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
This is a conversation intensive course. Each class students will have to communicate in English with each other and the teacher. Students will be introduced to new vocabulary every week, and topics that relate to the vocabulary.【ＥＮ】

授業の到達目標
The goal of this course is to help develop skills to maintain a basic English conversation. The class will touch on topics that will allow the students to be able to interact in an English-only environment.

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
Students will be required to take quizzes and turn in homework, They will be expected to work in pairs and groups to complete class activities. Homework will include worksheets and topic research. Students will be expected to produce projects. Lessons will be changed to fit the classes needs.

評価方法
Grading scale Participation 20%
In class work 10%
Homework 20%
Quizes 10%
Projects 20%
Exam 20%

教科書
Instructor will provide worksheets for class.

参考図書
Students will need to prepare a binder with at least 30 clear sheets. Writing supplies and binder must be brought to each and every class.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Please try to speak in class. Making mistakes is an important part of learning.

01	Lesson 1 First Semester Review
02	Lesson 2 Projects
03	Lesson 3 Music
04	Lesson 4 Routines
05	Lesson 5 Halloween Project Presentations
06	Lesson 6 TV shows and Movies
07	Lesson 7 Hotels
08	Lesson 8 Money Money Money
09	Lesson 9 Health
10	Lesson 10 Quiz and Games
11	Lesson 11 Traveling
12	Lesson 12 American Holidays
13	Lesson 13 Christmas
14	Lesson 14 Review and Exam
15	Lesson 15 Exam Review and Group Presentation
16	make up if needed

2020年度シラバス

科目名:英会話ＩＢ	担当者:Lee Sargent	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
英会話I B is an elective course for first year students in the Liberal Arts Department. The aim of this course is to enable students to provide basic information in English to survive in a foreign environment. Also, students will learn about other cultures and environments outside Japan.
Students will have the opportunity to improve their conversation skills in English through: 1) active participation with other students, 2) building active vocabulary, 3) building listening skills, 4) improving grammatical accuracy, 5) developing basic writing skills.【ＥＮ】

授業の到達目標
By the end of the second semester student will be able to communicate in a variety of situations for survival in a foreign environment. Students will also be able to describe some aspects of Japanese culture and society.

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
A vocabulary list will be given at the end of each lesson. Students should learn the meaning of the vocabulary and remember this for use in the following week’s lesson. Students will need to read and listen to English learning websites and write about the

評価方法
Completion of Website task and journal ウェブサイトを見たり、ジャーナルを書いたりして 35%Mini quizzes (3) 単語クイズ 15%15th week unit quiz (written); week 15 １５週目のクイズ(筆記) 20%Participation and Homework, 積極性と宿題 30%

教科書	参考図書
All materials in English will be provided by the instructor,	A clear file with at least 30 leaves and a notebook

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
You need to think about, read or listen to English more than once a week. Please look at the recommended Website each week outside the classroom. You can talk to me in person before the lesson or contact me. I’ll tell you my e-mail address in the class.

01	Introduce yourself. Course Introduction. Using Websites
02	Families
03	Falling in Love
04	Directions around To
05	Shopping
06	Shopping for Clothes
07	Leisure Time
08	Review Lessons 1-7
09	On Vacation
10	Bus and Train Travel
11	Travelling by Car
12	Air Travel
13	Occupations
14	Learning to Drive
15	Review Lessons 8-14 Quiz
16	

2020年度シラバス

科目名:英語能力認定	担当者:辻 広志	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	前期・後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　現在、世界約60カ国で実施され、日本においても企業の人事や自己啓発活動の一環として利用されている国際コミュニケーション英語能力テストTOEIC（Test of English for International Communication の略、トーイック）において、一定の結果を出し、それを申請した場合、単位として認定する。目標点を具体的に持つことで、各自の英語能力向上のための自主的な学習を促したい。

授業の到達目標
　継続的学習の結実が成果として現れると考えて設定された科目である。一度の受験で終りではなく、何度も試験にチャレンジして、高得点を目指すことで、英語力を高めていく。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
　語学は継続的な学習が重要である。英語関係の授業を受講するほか、図書館や教員の研究室、ESC(English Study Center)には問題集や英語教材、視聴覚資料等があるので活用してほしい。

評価方法
350点以上を優、400点以上を秀とする。

教科書	参考図書 TOEICのレベル別の問題集など

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
＜勉強に関して＞　TOEICで点数を得るためには、総合的な読取りおよび聞取りの力が必要とされる。これらを伸ばすには、基礎を踏まえたうえで、継続的な学習が必要になる。短期的に成果が出なくても、あせらずに２年間じっくりと、少しずつ取り組んで行ってほしい。　また、高得点を得るためには、語彙や文法、状況に応じた表現の学習、英語の音やTOEIC出題形式への慣れなど、さまざまな要素の勉強が必要になる。目的に応じた教材や資料が、図書館など学内に用意されているので、利用して、自分のペースで勉強をしていってほしい。必要

01	ガイダンスを参考にして、各自の学習計画を立てる。
02	申請が前提となるので、本人からの申し出がなければ単位としては認定されない。
03	学内でのTOEICが、年に3-4回実施されるので掲示板での案内に注意しておく。
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

2020年度シラバス

科目名:身体と表現	担当者:鏡味 富美子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須. 選択	選択

授業概要と方法
豊かな人間関係を築くには心と身体の柔軟性が必要とされます。この授業では内外両面からアプローチ、美しい立振る舞い(姿勢・歩き方)やショートドラマを体験(台本書き・出演・発表)します。また毎回プリントの簡単なＱ＆Ａに答え自分自身を客観的に見つめます。プリントはコメントをつけ最後の講義にまとめて返却します。

授業の到達目標
美しい立ち振る舞いや人を惹きつける話術を身に付けられる。自分や他人の長所を見つけ、コミュニケーションを楽しめる自分になれる。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
人間観察をしてみましょう。
授業で習得した姿勢や歩き方を意識し日常を過ごしましょう。

評価方法
平常点80%(授業の参加意欲・態度)と発表20%で評価します。

教科書	参考図書
プリントを配布します。	都度紹介します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
毎回、身体を動かしますが特にシューズ・ウェアは必要ありません。ショートドラマ(寸劇)など、女優になったつもりで楽しんで演じてみましょう。なお連絡方法等は授業でお知らせします。

01	オリエンテーション
02	身体のリラックス①(ストレッチ・姿勢と歩き方)
03	身体のリラックス②(発声練習・朗読)
04	身体のリラックス③(パントマイム)　　※身体のリラックスでは簡単なショートドラマを体験
05	自分探し(自分年表の作成)　　※思い出の写真や品物で歓談しましょう
06	屋外講義(テーマを決めていつもとは違う雰囲気で進めます)　　※天候により入れ替わり有
07	心のリラックス①(ショートドラマ体験、セキセイインコと共演)
08	心のリラックス②(体験した事をショートドラマにしてみる)
09	心のリラックス③(創ったショートドラマの発表・感想など)
10	表現①手紙を書いてみよう
11	表現②短い文章(詩・短歌・川柳など)を書いてみよう
12	表現③中くらいの文章(エッセイ・短編小説)書いてみよう
13	表現④発表内容の検討　　※講師が個々にアドバイスします
14	発表の準備・稽古
15	発表の準備・稽古
16	発表・まとめ

科目名:ダンスＡ	担当者:本吉 真寿美	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実技
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須. 選択	選択

授業概要と方法 この科目は、ディプロマ・ポリシーに示されている行動力とコミュニケーション力の獲得を目的とするものである。ダンスを通して、自己表現力や創造力を高め、心身ともに健やかで明るく積極的に活動する力を養う。また、グループでの創作演習などにおいて、皆で協力し一つの目標を成し遂げる達成感などを学ぶ。
授業の到達目標 ダンス表現の基礎技能を身につける。自分なりの動きで伸び伸びと表現する。他者と協同して作品を創り、発表する。心身ともに健やかで明るく積極的に活動する行動力が身につく。
授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修 学習した基本動作を練習して身につけたり、テレビやインターネットで様々なダンスの作品を視聴したりすることが望ましい。
評価方法 基礎技能や創作作品（70%）及びレポート等の課題（30%）により評価する。欠席等による授業への不参加がある場合は総合点から減点する。

教科書	参考図書
指定なし	授業中に適宜紹介する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段) 運動に適した服装と身だしなみで、装飾品は外して受講すること。運動用室内シューズを持参すること。

01	基本のリズムどり①
02	基本のリズムどり②
03	リズムの応用とステップ①
04	リズムの応用とステップ②
05	リズムとステップのルーティーン
06	ボディコントロールの基本
07	ボディコントロールの応用
08	自己表現
09	創作（フリーダンス）
10	グループでの創作①
11	グループでの創作②
12	フォーメーション練習
13	総合演習①
14	総合演習②
15	グループでの発表
16	

2020年度シラバス

科目名:ダンスB	担当者:栗林 三奈子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実技
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
毎回の授業で「よさこい」についての座学と実技を行う。鳴子の鳴らし方、足運び、基礎を学び20分前後の座学を入れて、歴史、各地の祭りの特徴、パレードやステージの違い、衣装、小道具、大道具、楽曲、演出などを伝えていく。正調よさこいが踊れるようにする。グループ創作をして発表し評価していく。

授業の到達目標
各グループに分かれて決められた曲の創作振り付けを行う。グループで意見を出し合いながら、コミュニケーション力を身につけチーム力をあげる。また、基礎練習で得た技術を使い、よさこい鳴子踊りを個性豊かに表現し、グループで演出をする。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
YouTubeなどで各祭りの動画を見てくることを宿題とすることがある。

評価方法
グループ練習での積極性、協調性。個人の表現能力、チームとしての仕上がりを評価する。
授業への参加態度40%　鳴子技術習得度30%　個人の表現能力30%

教科書	参考図書
なし	なし

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
表現する方法は無限にあることを知ってもらいたい。動画を見て自分の好きな表現方法を知ると、踊ることがより楽しいものになる。目で見て感じることはとても大切。自分がどんな風に踊っているかを鏡を見たり、自分の踊る姿を撮影することで技術の向上にもつなげていく。スマホ、飲み物、タオル持参で授業に参加してください。

01	よさこいの歴史、高知よさこいについて。鳴子の持ち方と鳴らし方。
02	祭りについて。地域性。鳴子の鳴らし方と足運び、正調よさこい振り落とし開始
03	パレードとステージの違い。鳴子の鳴らし方と隊列移動、正調よさこい練習
04	衣装、小道具、大道具。正調よさこい練習
05	楽曲について。祭りに必要なもの、正調よさこい練習
06	正調よさこい練習、グループ別創作活動
07	正調よさこい練習、グループ別創作活動
08	グループ別創作活動
09	グループ別創作活動
10	グループ別創作活動
11	グループ別創作活動
12	グループ別創作活動
13	グループ別創作活動
14	グループ別創作活動
15	グループ別創作活動
16	グループ別創作活動と評価のためのグループ発表(実技テスト)

2020年度シラバス

科目名:映像メディアの世界	担当者:溝渕 久美子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法 現在、私達の身の回りには映画やテレビなどの様々な視覚メディアがあふれています。映画史と映画の表現技法を学びながら、映画がどのように作られているのかを理解し、実際に映画の分析を行うことで、多角的に映像作品を鑑賞する力を身につけます。
授業の到達目標 学生が映画を「感動した」「面白かった」というだけではなく、映像表現のルールを学んだ上で、それを応用して表現技法や物語構造の点から客観的に分析し、説得力をもって人に伝えらえるようにすることが目標です。また、映画の誕生からトーキーまでの映画史を概観することで、映画というメディアが歴史的にどのようなものだったかを理解し、現在の映像環境についての理解を深めることも目標です。
授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修 準備学習として、参考図書を事前に読んでおくこと(4時間程度)。講義中に部分的に取り上げた映画は各自視聴し、また、日常生活で映画やドラマ等の映像表現に触れた際には、表現技法や物語構造に注意して見ていくこと。
評価方法 講義への貢献度・中間課題50%＋最終試験50%

教科書	参考図書
講義中に指示します。	講義中に指示します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段) 授業中にメールアドレスを公開しますので、質問や困ったこと・気になることがある場合は、そちらまで連絡してください。楽しく映画の勉強をしていきましょう。

01	映画を「見る」前に：映像表現の面白さ、感想と分析の違い
02	映画史1　映画に至るテクノロジーと映画の誕生 映画史1　　映画以前のテクノロジー
03	映画史2　初期映画とは何か？
04	映画史3　古典的ハリウッド映画①　サイレント映画の表現『あれ』
05	映画史4　古典的ハリウッド映画②　物語映画の形式とサイレント映画
06	映画史5　古典的ハリウッド映画③　トーキー映画の表現『或る夜の出来事』
07	映画史6　古典的ハリウッド映画④　音による表現と自主規制、映画ジャンル
08	映画史7　古典的ハリウッド映画から逸脱するもの
09	映画の表現技法１　語りの技法と物語の構成
10	映画の表現技法2　カメラの前の視覚的な要素とカメラに関わる要素
11	映画の表現技法３　編集とサウンド
12	対極分析をしてみよう①　対極分析のやり方、『Mr.& Mrs.スミス』分析
13	対極分析をしてみよう②　『アバター』分析①
14	対極分析をしてみよう③　『アバター』分析②
15	対極分析をしてみよう④　『アバター』分析③　まとめ
16	

2020年度シラバス

科目名:食生活と健康づくり	担当者:辻 広志	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法 私たちの食生活はこの半世紀で大きく様変わりし、豊かさや便利さが増した反面、生活習慣病や食品不安、環境負荷などの新たな問題を生み出している。この授業では、配布プリントを中心に、視聴覚教材、現物資料の提示、新聞記事、アンケート、実習等を通して、これからの望ましい食生活のあり方について考える。【AL】
授業の到達目標 食品・栄養に関する基礎知識を習得するとともに、「食と健康」「食の安全」「食と環境」について正しく理解し、自ら実践する習慣を身につける。
授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修 食と健康に関する最新の情報を、新聞、雑誌、テレビ、インターネット等で入手するよう心掛けること。食品を購入する際に、パッケージの表示（原材料名、消費・賞味期限、食品マーク等）を確認すること。
評価方法 確認テスト50%、平常点50%（授業感想文、授業への参加態度）で総合評価する。

教科書	参考図書
使用しない	授業中に適宜紹介する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段) 「食生活アドバイザー」等の食に関する資格検定取得を目指す学生は是非受講してください。質問等がある場合は、研究管理棟２Ｆの218研究室に来てください。

01	イントロダクション：ヒトの食生態
02	味覚の科学：なぜ食べ物をおいしいと感じるのか？
03	日本型食事の効用：なぜ和食は世界一の健康食なのか？
04	漢方医学と食事：陰の食品と陽の食品
05	生活習慣病と食事：肥満を防ぐには何をどのように食べるべきか？
06	食事・栄養評価法：自分の栄養状態について調べよう
07	有害物質による食品汚染：日本の食の安全を揺るがしたさまざまな事件
08	食品添加物と食品表示：菓子パンの添加物を調べよう
09	食品の腐敗と保存：塩分や糖分を加えるとなぜ腐りにくくなるのか？
10	食品添加物の簡易実験：うがい薬で食品中のビタミンＣやデンプンを調べよう
11	食品と寄生虫：サナダムシの生活史とヒトへの感染経路
12	健康食品とフードファディズム：安全な健康食品の見分け方
13	現代の食問題：新聞の記事をまとめ、グループ内で発表しよう
14	飽食の実態と対策：食品の賞味期限・大量廃棄・リサイクル
15	まとめと確認
16	なし

2020年度シラバス

科目名:自然と生活	担当者:辻 英之	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:自然体験活動指導者（ＮＥＡＬリーダー）資格希望者は、資格申請及び登録料の納入が必要		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
限界自治体ともいうべき長野県やすおか村。非効率、不合理と切り捨てられてきた山村が今、循環型の地域社会作りの先頭に立っている。村民とヨソモノ・若物の環境教育NPOが協働して、持続可能な地域社会を創る事例（山村留学など）を、主に視聴覚教材やわかりやすいワークショップを用いて紹介する。また、多彩なゲストスピーカーをやすおか村から招へいすると共に、山村の旬を感じる実物（薪、野菜、獣などなど）を持参する。それら参加型の授業を通して自然と共存する人間のあり方を考察する。【ＡＬ】

授業の到達目標
へき地山村に住む人々が営む自然と共存する暮らし。その暮らしに潜む教育力を学び、今求められる自然と人間の関係性を考えると共に、自然とつきあうスキルを理解する。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
授業の都度テキストを読むとともに、自然現象や自然災害の情報、農山漁村の情報、教室の外の学びなどについてインターネットや新聞などマスメディアを通しての情報収集に努めること。

評価方法
授業への参加態度20%　各回ごとのコメントペーパーの内容20%　テキストを読んでの課題レポート30%　筆記試験30%

教科書	参考図書
『奇跡のむらの物語　～1000人の子どもが限界集落を救う！』（辻英之編著、農文協、1785円）	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
変則的な日程での開講を予定しているので、初回のオリエンテーションには必ず出席すること。信州のへき地山村から毎週通い、山村のリアルタイムの情報を伝える。また、ビジュアルな教材を使用する。　資格取得についての質問は随時受け付ける。講師の連絡先は授業で提示する。

01	オリエンテーション
02	相手を理解するということ（ワークショップ）
03	自然体験活動の特質１（ワークショップ）　～過疎へき地山村のリアル実態を理解する～
04	自然体験活動の指導１（ゲストスピーク）　～里山・棚田保全とこどもの教育の奇妙なWIN-WINN関係～
05	自然体験活動の特質２（グループワーク）～もったいないの本質は感謝のこころ～
06	然体験活動の指導２（グループコンテスト）～暮らしの中にある木の種類当てクイズ！～
07	自然体験活動の技術１（グループコンテスト）～エコツアーの企画をつくってみよう！～
08	自然体験活動の技術２（ワークショップ）　猟師が来たぞ！　～野生生物・獣害との闘い～
09	自然体験活動の技術３（ワークショップ）　～地域を潤す地産地消と農家のプライド～
10	自然体験活動の技術４（プレゼンテーション）　～自然と暮らしの関係性を見える化せよ～
11	やってみよう商品開発！（ワークショップ）　～旬の資源を使って商品開発～
12	自然体験活動の安全管理（講義）　～東日本大震災など自然災害から学ぶこと
13	自然体験活動の安全管理２（講義）～自然災害から身を守るには～
14	総括ディスカッション
15	まとめと確認テスト（資格認定試験）
16	なし

2020年度シラバス

科目名:自然環境と生き物の世界	担当者:辻 広志	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
この授業では、様々な生態系における環境問題と生物の保全対策について学び、ヒトと自然の共生のあり方について考える。配布プリントによる講義を中心に、視聴覚教材、現物資料の提示、実習、新聞記事、インターネット等を通して、自然環境や野生生物に対する理解を深める。【AL】

授業の到達目標
地球環境、生物多様性、生態系のしくみについて理解し、環境保全活動の実践方法を知る。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
自宅周辺にはどのような動植物が生息しているか調べる。環境問題や野生生物に関する最新の情報を、新聞、雑誌、テレビ、インターネット等で入手する。

評価方法
レポート点50%、平常点50%（授業感想文、授業への参加態度）で総合評価する。

教科書	参考図書
使用しない	授業中に適宜紹介する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
「エコ検定」等の環境に関する資格検定取得を目指す学生は是非受講してください。質問等がある場合は、研究管理棟２Ｆの218研究室に来てください。

01	イントロダクション：生物多様性と生態系サービス（自然の恵み）
02	生物多様性の危機の現状：世界のカエル類の約３割は絶滅の危機に瀕している！
03	生態系のしくみ：オオカミが自然を守っている？
04	植物の種子散布：身近な雑草の繁殖戦略
05	野外実習：キャンパスの樹木観察
06	侵略的外来種：アカミミガメ、ブラックバス、アライグマが日本の生態系を破壊する
07	環境変動による環境負荷：地球温暖化が生物に及ぼす影響
08	有害化学物質による環境汚染：「沈黙の春」と「メス化する自然」
09	生態系の保全：世界自然遺産の光と影
10	希少種の保全：レッドデータブックで絶滅危惧生物を調べよう
11	企業・市民による環境保全活動：企業の環境報告書を読もう
12	自然再生事業：ビオトープと多自然川づくり
13	女子学生の自然体験：身近な生き物アンケート
14	ダーウィンの進化論：生物多様性と進化のしくみ
15	まとめと確認
16	なし

科目名:キャリア支援	担当者:辻 広志	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実習
免許・資格:		開講時期	前期・後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	8
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　本科目は資格の取得や検定の合格に対して単位を認定する形態の科目です。この科目を活用して、自分自身の成長やスキルアップにつながる資格や検定にチャレンジし、将来の視野や展望を広げてください。なお単位の認定対象となるのは、原則として大学在学中に取得・合格した資格・検定になります。

授業の到達目標
1　社会人基礎力を向上させる資格・検定などの取得を目指すことで、高度な教養を広く身につける。
2　各種の資格・検定などを取得することで卒業後の進路の幅を広げる。
3　将来の職業に関連したスキルアップを目指すことで、高度職業人としての知識・技能の修得を目指す。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
　指定された資格・検定を取得するためには、十分な学習時間が必要となります。
　資格・検定によっては、本学で対策のための授業、内容的に関連の強い授業が開講されていますので、活用してください。また参考書、問題集、過去問などの資料が図書館や教員の研究室に用意されている場合もあるので、活用してください。
　単位認定が可能な資格・検定などについては、変更や更新がなされるので、その都度確認してください。

評価方法
　指定された資格・検定などの合格証を根拠にして、その難易度に応じた単位数の認定をします。職業教養講座を受講した場合、職業教養講座の単位と合算したうえで、上限は8単位までが認定されます。

教科書	参考図書

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
申請の時期が11月と1～2月の2回になります。掲示などで案内されるので、合格証書などの必要書類を用意しておいて下さい。

01	以下の要件などを確認のうえ、申請してください。 ・別に掲示する本学入学後に取得した検定・資格を対象に所定の単位を認定しますが、特定の条件を満たしている場合、入学前に取得した資格などであっても認定できる場合がありますので、教務課で相談してください。 ・同一日に級位の異なる資格検定を受験して合格した場合は、上位の級位のみを単位として認定します。 ・申請に当たっては、所定の用紙に資格など取得の事実を証明する書類のコピーなどを添えて、教務課へ提出してください。 ・以上のほかにも、もし不明な点などがあれば教務課に相談してください。 なお、認定された単位は通常の成績評価とは異なり、GPAの参入対象ではありません。
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

2020年度シラバス

科目名:海外研修	担当者:高谷 邦彦	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実習
免許・資格:		開講時期	前期・後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
「海外研修」は、学生自らが立案した計画にもとづいて、海外で短期の語学学習や文化体験などをする科目である。単位修得には海外での研修を行うとともに、渡航する前の準備となる事前学習や、研修後の課題作成が含まれる。語学力だけでなく、目的に向かって着実に努力を続けられる行動力や、より広い視野に立って、物事を考えていくことができる思考力を身につける。

授業の到達目標
(1) 語学力の向上： 自分の学びたい外国語が使われている環境で生活し、語学力を向上させる。 (2) 異文化の体験： 文化や生活習慣の違いを現地で体験することで、視野を広げる、価値観を見直す、行動力を伸ばす、など将来につながる貴重な経験を得る。 (3) 事前学習、事後報告の重要性を学ぶ： 単なる旅行とは異なる、計画や事前学習などの重要性についても学ぶ。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
ツアーや航空券の手配、旅券の取得、保険の申請、現地通貨や支払い手段の準備などについて、教員は情報提供や助言を行うが、最終的な手続きは個人で行う。 渡航先の情勢や為替レートなどは、ニュースなどを見て、継続的に把握しておくこと。

評価方法
学生個人による海外での研修的な活動で、現代教養学科が定める基準に従い、十分な学習経験と認められる活動に対し、単位を認める。事前学習(30%)、研修(60%)、課題(10%)をもとに評価する。

教科書	参考図書

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)

01	(事前学習)①担当教員によるガイダンスに出席し、研修計画立案に必要な条件等を理解する。②研修国・地域、研修課題、実施計画・内容等を所定の書式で提出し、担当教員の許可を得て、事前指導を受ける。(研修活動中)③研修期間中は研修課題を達成するために必要な学習活動を行う。④活動記録を作成する。(事後学習)⑤研修期間終了後、指定された時期までに活動記録と研修日誌を提出する。⑥科目「海外研修」を履修登録し、単位の認定を申し出る。
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

2020年度シラバス

科目名:国内研修	担当者:茶谷 淳一	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実習
免許・資格:		開講時期	前期・後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法 学生自らが立案したプランにもとづいて現実の社会で様々な人々と交流しながら活動することを通して、普段の学校を中心とした生活では得られない経験をすることで、社会で必要とされる自信、知識や技能を見つけることを目的とします。
授業の到達目標 ①経験や何らかの「力」を身につけ、自分の考えや行動に自信をもつようになる。②視野が広がり、様々な意見を受け入れることができる。③社会で働くために必要とされる力＝社会人基礎力を向上させ、多様な人びとと協働することができる。
授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修 準備活動（例えば、研修先の事前調査、研修プランの立案、受け入れ先との交渉、保護者との相談など）、研修、事後活動（研修日誌の整理、研修先への御礼の手紙の作成、レポートの作成、活動報告プレゼンテーションなど）。
評価方法 事前に担当者から認められた活動だけが対象となります。準備・事後活動の取組みの様子（10点）、研修日誌（20点）、活動報告（レポート、発表　70点）

教科書	参考図書
なし	必要に応じて紹介します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段) これまでに200人近くの学生が北海道から沖縄までの各地で様々な活動をしました（具体例は随時紹介します）。研修したい学生は「国内研修」の時間に研究室へ相談に来ること。詳細は配布される資料を参照すること。

01	学生が個人の責任の下で行う国内での研修活動のうち、十分な学習経験が得ていると認められる活動を所定の方法で評価し、単位を認めます。詳細は別に配付される資料などで確認すること。（以下、一部抜粋） 1．国内研修として認められる条件と基準　①研修する課題が明確であること、②事前・事後指導に全て出席すること、③受入機関が明確であること、④期間が合計で実質10日間以上あり、一日あたり3時間以上活動すること、④他の科目の単位認定の対象ではないこと、⑤普段の生活では得られない経験や能力、知識が得られること。 2．履修方法
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	